

那 覇 市 の 観 光 統 計

— 観 光 客 の 声 —

(平成 21 年度版)

那 覇 市

はじめに

平成 21 年度の沖縄県の観光客数は 569 万人と推計され、前年度を 4.1% 下回り、8 年ぶりに前年度実績からの減少となりました。

そのうち 96.1% にあたる 546.6 万人余りが那覇市への入り込み観光客となっています。

観光客数が減少した要因としては、世界的な景気低迷の影響を受け、旅行需要が減少したことや、ゴールデンウィーク時期をはじめとした新型インフルエンザの影響、円高基調による海外旅行の割安感から、安・近・短志向等、海外旅行先との競合が激化したことなどがあげられます。

しかし外国人観光客については、9 月に海外クルーズ船専用受入バースの供用を開始したことに加え、12 月以降チャーター便の増加や不定期クルーズ船の寄港回数増加があったことから、過去最高の 24.6 万人が訪れました。

今後は、県外観光客の効果的な誘客や、外国人観光客の受入体制を充実していくことなどが課題となっています。

本市では毎年、市内の宿泊施設に宿泊された観光客を対象にアンケート調査を行い、「那覇市の観光統計－観光客の声－」としてまとめています。観光客の皆様から寄せられたアンケートには、沖縄・那覇観光の満足度を高めるための貴重なご提言が数多くあります。

本書が、那覇市の観光の現状を知る上での一助となれば幸いです。

結びに、本書の作成にあたり、アンケート調査票の配布にご協力いただいた各宿泊施設の皆様、並びに各種資料をご提供していただいた関係機関の皆様に、心からお礼申し上げます。

那覇市経済観光部観光課

目 次

I. 那覇市の現況	1
II. 調査・集計のあらましと観光客の動向	2
1. 観光客の捉え方	2
2. 那覇市への観光客及び観光消費額の集計方法	2
3. 平成 21 年度の入込み観光客の動向	2
4. 那覇市内における観光消費額及び観光収入	8
III. 観光客アンケート調査の方法と結果	12
1. 回答者の属性	14
2. 来訪目的	18
3. 来訪動機	20
4. 来訪回数	23
5. 旅行者形態（旅行の同行者）	26
6. 旅行形態（個人旅行・団体旅行・パッケージツアー）	28
7. 旅行期間	30
8. 那覇市内における観光消費額	35
9. 那覇市内での交通手段	38
10. 旅行コース	39
11. みやげ品購入状況	46
12. 那覇市内に欲しい施設	49
13. サービス面における問題点や改善して欲しい点	51
IV. 観光客の声	53
1. 飲食・買物について	53
2. 観光施設について	54
3. 宿泊施設について	55
4. 景観・自然・海洋レジャーについて	57
5. 交通手段について	58
6. 交通事情について	61
7. 観光情報について	63
8. 那覇市の印象・まちの様子について	64
9. 観光全般印象・感想	68
10. その他	71
附表 参考資料	75
附表 1 平成 21 年 県内の周辺離島からの月別入込み、出域客数	75
附表 2 平成 21 年度 県内の周辺離島からの航路別入込み客数（空路）	75
附表 3 平成 21 年 県内の周辺離島からの航路別入込み客数（海路）	76
附表 4 平成 21 年度 県内の周辺離島への航路別出域客数（空路）	76
附表 5 平成 21 年 県内の周辺離島への航路別出域客数（海路）	77
主要観光施設の推移	78

I．那覇市の現況

I. 那覇市の現況

◇位置・地勢◇

沖縄県は、北緯 24～28 度、東経 122～133 度の南北約 400km、東西約 1,000km の海上に弧を描いて連なる 160 の島しょの内、有人島 39 からなっています。その中で那覇市は最大の島、沖縄本島の南部に位置しています。

また、本市は鹿児島と台北のほとんど中間にあり、那覇を中心とする 1,500km の円周域には、東京、ピョンヤン、香港、ソウル、北京、マニラなどの主要な都市があり、交通通信機能の上からも東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点であり、わが国の南の玄関として地理的に好条件の位置にあります。

地形は、旧市内を中心とする中央部においてほぼ平坦をなし、これを取り巻くように周辺部には小高い丘陵地帯が展開しています。また、市内を東から西に国場川と安里川が流れ、前者は那覇ふ頭、後者は泊ふ頭を経て東シナ海に注いでいます。

出典：那覇市役所ホームページ「那覇市の概要」

◇面積◇

那覇市の総面積は、39.23k m²（平成 19 年 10 月 1 日現在）である。

資料：「沖縄県市町村概要」平成 21 年 3 月

◇人口及び世帯数（平成 21 年 8 月末現在）◇

総人口	317,245 人	世帯数	134,095 世帯
男性	153,026 人	※外国人を含む人口	
女性	164,219 人		

出典：那覇市役所ホームページ「市の人口と世帯」

◇産業と構造（平成 18 年調査）◇

那覇市の事業所数は 20,700 ヶ所、従業員数は 149,640 人である。

市内の産業構造は第 3 次産業が大半を占め、第 3 次産業に携わる事業所数は 20,695 事業所（全事業所の 99.9%）、従業員数は 149,618 人（全従業者数の 99.9%）となっている。中でも卸・小売業では 5,865 事業所（28.3%）で、35,470 人（23.7%）が、飲食店・宿泊業では 4,289 事業所（20.7%）で 24,319 人（16.2%）またサービス業は 3,947 事業所（19.0%）で 28,214 人（18.8%）が従事しており、那覇市は商業及びホスピタリティ産業を中心とした産業構造を形成しているといえる。

出典：那覇市役所ホームページ「那覇市の事業所・企業統計調査報告書」

◇気象概況◇

亜熱帯モンスーン地帯に属する沖縄の気候は、四季を通じて平均気温 22℃、平均湿度が 77%で、春秋の季節の特徴は、はっきりしていませんが、連日、気温 30 度前後の蒸し暑く長い夏と気温 16～17℃の暖かく短い冬に分けられます。

春から夏にかけては雨量が比較的多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって、毎年数個の台風が来襲します。特に、沖縄近海が台風の進路変更点になっているため、台風通過の際、長時間にわたり強風におそわれることが多くなっています。

出典：那覇市役所ホームページ「那覇市の概要」

Ⅱ．調査・集計のあらましと観光客の動向

Ⅱ. 調査・集計のあらましと観光客の動向

1. 観光客の捉え方

- | |
|---|
| <p>(1) 入込み客
県外及び外国より那覇空港着で入域した客数に入込客の混在率（サンプリング調査によるデータ）を乗じた数値に、那覇港から入域した客数を加えたもの</p> <p>(2) 県外客
現住所が県外にあるもの（ただし、帰省客は除き、本土経由で那覇に来る外国客を含む）</p> <p>(3) 外国客
外国から空・海路直行便で那覇を訪れたもの</p> |
|---|

なお、県外観光客と外国人観光客数は、本市が沖縄県の交通の起終点及び結接点となっていることを踏まえ、県の入域観光客統計概要を採用した（ただし、県外⇄石垣・宮古・久米島の離島直行便を除く）。

2. 那覇市への観光客及び観光消費額の集計方法

那覇市への観光客数は、沖縄県内の空路や海路の各交通機関へ毎年の実績報告を依頼し、その結果をもとに算出している。

那覇市における観光客の消費額は、後述する観光客アンケートにおいて、観光客が記入した「那覇市内だけで支出（現地払い）した1人当たりの費用」の項目から推計した。

3. 平成 21 年度の入込み観光客の動向

平成 21 年度の国内外を合わせた沖縄県全体の入込み観光客数は 569 万人で、前年比 4.1%の減少となった。外国客については増加が見られたものの、国内客の減少が大きかったためである。年度としては 8 年ぶりに前年実績を下回った。

国内客減少の要因としては、平成 21 年 4 月から平成 22 年 1 月までの景気低迷、新型インフルエンザの国内発生、および旅行者の「安・近・短」志向の強まり、などが挙げられる。

外国客については、世界的な景気悪化や円高傾向、新型インフルエンザの日本国内発生などにより一時客足は衰えたが、新型インフルエンザや景気が落ち着きを見せた後は徐々に回復傾向を見せ、昨年を上回る実績を上げている。（以上は、沖縄県観光企画課「入域観光客統計概要-平成 21 年度分-」を参考にした）

本市における平成 21 年度の入込み観光客数は、546 万 6,045 人で、沖縄県全体の入込み観光客数に呼応して減少した。観光客のうち県外から訪れているのは 521 万 9,845 人で全体の約 95.5%を占める。外国客は 24 万 6,200 人と、前年と比較して 3.9%増加した。

3.1 那覇市への入込み観光客数（34年分）

図表Ⅱ-1 那覇市への入込み観光客数（34年間）

（単位：人）

区 分	県外客	外国客	観光客総数
昭和51年	820,780	15,328	836,108
昭和52年	1,186,507	14,649	1,201,156
昭和53年	1,472,842	29,568	1,502,410
昭和54年	1,770,238	37,703	1,807,941
昭和55年	1,746,778	61,258	1,808,036
昭和56年	1,849,745	80,278	1,930,023
昭和57年	1,802,876	95,340	1,898,216
昭和58年	1,784,379	67,615	1,851,994
昭和59年	1,965,900	87,600	2,053,500
昭和60年	1,999,700	82,200	2,081,900
昭和61年	1,965,000	63,800	2,028,800
昭和62年	2,178,800	71,900	2,250,700
昭和63年	2,316,000	79,400	2,395,400
平成元年	2,546,000	114,500	2,660,500
平成2年	2,769,700	154,300	2,924,000
平成3年	2,788,900	192,500	2,981,400
平成4年	2,900,600	198,700	3,099,300
平成5年	2,934,900	173,900	3,108,800
平成6年	2,906,500	150,900	3,057,400
平成7年	3,002,300	138,200	3,140,500
平成8年	3,178,500	141,900	3,320,400
平成9年	3,469,500	191,500	3,661,000
平成10年	3,743,530	139,400	3,882,930
平成11年	4,177,200	223,000	4,400,200
平成12年	4,059,300	197,700	4,257,000
平成13年	3,986,200	191,400	4,177,600
平成14年	4,388,900	180,300	4,569,200
平成15年	4,653,359	100,100	4,753,459
平成16年	4,687,200	129,500	4,816,700
平成17年	5,019,100	136,500	5,155,600
平成18年度	5,337,900	96,800	5,434,700
平成19年度	5,517,400	188,800	5,706,200
平成20年度	5,512,540	237,000	5,749,540
平成21年度	5,219,845	246,200	5,466,045

※平成17年までは暦年による集計

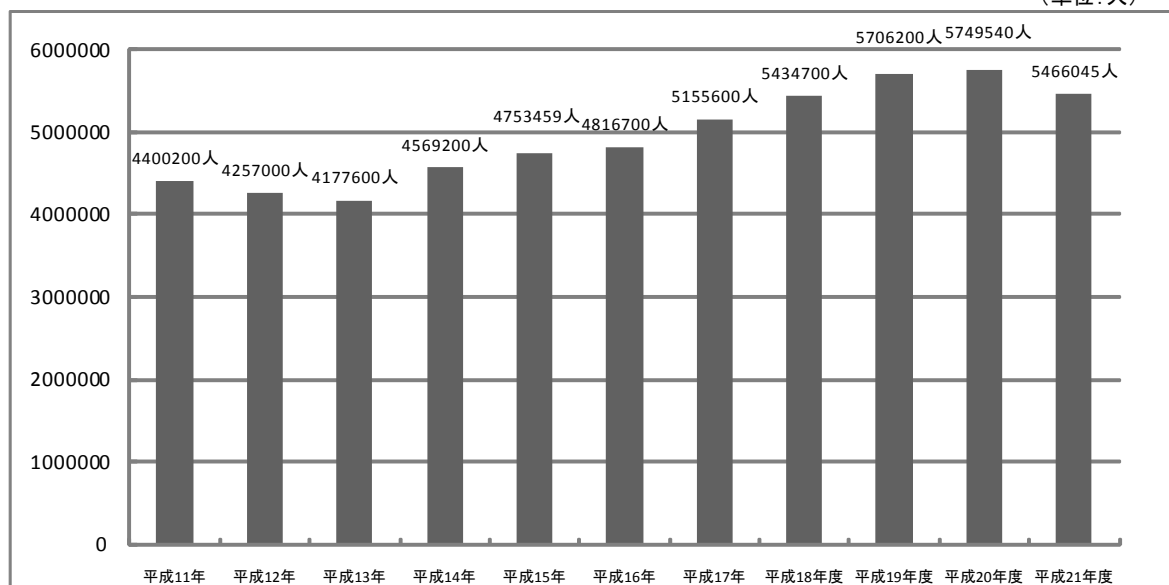
図表Ⅱ－２ 平成21年度月別入込み観光客総数の推移

(単位:人、%)

	県外客	外国客	観光客総数	前年同月数	前年同月比
21年4月	409,177	17,700	426,877	468,200	91.2
5月	395,701	11,700	407,401	445,790	91.4
6月	374,725	33,300	408,025	427,230	95.5
7月	470,615	33,000	503,615	507,030	99.3
8月	545,438	32,300	577,738	602,720	95.9
9月	467,401	28,200	495,601	521,080	95.1
10月	436,175	25,000	461,175	528,570	87.2
11月	395,459	15,000	410,459	472,560	86.9
12月	404,719	10,600	415,319	452,630	91.8
22年1月	394,680	9,400	404,080	408,460	98.9
2月	417,082	14,900	431,982	399,720	108.1
3月	508,673	15,100	523,773	515,550	101.6
合計	5,219,845	246,200	5,466,045	5,749,540	95.1
構成比	95.5	4.5	100.0	—	—
前年度比	94.7	103.9	95.1	—	—

図表Ⅱ－３ 年(度)別入込観光客総数の推移

(単位:人)



	観光客総数(人)
平成11年	4,400,200
平成12年	4,257,000
平成13年	4,177,600
平成14年	4,569,200
平成15年	4,753,459
平成16年	4,816,700
平成17年	5,155,600
平成18年度	5,434,700
平成19年度	5,706,200
平成20年度	5,749,540
平成21年度	5,466,045

図表Ⅱ－4 航路別県外観光客数

航空別観光客数は、「東京」が最も多く、2,571,544 人で 49.3%を占め、次いで「阪神」が 967,132 人で 18.5%、「福岡」が 669,876 人で 12.8%を占めている。

(単位:人、%)

	空路	構成比	海路	構成比	合計	構成比
札幌	0	0.0	0	0.0	0	0.0
仙台	59,492	1.1	0	0.0	59,492	1.1
小松	35,911	0.7	0	0.0	35,911	0.7
東京	2,570,301	49.6	1,243	3.6	2,571,544	49.3
名古屋	450,535	8.7	0	0.0	450,535	8.6
阪神	965,542	18.6	1,590	4.6	967,132	18.5
広島	72,356	1.4	0	0.0	72,356	1.4
岡山	37,529	0.7	0	0.0	37,529	0.7
松山	25,737	0.5	0	0.0	25,737	0.5
高松	50,169	1.0	0	0.0	50,169	1.0
福岡	669,876	12.9	0	0.0	669,876	12.8
長崎	23,570	0.5	0	0.0	23,570	0.5
熊本	38,771	0.7	0	0.0	38,771	0.7
大分	0	0.0	0	0.0	0	0.0
宮崎	31,964	0.6	0	0.0	31,964	0.6
鹿児島	104,624	2.0	30,859	90.0	135,483	2.6
福島	0	0.0	0	0.0	0	0.0
新潟	23,410	0.5	0	0.0	23,410	0.4
出雲	0	0.0	0	0.0	0	0.0
山口宇部	0	0.0	0	0.0	0	0.0
花巻	0	0.0	0	0.0	0	0.0
秋田	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高知	0	0.0	0	0.0	0	0.0
青森	0	0.0	0	0.0	0	0.0
鳥取	0	0.0	0	0.0	0	0.0
静岡	25,781	0.5	0	0.0	25,781	0.5
その他	0	0.0	585	1.7	585	0.0
計	5,185,568	100.0	34,277	100.0	5,219,845	100.0

図表Ⅱ－5 航路別県外観光客数（空路・海路）

単位：人・％

区分	総数	札幌	仙台	小松	東京	名古屋	阪神	広島	岡山	松山	高松	福岡	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	福島	新潟	出雲	山口 宇部	花巻	秋田	高知	青森	鳥取	静岡	その他
平成11年	4,166,400	58,800	57,600	36,600	1,756,900	330,700	790,300	79,000	35,600	17,500	27,500	593,000	26,600	51,400	24,500	30,300	161,700	24,900	27,600	2,200	0	9,100	4,100	10,900	8,300	-	-	1,300
平成12年	4,099,300	59,200	59,300	36,300	1,707,100	317,900	751,700	73,300	35,900	18,100	26,300	594,300	23,900	53,100	22,900	31,700	161,600	24,200	28,500	4,800	0	9,100	0	12,300	7,800	-	-	0
平成13年	3,986,200	60,500	52,800	34,600	1,739,300	315,200	723,700	66,200	34,200	16,800	23,900	574,900	22,500	45,900	21,400	28,600	151,800	26,000	25,400	1,600	0	4,800	0	11,000	4,600	500	-	0
平成14年	4,388,900	55,500	56,400	37,800	2,020,900	352,000	779,000	65,600	38,700	22,100	29,400	587,400	25,600	46,400	22,800	30,700	145,900	30,900	27,300	1,900	0	1,300	0	6,600	0	0	-	4,700
平成15年	4,653,359	57,600	59,200	41,400	2,138,529	383,082	834,768	70,300	40,700	22,600	40,000	619,080	24,800	45,400	23,500	30,400	145,600	31,100	25,500	1,600	0	2,700	0	10,000	2,700	0	-	2,800
平成16年	4,687,200	53,800	64,000	41,900	2,148,800	384,100	842,400	70,300	41,800	20,200	38,200	632,800	25,600	48,200	26,400	31,200	140,700	34,300	26,800	0	0	1,400	0	12,100	0	0	-	2,200
平成17年	5,019,100	73,100	64,200	42,600	2,304,700	442,600	917,600	75,800	43,600	21,100	40,000	648,900	26,700	46,500	24,800	31,100	141,300	34,100	23,800	100	100	600	100	12,100	200	100	-	3,600
平成18年度	5,337,900	69,800	74,600	43,100	2,467,800	472,900	999,600	73,800	42,700	20,000	44,200	659,200	26,200	45,700	26,000	28,700	150,800	33,400	24,300	300	100	1,200	100	12,200	0	200	-	1,000
平成19年度	5,518,200	29,000	69,800	40,400	2,630,100	513,400	1,048,500	78,700	45,800	19,300	44,100	677,100	27,600	48,400	7,200	32,100	137,600	32,600	22,200	0	300	500	0	11,100	0	0	-	2,400
平成20年度	5,512,540	0	63,184	38,323	2,677,177	520,751	1,063,269	72,024	40,889	19,736	51,208	657,605	25,633	48,190	0	32,465	135,947	30,797	19,063	0	300	500	0	10,799	0	0	-	4,700
平成21年度	5,219,845	0	59,482	35,911	2,571,544	450,535	967,132	72,356	37,529	25,737	50,169	669,876	23,570	38,771	0	31,964	135,483	0	23,410	0	0	0	0	0	0	0	25,781	595
構成比	100.0	0.0	1.1	0.7	49.3	8.6	18.5	1.4	0.7	0.5	1.0	12.8	0.5	0.7	0.0	0.6	2.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
前年比	94.7	-	94.2	93.7	96.1	86.5	91.0	100.5	91.8	130.4	98.0	101.9	92.0	80.5	-	98.5	99.7	0.0	122.8	-	0.0	0.0	-	0.0	-	-	-	12.4
4月	409,209	0	4,589	2,954	196,594	39,132	78,242	6,059	3,759	2,107	5,588	49,865	2,046	3,293	0	2,451	10,078	0	2,453	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	393,626	0	4,387	2,812	178,351	36,258	81,297	5,378	6,838	2,359	5,433	50,023	1,795	3,582	0	2,837	10,409	0	1,866	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	375,462	0	3,933	2,739	178,078	34,763	71,441	4,950	2,599	1,909	3,860	49,684	1,899	2,774	0	2,376	10,747	0	1,314	0	0	0	0	0	0	0	2,388	0
7月	469,202	0	5,119	3,279	240,599	37,405	87,976	6,164	3,025	2,001	3,755	54,728	2,317	3,689	0	2,831	12,174	0	1,410	0	0	0	0	0	0	0	2,729	0
8月	545,171	0	5,873	3,591	265,991	44,685	108,545	6,393	3,189	2,875	4,622	66,448	2,837	4,771	0	3,659	16,226	0	2,116	0	0	0	0	0	0	0	2,767	595
9月	466,671	0	4,740	2,849	232,260	33,137	96,020	5,839	2,331	2,342	3,877	58,889	2,255	3,637	0	2,782	11,699	0	1,619	0	0	0	0	0	0	0	2,345	0
10月	438,633	0	4,737	3,005	229,656	33,417	77,561	5,019	2,782	2,052	3,816	52,069	1,621	3,118	0	2,214	12,599	0	1,919	0	0	0	0	0	0	0	2,447	0
11月	397,841	0	5,122	3,220	198,504	31,348	64,855	4,247	2,561	1,852	3,711	56,868	1,966	2,904	0	2,886	12,895	0	2,088	0	0	0	0	0	0	0	2,473	0
12月	405,442	0	5,519	1,968	205,297	34,487	69,997	4,923	2,064	1,840	3,612	54,772	1,454	2,766	0	2,080	9,393	0	2,641	0	0	0	0	0	0	0	2,627	0
1月	393,603	0	4,653	2,388	197,786	34,867	67,968	5,527	2,331	1,760	3,064	53,973	1,447	2,627	0	2,279	9,164	0	1,320	0	0	0	0	0	0	0	2,429	0
2月	417,042	0	4,638	2,765	203,963	41,600	72,075	7,648	2,889	2,005	3,881	55,360	1,638	2,574	0	2,431	8,762	0	2,154	0	0	0	0	0	0	0	2,677	0
3月	507,944	0	6,182	3,761	244,063	49,435	91,164	10,208	3,081	2,636	4,950	67,206	2,296	3,036	0	3,139	11,338	0	2,560	0	0	0	0	0	0	0	2,880	0

※空路による県外観光客数は、沖縄県に訪れる観光客数から離島直行便を除いた数値に混在率を乗じた(県内客を除いた)数値である。

※区分の地域別内訳は、東京（羽田空港+成田空港+東京港）、阪神（関西空港+神戸空港+伊丹空港+大阪港+神戸港）、鹿児島（鹿児島空港+鹿児島県下各港）、福岡（福岡空港+北九州空港）である。

図表Ⅱ－6 那覇港へのクルーズ船入港状況実績

	入港回数(回)	乗客数(人)	入港回数対前年度比	乗客数対前年度比
平成 19 年度	33	43,589	—	—
平成 20 年度	55	65,339	167	150
平成 21 年度	59	76,750	107	117

資料：那覇港管理組合

4. 那覇市内における観光消費額及び観光収入

1) 個人消費額及び観光収入（入込み客ベース）

今回実施したアンケートの結果から、平成 21 年度に那覇市を訪れた観光客の一人当たり消費額は、本市での宿泊を伴う観光客で 88,529 円、宿泊を伴わない観光客で 62,844 円と推計され、どちらも前年の水準（宿泊を伴う観光客 75,598 円、宿泊を伴わない観光客 55,586 円）を大きく上回る。

本市に宿泊した観光客一人当たり消費額の内訳は、「飲食・娯楽費」が 30,728 円（34.7%）と最も大きく、以下「みやげ品費」16,384 円（18.5%）、「雑費」8,404 円（9.5%）、「交通費」7,328 円（8.3%）と続いている。前年度と比較すると、「みやげ品費」の占める割合が減少し、「雑費」の割合が増加しているが、金額自体は「飲食・娯楽費」は前年比で 14.5%、「みやげ品費」は 3.1%、「雑費」は 1.7%、「交通費」は 15.7%増加している。

「宿泊費」については、1泊当たりの平均宿泊費は 5,800 円で、前年（9,375 円）に比べ大幅に減少した。平均宿泊日数は 2.33 泊で、前年の 2.01 日から若干増加した。

那覇市内における観光収入の推計については、那覇市への入込み客（宿泊客と通過客を含む）546 万 6,045 人を、那覇市に宿泊した観光客（＋市内宿泊客）と宿泊しなかった観光客（＝通過客）に分けて集計を行う。

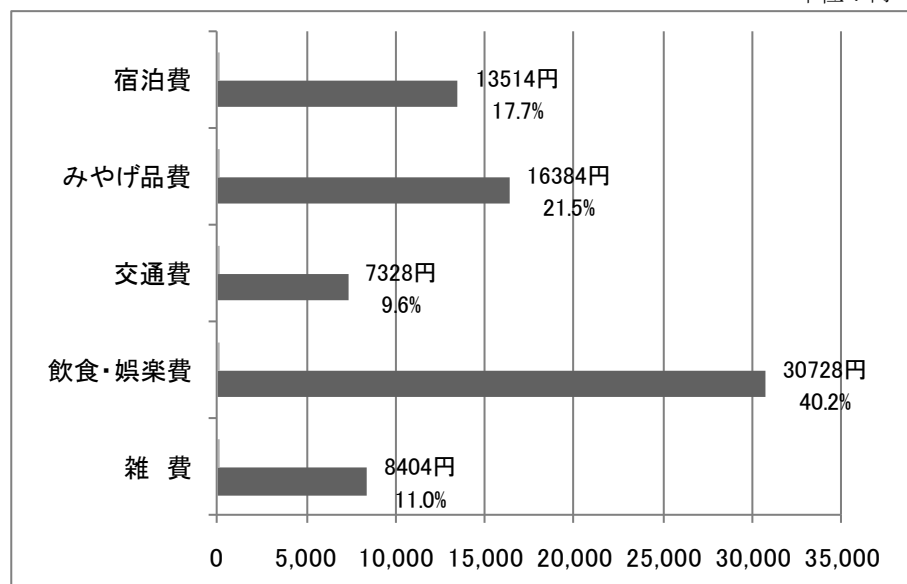
市内宿泊客数は、P11 の 2) から、230 万 8388 人と推計される。この推計値に観光客一人当たりの消費額（76,358 円）を乗じ、市内宿泊客宿泊客からの観光収入とした。通過客数は、315 万 7,657 人と推計されるので、この値に一人当たりの消費額（62,844 円）を乗じて通過客からの観光収入とした。この 2 つを合計した値 3,747 億 400 万円が那覇市における観光収入と推計される。以上のような方法で推計したのは、アンケートは市内宿泊客のみを対象に実施しており、通過客からの実データを収集できないため、現有データの範囲でより実態に即した値を導き出すためである。

単位：円・%

区 分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑 費	計
平成21年度	13,514	16,384	7,328	30,728	8,404	76,358
	17.7	21.5	9.6	40.2	11.0	100.0

図表Ⅱ－7 那覇市内宿泊客の一人当たり消費額内訳

単位：円



※通過客については、上記の値から「宿泊費」を除いた値とする。

※上記の値には外国客は含まれていない。

図表Ⅱ－8 観光客の一人当たり消費額内訳

(単位：円、人・観光収入の単位：百万円)

区 分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑 費	計	県(国)外観光客	観光収入
平成 3年	15,008	18,034	20,496	19,752	6,505	79,795	2,981,400	237,901
平成 4年	13,997	21,170	21,194	19,143	6,274	81,778	3,099,300	253,455
平成 5年	13,545	20,075	17,858	16,310	6,108	73,896	3,108,800	229,728
平成 6年	13,169	16,094	18,158	15,769	5,513	68,703	3,057,400	210,053
平成 7年	13,634	16,294	15,711	14,466	8,762	68,867	3,140,500	216,277
平成 8年	20,700	13,900	17,500	12,500	4,000	68,600	3,320,400	227,779
平成 9年	11,900	14,400	17,600	13,800	6,600	64,300	3,661,000	235,402
平成 10年	11,065	14,183	21,109	14,870	4,672	65,899	3,882,930	255,881
平成 11年	12,868	18,429	10,771	15,216	6,451	63,735	4,400,200	280,447
平成 12年	11,272	14,990	9,434	16,682	6,102	58,480	4,257,000	248,949
平成 13年	10,854	15,808	8,648	17,267	7,199	59,776	4,177,600	249,720
平成 14年	9,690	17,514	9,327	16,798	6,524	59,853	4,569,200	273,480
平成 15年	18,804	15,418	7,325	16,465	5,826	63,838	4,753,459	303,451
平成 16年	19,343	16,574	7,759	15,494	5,336	64,506	4,816,700	310,706
平成 17年	19,127	17,276	6,958	20,878	5,418	69,657	5,155,600	359,124
平成18年度	19,100	16,093	7,172	22,646	5,070	70,081	5,434,700	318,292
平成19年度	21,669	17,259	6,690	26,373	5,157	77,148	5,706,200	369,656
平成20年度	20,012	15,894	6,333	26,829	6,530	75,598	5,749,540	372,130
平成21年度	25,685	16,384	7,328	30,728	8,404	88,529	5,466,045	374,704
対前年度増減率	1.19	0.95	1.10	1.17	1.63	1.15	0.96	1.01

※平成 18 年度から「宿泊客」と「通過客」を別々に集計し、その合計を那覇市における観光収入とした。

※宿泊費は一泊当たり宿泊費×平均宿泊日数で費用を算出。但し、平成 14 年までは一泊当たりの費用。

○那覇市の宿泊客と通過別消費額の推計

区 分	宿泊費	みやげ品費	交通費	飲食・娯楽費	雑 費	計(a)	観光客数(b)	観光収入 (a×b) (百万円)	合 計 (宿泊客+通過客) (百万円)
宿泊客	13,514	16,384	7,328	30,728	8,404	76,358	2,308,388	176,264	374,704
通過客	-	16,384	7,328	30,728	8,404	62,844	3,157,657	198,440	

<一泊当たり平均宿泊費と平均宿泊日数の考え方>

※一泊当たり平均宿泊費 (5,800 円)

1 泊当たりの平均宿泊費については、「那覇市内だけで支出した宿泊費」と「滞在期間」の両方の問いに回答を得られたものだけを集計している。

宿泊費合計(3,137,700 円)÷那覇泊合計(541 人泊) = 一人一泊当たり平均宿泊費(5,800 円/人泊)

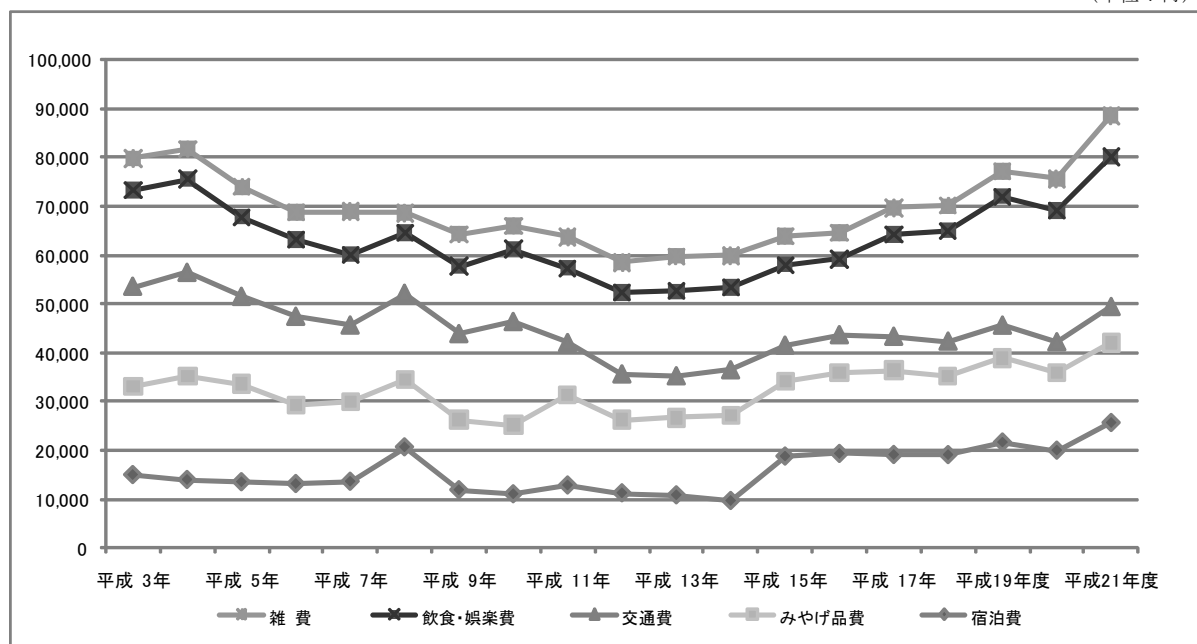
※平均宿泊日数 (2.33 日)

平均宿泊日数については、「那覇市内での宿泊日数」の合計を「回答者数」で除して求めた値である。

那覇泊合計(649 泊)÷有効回答者数(278 人) = 一人当たり平均宿泊日数(2.33 泊/人)

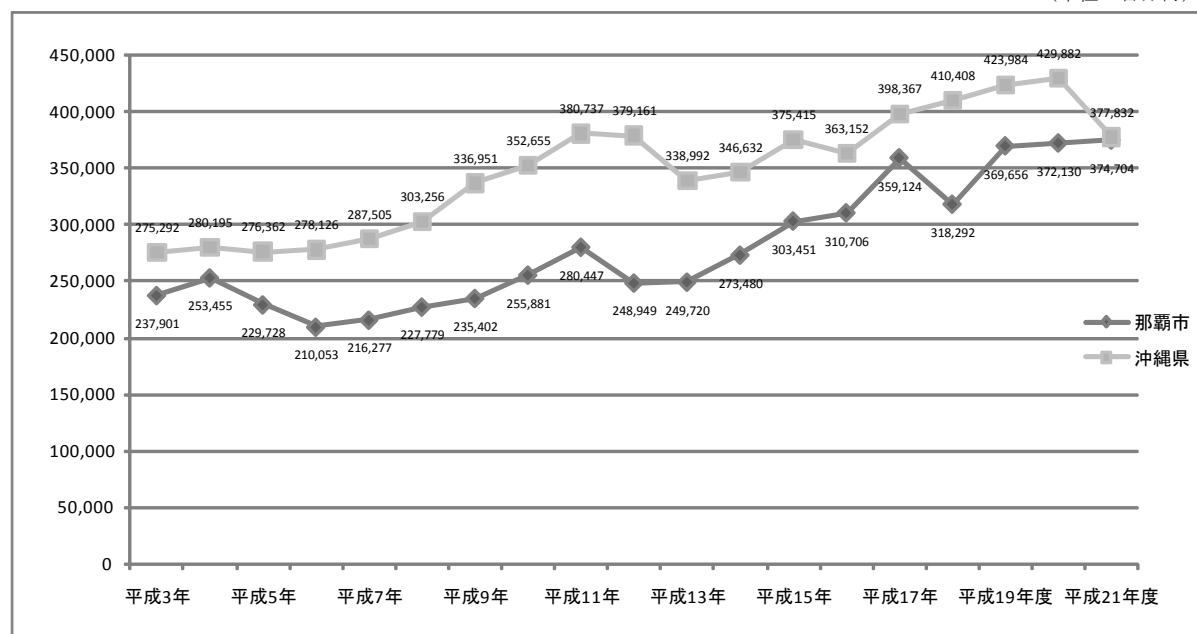
図表Ⅱ－9 年次別観光客一人あたり消費額内訳の推移（グラフ）

（単位：円）



図表Ⅱ－10 年次別観光収入の推移（入込み観光客数ベース）

（単位：百万円）



2) 那覇市内の宿泊客数

平成 21 年度的那覇市内の宿泊施設における延べ客数は、市内客室規模及び稼働状況から 537 万 8,543 人と推定される。

これをアンケート調査における平均宿泊日数で除し、市内宿泊数を算出した。その結果、那覇市内での宿泊客数は 230 万 8,388 人の推定となる。

図表Ⅱ－11 入込み観光客（県外・外国）のうち、那覇市内の宿泊客（推計）

（単位：人、日）

規 模	延べ収容人員 A	稼働率 B	延べ宿泊客数 A×B	那覇市内での宿泊数 C	宿泊客数 (A×B)/C
大(300人以上)	4,141,655	0.665	2,754,201	2.33	1,182,060
中(100～299人)	3,408,370	0.665	2,266,566	2.33	972,775
小(100人未満)	538,010	0.665	357,777	2.33	153,552
合計	8,088,035	—	5,378,543	—	2,308,388

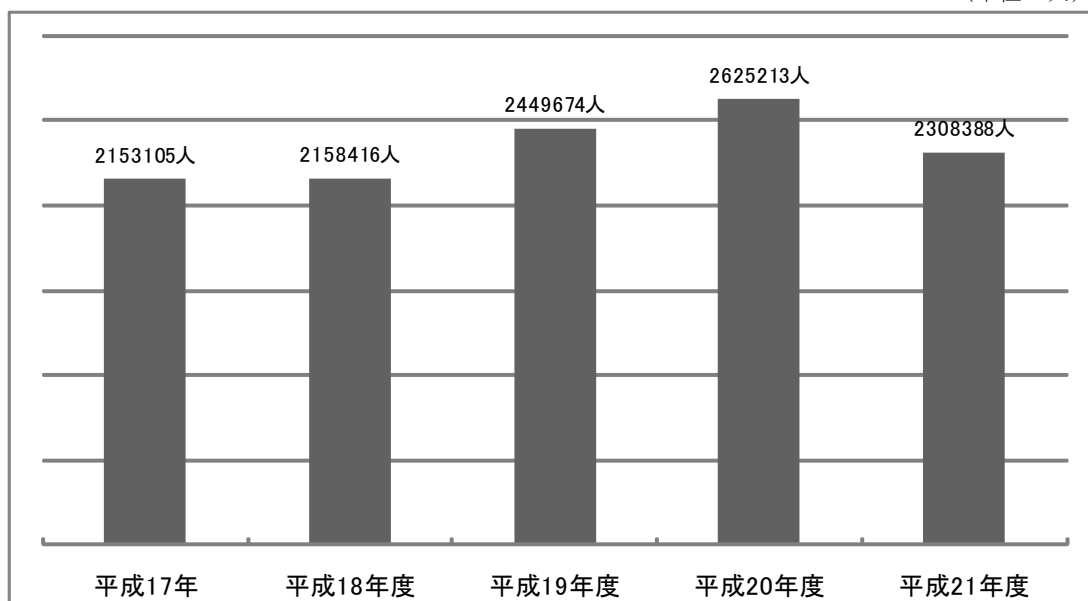
※延べ収容人員＝那覇市内宿泊施設の収容人員×365日【平成21年「宿泊施設実態調査」（沖縄県観光企画課）那覇市分参照】

※那覇市内での宿泊数は観光客アンケート調査から推計

※稼働率：日本銀行那覇支店資料「県内金融経済状況」（2010年4月30日）参照

図表Ⅱ－12 那覇市内宿泊の宿泊客数 過去5年間の推計（グラフ）

（単位：人）



図表Ⅱ－13 那覇市内の宿泊客数 過去5年間の推計

（単位：人）

	大規模	中規模	小規模	合計
平成17年	1,178,374	806,381	168,350	2,153,105
平成18年度	1,208,805	805,713	143,898	2,158,416
平成19年度	1,299,641	944,957	205,076	2,449,674
平成20年度	1,324,242	1,109,020	191,951	2,625,213
平成21年度	1,182,060	972,775	153,552	2,308,388

Ⅲ. 観光客アンケート調査の方法と結果

Ⅲ. 観光客アンケート調査の方法と結果

アンケート調査の方法

(1) 調査対象及び調査期間

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までに、那覇市内に宿泊した観光客を対象に行った。

(2) 調査方法

那覇市内に所在する約 100 軒の宿泊施設に対して調査協力を依頼し、各宿泊施設が宿泊客に対して調査票と返信用封筒を配布した。調査票の記入は、宿泊客が帰った後に自身で記入し、配布した返信用封筒によって返送してもらい、回収を行った。

宿泊施設に対する調査票の配布は年 3 回に分けて実施したため、月別の回答者数にばらつきが生じている。

(3) 調査項目

調査項目は、性別、年齢、居住地等の回答者の属性に関する項目、来県目的、来県動機、那覇市内で支出した費用、県内での移動手段、みやげ品の購入状況、サービス面での問題点や改善して欲しい点、観光コース等の項目を設定し、調査した。

(4) 調査票回収数及び有効回答数

■ 調査票回収数 : 347 票

■ うち有効回答数 : 280 票

回収した全調査票のうち、宿泊日が特定できないもの（＝未記入のもの）は、数的統計資料としては無効扱いとしたが、自由記述式の欄（「那覇市の印象および感想・意見・提言等」など）に記入された意見は「Ⅳ. 観光客の声」に反映させた。

図表Ⅲ－1 アンケートの質問項目

“那覇の旅” いかがでしたか？						
① 年 齢	1. 10 代	2. 20 代	3. 30 代	4. 40 代	5. 50 代	6. 60 代
	7. 70 代	8. 80 代以上				
② 性 別	1. 男	2. 女				
③ 住 所	都・道・府・県					
④ 職 業	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 農林漁業	5. 自由業	
	6. 学生	7. 主婦	8. 無職	9. その他（ ）		
⑤ 来県目的	1. 観光	2. 戦跡地参拝	3. 商用・社用	4. 公用	5. 観光兼用務	
	6. マリンレジャー	7. ゴルフ	8. 祭り・イベントの見物・参加			
	9. 新婚旅行	10. 大会・研修	11. その他（ ）			
	※ 8 と答えた方にお聞きます。次のどの祭りの見物、あるいはイベントへの参加でしたか。					
	1. 那覇ハーリー	2. 那覇まつり（那覇大綱挽）				
	3. NAHA マラソン	4. その他（ ）				
⑥ 来県動機	1. 友人・知人のすすめ	2. 家族のすすめ	3. 雑誌等の宣伝物を見て			
	4. 旅行業者のすすめ	5. 前に来て良かったから	6. 一度来たかった			
	7. その他（ ）					
⑦ 来県回数	1. 初めて	2. 2 回目	3. 3 回目	4. 4 回目以上		
⑧ どなたと一緒でしたか	1. 一人	2. 夫婦	3. 家族（ご自身含め 人）			
	4. 地域・職場の団体（ご自身含め 人）					
	5. 友人・知人グループ（ご自身含め 人）	6. その他（ ）				
⑨ 旅行形態及び旅費の総額（一人当たりの旅行代金）						
	1. 団体旅行 _____ 円	2. 観光つきパッケージツアー _____ 円				
	3. 個人旅行 _____ 円	4. フリープラン型パッケージツアー _____ 円				
⑩ 那覇市内だけで支出した一人当たりの費用 （パッケージに含まれる料金を除いて下さい。お支払いのない項目は 0 とお書き下さい。）						
	1. 宿泊費 _____ 円	2. 交通費（航空運賃除く） _____ 円				
	3. みやげ品費 _____ 円	4. 飲食費 _____ 円				
	5. 娯楽費 _____ 円	6. 雑費 _____ 円				

⑪ 沖縄本島内での移動手段
1. 路線バス 2. 貸切バス 3. タクシー 4. レンタカー
5. モノレール 6. 友人・知人の車 7. その他 ()

⑫ 那覇市内でお買い求めになったおみやげ品や商品 (いくつでも○をつけてください。)
1. 陶器・漆器 2. 琉球ガラス製品 3. 泡盛 4. 洋酒
5. さんご製品 6. 星砂・貝製品 7. 紅型・織物
8. かりゆしウェア・Tシャツ 9. お菓子類 10. 食品
11. 健康食品 12. 沖縄関係 CD・楽譜
13. 外国製品 (ハンドバック・洋服等) 14. その他 ()

⑬ おみやげをお買い求めになった場所 (いくつでも○をつけて下さい)
1. 市内ホテル 2. 国際通り周辺 3. 新都心
4. 空港 5. その他 ()

⑭ サービス面においての問題点や改善してほしい点 (いくつでも○をつけて下さい)
1. みやげ品店の接客 2. ホテルでの接客 3. タクシー乗務員の接客
4. 飲食店の接客 5. 道路案内表示 6. 交通機関の案内表示
7. 観光地案内表示 8. その他 ()

⑮ 沖縄滞在日数 泊 日 (うち那覇市内 泊 日) 年 月 日から

⑯ 滞在場所 (お泊りになられた地区に○をつけて下さい)

	那覇市内		那覇市以外	本島周辺離島			離島	
	宿泊施設	宿泊施設以外	(本島内)	慶良間	久米島	その他	宮古	八重山
1泊目								
2泊目								
3泊目								
4泊目								
5泊目								
6泊目以上								

⑰ 滞在中どの観光地に行きましたか (下記の中から該当する箇所レ点をつけ、ご記入下さい)

(那覇市内)		(那覇市外)	
☐ 首里城	(午前・午後・夕方以降)	☐ 北部観光	(日目)
☐ 識名園	(午前・午後・夕方以降)	☐ 中部観光	(日目)
☐ 国際通り	(午前・午後・夕方以降)	☐ 南部観光	(日目)
☐ 牧志公設市場	(午前・午後・夕方以降)	☐ 周辺離島	(日目)
☐ 新都心	(午前・午後・夕方以降)	☐ その他	(日目)
☐ 壺屋周辺	(午前・午後・夕方以降)		
☐ 福州園	(午前・午後・夕方以降)		
☐ てんぷす那覇	(午前・午後・夕方以降)		
☐ 那覇市伝統工芸館	(午前・午後・夕方以降)		
☐ 波の上ビーチ	(午前・午後・夕方以降)		
☐ DFS	(午前・午後・夕方以降)		
☐ その他	(午前・午後・夕方以降)		

⑱ 那覇市内にほしい施設
1. アミューズメント施設 2. レストラン街 3. ショッピングモール
4. 伝統工芸・芸能体験施設 5. スポーツ・レクリエーション施設
6. 駐車場 7. 教養・文化施設 8. 大型会議・研修施設
9. その他 () 10. 現状のままでよい

⑲ 那覇市の印象及び感想・意見・提言等 ※裏面をご利用になり、ご記入ください

ご協力ありがとうございました。

那覇市観光課 TEL. 098-862-3276 FAX. 098-862-1580

1. 回答者の属性

回答者の性別内訳は、「男性」53.2%、「女性」45.3%の割合になっている。

年齢別では、最も多い順から「50代」23.6%、「40代」21.1%、「30代」18.6%となっている。

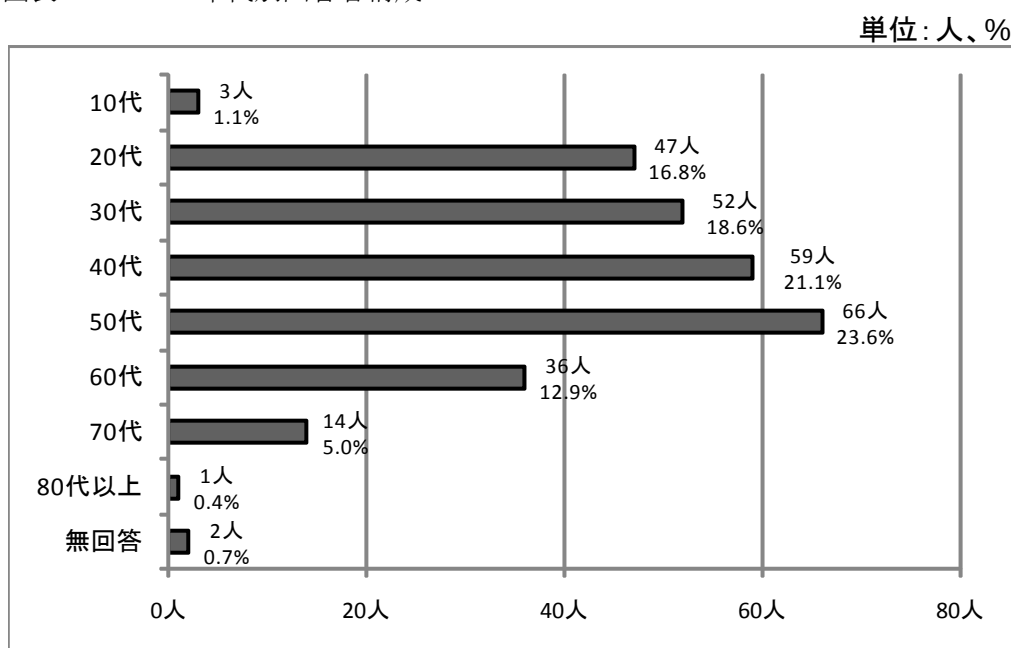
性別の構成比の回答比率は、「30代」以下では女性が高く、「40代」以上は男性が高くなっている。

職業別の回答数は、「会社員」が最も多く45.0%を占めている。「主婦」は全体的に年々増加傾向であるが、本年度は前年度を若干下回った。前年度と比較して、公務員の割合が減少傾向にある。

居住地別では、「南関東」が34.3%と最も多く、「九州」15.0%、「中部」13.9%がそれに続いている。都道府県別では、「東京都」14.6%、「福岡県」9.6%、「神奈川県」7.9%の順となっており、前年度と比較して九州地区からの来訪者の割合が増加した。

月別回答者数は、「10月」が最も多く100人（35.7%）、次いで「4月」16.4%、「11月」10.0%となっている。

図表Ⅲ－1－1 年代別回答者構成



図表Ⅲ－1－2 年代別・男女別回答者数及び構成比

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	総 計
男	2	17	25	41	40	14	10	1	1	151
女	1	30	27	18	26	22	4	0	0	128
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
男	66.7	36.2	48.1	69.5	60.6	38.9	71.4	100.0	50.0	53.9
女	33.3	63.8	51.9	30.5	39.4	61.1	28.6	0.0	0.0	45.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

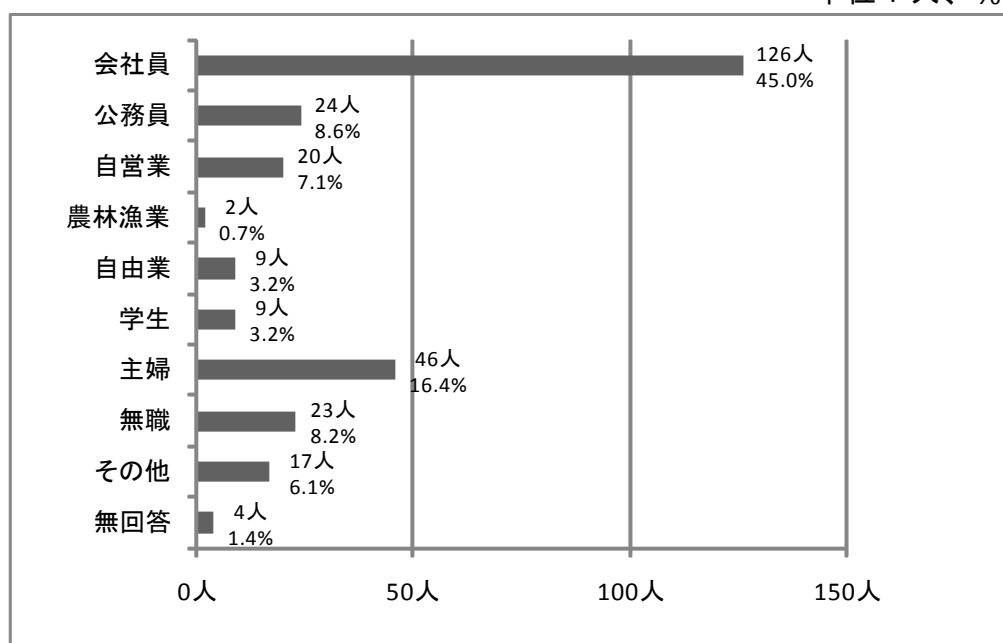
図表Ⅲ－１－３ 職業別回答者数及び構成比

単位：人、％

区 分	人 数	構成比
会社員	126	45.0
主婦	46	16.4
公務員	24	8.6
無職	23	8.2
自営業	20	7.1
自由業	9	3.2
学生	9	3.2
農林漁業	2	0.7
その他	17	6.1
無回答	4	1.4
総 計	280	100.0

図表Ⅲ－１－４ 職業別回答者数及び構成比グラフ

単位：人、％



図表Ⅲ－１－５ 職業別回答者比率の推移(過去５年間)

単位：％

区 分	平成17年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
会社員	40.5	48.8	43.0	42.4	45.7
公務員	14.3	13.3	9.1	13.5	8.7
自営業	9.0	7.3	6.7	5.5	7.2
農林漁業	0.5	0.9	1.6	0.8	0.7
自由業	2.5	1.7	2.0	1.5	3.3
学生	5.8	2.8	3.7	1.5	3.3
主婦	10.2	12.3	16.3	17.8	16.7
無職	8.3	7.5	9.7	8.0	8.3
その他	8.1	4.1	6.0	6.3	6.2

図表Ⅲ－1－6 居住地別回答者数及び構成比

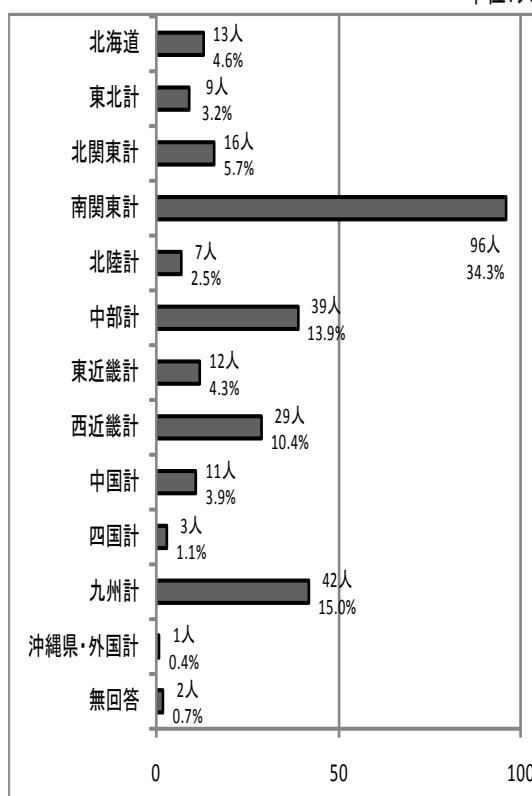
単位：人、%

都道府県名	人 数	構成比
北海道	13	4.6
青森県	2	0.7
岩手県	0	0.0
宮城県	4	1.4
秋田県	1	0.4
山形県	0	0.0
福島県	2	0.7
東北計	9	3.2
茨城県	4	1.4
栃木県	6	2.1
群馬県	6	2.1
北関東計	16	5.7
埼玉県	22	7.9
千葉県	11	3.9
東京都	41	14.6
神奈川県	22	7.9
南関東計	96	34.3
新潟県	3	1.1
富山県	3	1.1
石川県	0	0.0
福井県	1	0.4
北陸計	7	2.5
山梨県	0	0.0
長野県	8	2.9
岐阜県	5	1.8
静岡県	8	2.9
愛知県	15	5.4
三重県	3	1.1
中部計	39	13.9
滋賀県	6	2.1
京都府	3	1.1
奈良県	3	1.1
和歌山県	0	0.0
東近畿計	12	4.3
大阪府	20	7.1
兵庫県	9	3.2
西近畿計	29	10.4
鳥取県	2	0.7
島根県	0	0.0
岡山県	3	1.1
広島県	5	1.8
山口県	1	0.4
中国計	11	3.9

単位：人、%

徳島県	2	0.7
香川県	0	0.0
愛媛県	1	0.4
高知県	0	0.0
四国計	3	1.1
福岡県	27	9.6
長崎県	2	0.7
大分県	4	1.4
熊本県	3	1.1
佐賀県	1	0.4
宮崎県	0	0.0
鹿児島県	5	1.8
九州計	42	15.0
沖縄県	1	0.4
外国	0	0.0
沖縄県・外国計	1	0.4
無回答	2	0.7
総計	280	100.0

単位：人、%



図表Ⅲ－1－7 月別・年代別回答者数

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	平成21年									平成22年			総 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
10代	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
20代	4	3	0	3	0	1	29	3	1	1	1	1	47
30代	8	4	1	1	3	2	21	6	1	2	1	2	52
40代	7	4	4	4	3	0	20	7	6	2	2	0	59
50代	8	7	4	2	2	3	19	8	5	3	3	2	66
60代	10	4	1	3	0	0	7	2	0	3	3	3	36
70代	9	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	14
80代以上	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
回答数	46	24	10	13	8	6	100	28	14	11	11	9	280
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.6	0.0	0.0	9.1	0.0	1.1
20代	8.7	12.5	0.0	23.1	0.0	16.7	29.0	10.7	7.1	9.1	9.1	11.1	16.8
30代	17.4	16.7	10.0	7.7	37.5	33.3	21.0	21.4	7.1	18.2	9.1	22.2	18.6
40代	15.2	16.7	40.0	30.8	37.5	0.0	20.0	25.0	42.9	18.2	18.2	0.0	21.1
50代	17.4	29.2	40.0	15.4	25.0	50.0	19.0	28.6	35.7	27.3	27.3	22.2	23.6
60代	21.7	16.7	10.0	23.1	0.0	0.0	7.0	7.1	0.0	27.3	27.3	33.3	12.9
70代	19.6	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
80代以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	11.1	0.7
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－1－8 年代別回答者比率の推移(過去5年間) 単位：%

区 分	平成17年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
10代	2.6	1.5	1.1	1.3	1.1
20代	14.6	11.6	14.7	8.0	16.8
30代	23.2	25.8	21.6	27.6	18.6
40代	21.9	24.5	20.8	28.8	21.1
50代	19.8	21.7	20.7	16.8	23.2
60代以上	17.4	14.8	20.7	15.8	18.6

図表Ⅲ－1－9 月別・職業別回答者数

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	平成21年									平成22年			総 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
会社員	15	6	5	7	3	4	55	12	8	5	3	3	126
公務員	1	2	1	2	1	0	11	0	2	2	1	1	24
自営業	2	6	1	0	1	1	5	2	0	1	0	1	20
農林漁業	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
自由業	2	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	9
学生	1	0	0	1	0	0	3	1	0	0	2	1	9
主婦	8	6	1	0	3	1	15	5	1	2	2	2	46
無職	12	1	0	2	0	0	3	3	0	0	2	0	23
その他	5	2	1	0	0	0	4	2	1	0	1	1	17
無回答	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
回答数	46	24	10	13	8	6	100	28	14	11	11	9	280
会社員	32.6	25.0	50.0	53.8	37.5	66.7	55.0	42.9	57.1	45.5	27.3	33.3	45.0
公務員	2.2	8.3	10.0	15.4	12.5	0.0	11.0	0.0	14.3	18.2	9.1	11.1	8.6
自営業	4.3	25.0	10.0	0.0	12.5	16.7	5.0	7.1	0.0	9.1	0.0	11.1	7.1
農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
自由業	4.3	0.0	10.0	7.7	0.0	0.0	2.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	3.2
学生	2.2	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	3.0	3.6	0.0	0.0	18.2	11.1	3.2
主婦	17.4	25.0	10.0	0.0	37.5	16.7	15.0	17.9	7.1	18.2	18.2	22.2	16.4
無職	26.1	4.2	0.0	15.4	0.0	0.0	3.0	10.7	0.0	0.0	18.2	0.0	8.2
その他	10.9	8.3	10.0	0.0	0.0	0.0	4.0	7.1	7.1	0.0	9.1	11.1	6.1
無回答	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	7.1	9.1	0.0	0.0	1.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

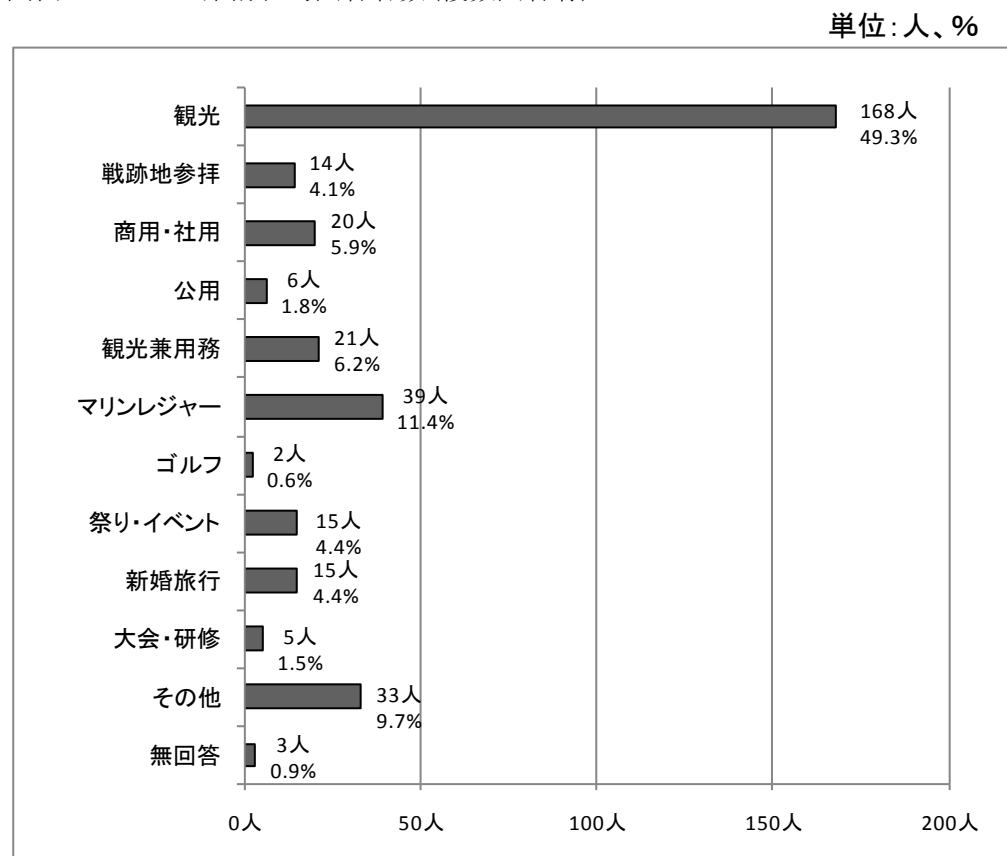
2. 来訪目的

来訪の目的は、「観光」が最も多く 49.3%となっており、次いで「マリンレジャー」11.4%、「観光兼用務」6.2%、「商用・社用」5.9%の順となっている。

年代別にみても、各年代とも「観光」が最も多く、さらに「20代」から「50代」にかけて「マリンレジャー」がそれに次いでいる。

職業別にみても、どの職種でも「観光」で訪れる人の割合が最も多くなっている。また、次に多い回答数である「マリンレジャー」を目的に訪れる人の職種は「会社員」、「公務員」、「主婦」の順となっている。

図表Ⅲ－2－1 来訪目的回答者数(複数回答有)



図表Ⅲ－２－２ 年代別・来訪目的(複数回答有)

単位: 人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
観光	2	30	36	35	32	22	10	1		168
戦跡地参拝	1	2	2	1	2	3	2	0	1	14
商用・社用	0	2	3	6	8	1	0	0		20
公用	0	0	1	1	3	0	1	0		6
観光兼用務	0	4	4	3	5	3	2	0		21
マリンレジャー	0	11	8	9	10	1	0	0		39
ゴルフ	0	0	0	0	1	0	1	0		2
祭り・イベント	0	0	3	6	4	1	1	0		15
新婚旅行	0	9	6	0	0	0	0	0		15
大会・研修	1	1	1	0	1	1	0	0		5
その他	0	1	2	5	11	13	0	0	1	33
無回答		1			1				1	3
回答数	4	61	66	66	78	45	17	1	3	341
観光	50.0	49.2	54.5	53.0	41.0	48.9	58.8	100.0	0.0	49.3
戦跡地参拝	25.0	3.3	3.0	1.5	2.6	6.7	11.8	0.0	33.3	4.1
商用・社用	0.0	3.3	4.5	9.1	10.3	2.2	0.0	0.0	0.0	5.9
公用	0.0	0.0	1.5	1.5	3.8	0.0	5.9	0.0	0.0	1.8
観光兼用務	0.0	6.6	6.1	4.5	6.4	6.7	11.8	0.0	0.0	6.2
マリンレジャー	0.0	18.0	12.1	13.6	12.8	2.2	0.0	0.0	0.0	11.4
ゴルフ	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	5.9	0.0	0.0	0.6
祭り・イベント	0.0	0.0	4.5	9.1	5.1	2.2	5.9	0.0	0.0	4.4
新婚旅行	0.0	14.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4
大会・研修	25.0	1.6	1.5	0.0	1.3	2.2	0.0	0.0	0.0	1.5
その他	0.0	1.6	3.0	7.6	14.1	28.9	0.0	0.0	33.3	9.7
無回答	0.0	1.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.9
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－２－３ 職業別・来訪目的(複数回答有)

単位: 人(上段)、%(下段)

区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答
観光	76	12	8	0	5	6	34	17	10	0
戦跡地参拝	2	1	2	0	1	1	1	4	1	1
商用・社用	18	0	1	0	1	0	0	0	0	0
公用	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0
観光兼用務	7	1	1	1	3	1	3	1	3	0
マリンレジャー	21	6	3	1	1	0	6	0	0	1
ゴルフ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
祭り・イベント	9	1	2	0	0	0	1	0	2	0
新婚旅行	9	0	1	0	0	0	5	0	0	0
大会・研修	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0
その他	9	3	4	0	1	0	4	6	5	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
回答数	152	27	24	2	12	10	57	28	23	6
観光	50.0	44.4	33.3	0.0	41.7	60.0	59.6	60.7	43.5	0.0
戦跡地参拝	1.3	3.7	8.3	0.0	8.3	10.0	1.8	14.3	4.3	16.7
商用・社用	11.8	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公用	0.0	11.1	4.2	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	4.3	0.0
観光兼用務	4.6	3.7	4.2	50.0	25.0	10.0	5.3	3.6	13.0	0.0
マリンレジャー	13.8	22.2	12.5	50.0	8.3	0.0	10.5	0.0	0.0	16.7
ゴルフ	0.7	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祭り・イベント	5.9	3.7	8.3	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	8.7	0.0
新婚旅行	5.9	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0
大会・研修	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	3.5	0.0	4.3	0.0
その他	5.9	11.1	16.7	0.0	8.3	0.0	7.0	21.4	21.7	16.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 来訪動機

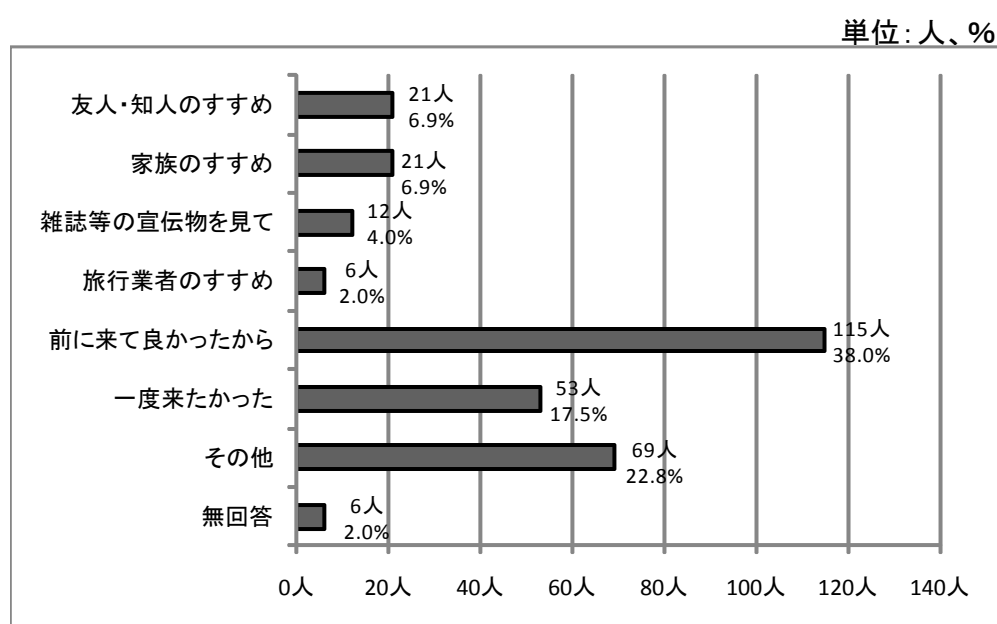
来訪動機は、「前に来て良かったから」が 38.0%と最も多く、次いで「その他」29.8%、「一度来たかった」17.5%となっている。「その他」の詳細は不明である。

また年代別では、「前に来て良かったから」を動機として上げた人は「50代」27.8%、「30代」23.5%、「40代」20.9%となっており、全回答者の約7割を占めている。

さらに来訪回数別来訪動機では、来訪回数を重ねるにつれて雑誌等の宣伝の影響力は低下する傾向が見られる。また、「友人・知人のすすめ」「家族のすすめ」など、身近な人からのアドバイスも来訪のきっかけに大きな影響を及ぼしていると思われる。

過去5年間の来訪動機の推移を見てみると、「前に来て良かったから」が最も多く、次いで「一度来たかった」となる傾向に変化はない。沖縄が依然として「一度は行ってみたい土地」であり、さらに一度来てみると二度三度と「繰り返し訪れたい土地」であることがうかがえる。

図表Ⅲ－3－1 来訪動機回答者数



図表Ⅲ－3－2 年代別・来訪動機（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
友人・知人のすすめ	0	5	6	5	2	2	1	0	0	21
家族のすすめ	0	2	4	3	7	3	2	0	0	21
雑誌等の宣伝物を見て	1	2	2	4	1	1	1	0	0	12
旅行業者のすすめ	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
前に来て良かったから	0	19	27	24	32	9	4	0	0	115
一度来たかった	1	15	8	6	9	10	2	1	1	53
その他	1	7	12	14	18	14	3	0	0	69
無回答	0	0	0	5	1	0	0	0	0	6
回答数	3	50	59	64	71	40	14	1	1	303
友人・知人のすすめ	0.0	10.0	10.2	7.8	2.8	5.0	7.1	0.0	0.0	6.9
家族のすすめ	0.0	4.0	6.8	4.7	9.9	7.5	14.3	0.0	0.0	6.9
雑誌等の宣伝物を見て	33.3	4.0	3.4	6.3	1.4	2.5	7.1	0.0	0.0	4.0
旅行業者のすすめ	0.0	0.0	0.0	4.7	1.4	2.5	7.1	0.0	0.0	2.0
前に来て良かったから	0.0	38.0	45.8	37.5	45.1	22.5	28.6	0.0	0.0	38.0
一度来たかった	33.3	30.0	13.6	9.4	12.7	25.0	14.3	100.0	100.0	17.5
その他	33.3	14.0	20.3	21.9	25.4	35.0	21.4	0.0	0.0	22.8
無回答	0.0	0.0	0.0	7.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－3－3 職業別・来訪動機（複数回答有）

単位：人（上段）、％（下段）											
区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総 計
友人・知人のすすめ	8	3	2	0	0	1	3	3	1	0	21
家族のすすめ	6	1	1	0	0	0	10	3	0	0	21
雑誌等の宣伝物を見て	5	0	0	0	0	1	1	2	3	0	12
旅行者のすすめ	1	0	0	0	0	0	1	2	2	0	6
前に来て良かったから	55	13	7	1	6	3	20	5	2	3	115
一度来たかった	20	3	5	0	3	2	11	7	2	0	53
その他	35	5	6	1	1	2	4	7	7	1	69
無回答	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	6
回答数	134	25	22	2	10	9	50	29	18	4	303
友人・知人のすすめ	6.0	12.0	9.1	0.0	0.0	11.1	6.0	10.3	5.6	0.0	6.9
家族のすすめ	4.5	4.0	4.5	0.0	0.0	0.0	20.0	10.3	0.0	0.0	6.9
雑誌等の宣伝物を見て	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	2.0	6.9	16.7	0.0	4.0
旅行者のすすめ	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.9	11.1	0.0	2.0
前に来て良かったから	41.0	52.0	31.8	50.0	60.0	33.3	40.0	17.2	11.1	75.0	38.0
一度来たかった	14.9	12.0	22.7	0.0	30.0	22.2	22.0	24.1	11.1	0.0	17.5
その他	26.1	20.0	27.3	50.0	10.0	22.2	8.0	24.1	38.9	25.0	22.8
無回答	3.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	2.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

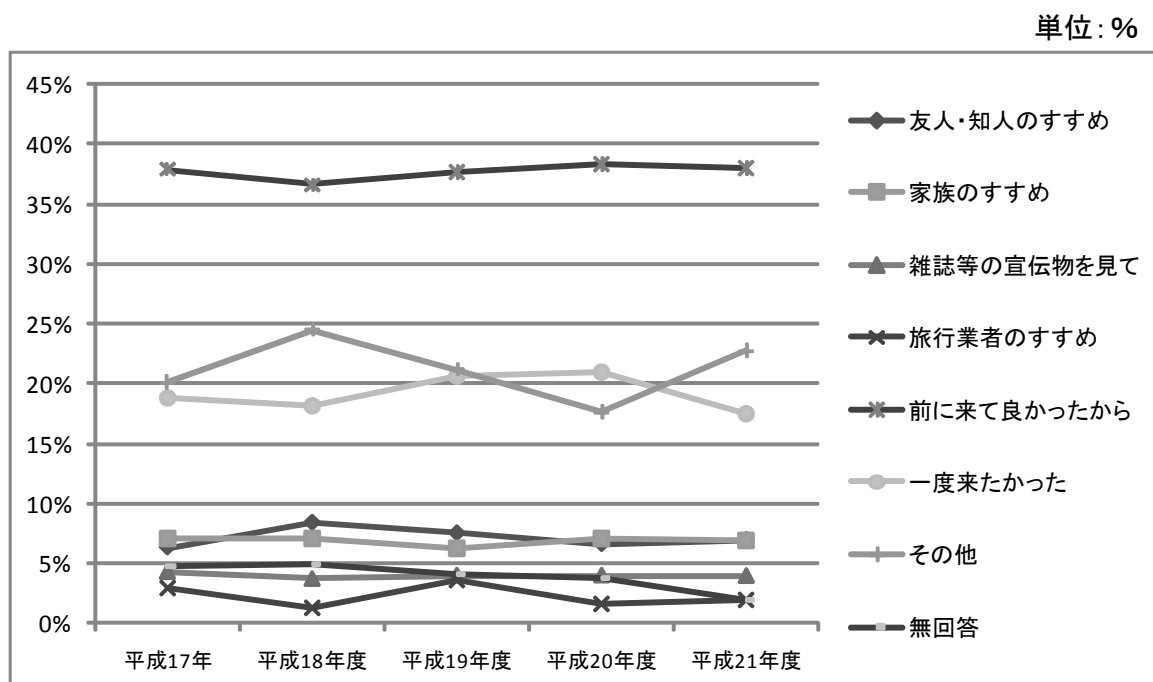
図表Ⅲ－3－4 来訪回数別・来訪動機（複数回答有）

単位：人（上段）、％（下段）						
区 分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総 計
友人・知人のすすめ	6	6	1	8	0	21
家族のすすめ	6	10	2	3	0	21
雑誌等の宣伝物を見て	6	4	0	2	0	12
旅行者のすすめ	2	2	0	2	0	6
前に来て良かったから	0	29	14	72	0	115
一度来たかった	47	3	1	2	0	53
その他	12	9	7	39	2	69
無回答	0	0	0	6	0	6
回答数	79	63	25	134	2	303
友人・知人のすすめ	7.6	9.5	4.0	6.0	0.0	6.9
家族のすすめ	7.6	15.9	8.0	2.2	0.0	6.9
雑誌等の宣伝物を見て	7.6	6.3	0.0	1.5	0.0	4.0
旅行者のすすめ	2.5	3.2	0.0	1.5	0.0	2.0
前に来て良かったから	0.0	46.0	56.0	53.7	0.0	38.0
一度来たかった	59.5	4.8	4.0	1.5	0.0	17.5
その他	15.2	14.3	28.0	29.1	100.0	22.8
無回答	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	2.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－3－5 来訪動機の推移（過去5年間）

単位：％					
区 分	平成17年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
友人・知人のすすめ	6.3	8.4	7.5	6.6	6.9
家族のすすめ	7.1	7.1	6.2	7.1	6.9
雑誌等の宣伝物を見て	4.3	3.7	4.0	4.0	4.0
旅行者のすすめ	2.9	1.3	3.6	1.6	2.0
前に来て良かったから	37.9	36.6	37.7	38.4	38.0
一度来たかった	18.8	18.1	20.6	20.9	17.5
その他	20.1	24.5	21.2	17.6	22.8
無回答	4.7	4.9	4.1	3.8	2.0

図表Ⅲ－3－6 来訪動機の推移



4. 来訪回数

年代別来訪回数は、「10代」「20代」の若年層の多くが「初めて」なのにたいし、「30代」「40代」「50代」では「4回目以上」という回答の占める割合が大きい。年代が上がるにつれてリピート率も上がるのは理解できるが、「60代」では「初めて」の割合が再び増加し「4回目以上」とほぼ同じ割合になっており、これは退職後に生じた余暇の活用方法のひとつとして沖縄旅行を選択しているとも考えられる。

さらに職業別内訳をみると、「4回目以上」の来訪者は「会社員」が約4割を占めているが、それに次いで「主婦」が約1割強を占めていることも注目に値する。

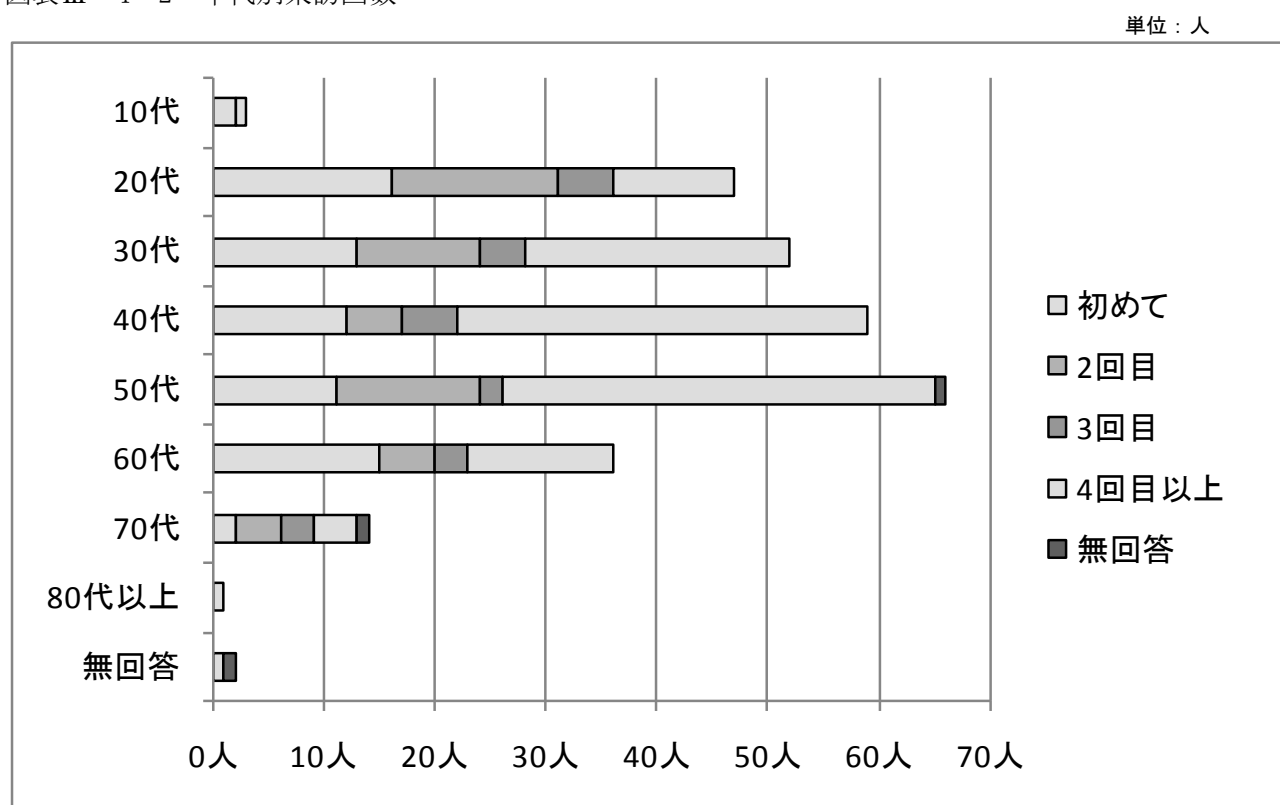
来訪目的別にみると、どの来訪回数においても「観光」が最も多く、次いで「マリンレジャー」となっている。また、「新婚旅行」で訪れた人の来訪回数は「初めて」「2回目」に集中している。

月別に来訪回数の内訳をみると、「9月」をのぞく全ての月で「4回目以上」の来訪者が最上位を占めており、一度沖縄を気に入った旅行者は、時を選ばず来訪していることがうかがえる。

図表Ⅲ－4－1 年代別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)										
区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
初めて	2	16	13	12	11	15	2	1	1	73
2回目	0	15	11	5	13	5	4	0	0	53
3回目	0	5	4	5	2	3	3	0	0	22
4回目以上	1	11	24	37	39	13	4	0	0	129
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
初めて	66.7	34.0	25.0	20.3	16.7	41.7	14.3	100.0	50.0	26.1
2回目	0.0	31.9	21.2	8.5	19.7	13.9	28.6	0.0	0.0	18.9
3回目	0.0	10.6	7.7	8.5	3.0	8.3	21.4	0.0	0.0	7.9
4回目以上	33.3	23.4	46.2	62.7	59.1	36.1	28.6	0.0	0.0	46.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	7.1	0.0	50.0	1.1
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－4－2 年代別来訪回数



図表Ⅲ－４－３ 職業別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総 計
初めて	28	5	4	1	2	3	18	5	7	0	73
2回目	20	4	3	0	0	3	10	10	3	0	53
3回目	9	3	2	0	1	1	3	2	0	1	22
4回目以上	68	12	11	1	6	2	15	5	7	2	129
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
回答数	126	24	20	2	9	9	46	23	17	4	280
初めて	22.2	20.8	20.0	50.0	22.2	33.3	39.1	21.7	41.2	0.0	26.1
2回目	15.9	16.7	15.0	0.0	0.0	33.3	21.7	43.5	17.6	0.0	18.9
3回目	7.1	12.5	10.0	0.0	11.1	11.1	6.5	8.7	0.0	25.0	7.9
4回目以上	54.0	50.0	55.0	50.0	66.7	22.2	32.6	21.7	41.2	50.0	46.1
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	25.0	1.1
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

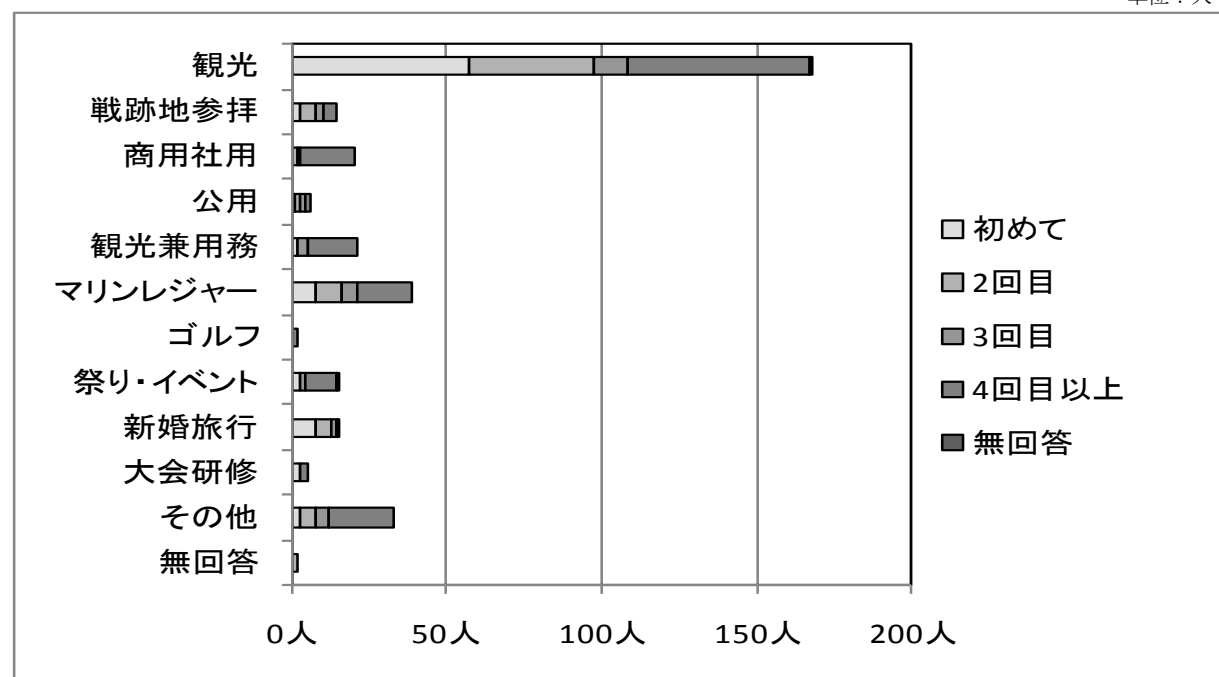
図表Ⅲ－４－４ 来訪目的別来訪回数（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	観光	戦跡地参拝	商用社用	公用	観光兼用務	マリンレジャー	ゴルフ	祭り・イベント	新婚旅行	大会研修	その他	無回答	有効回答数
初めて	57	3	0	1	2	8	0	3	8	3	3	0	88
2回目	40	5	2	2	0	8	0	0	5	0	5	2	69
3回目	11	2	1	1	3	5	0	1	1	0	4	0	29
4回目以上	59	4	17	2	16	18	2	10	1	2	21	0	152
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
回答数	168	14	20	6	21	39	2	15	15	5	33	3	341
初めて	33.9	21.4	0.0	16.7	9.5	20.5	0.0	20.0	53.3	60.0	9.1	0.0	25.8
2回目	23.8	35.7	10.0	33.3	0.0	20.5	0.0	0.0	33.3	0.0	15.2	66.7	20.2
3回目	6.5	14.3	5.0	16.7	14.3	12.8	0.0	6.7	6.7	0.0	12.1	0.0	8.5
4回目以上	35.1	28.6	85.0	33.3	76.2	46.2	100.0	66.7	6.7	40.0	63.6	0.0	44.6
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.9
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－４－５ 来訪目的別来訪回数

単位：人



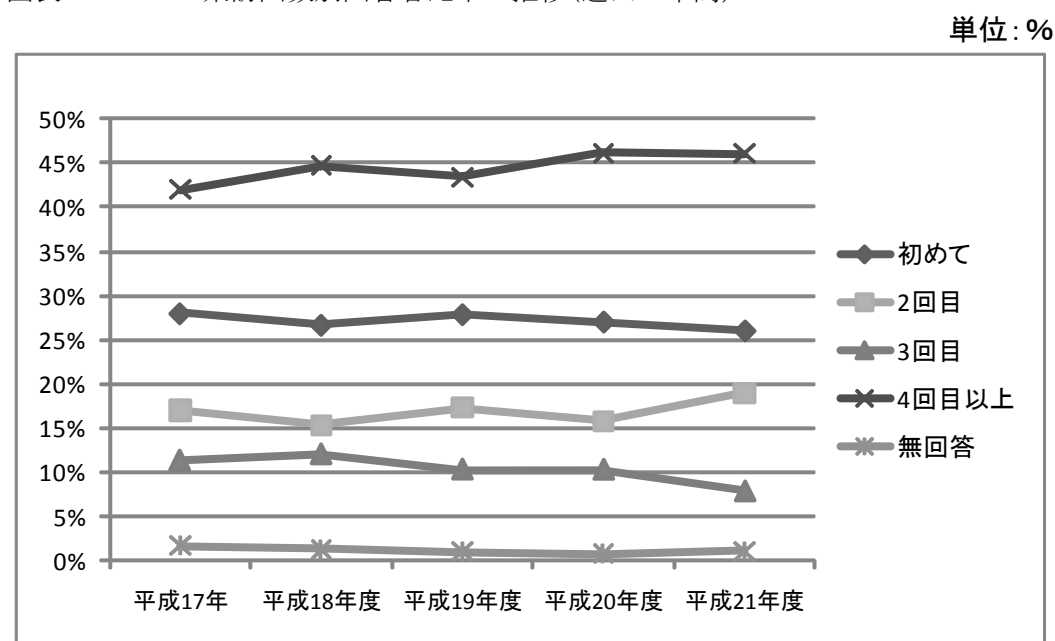
図表Ⅲ－４－６ 月別来訪回数

単位：人(上段)、%(下段)													
区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総 計
初めて	2	1	1	14	7	1	0	2	1	32	9	3	73
2回目	1	2	2	10	3	2	0	1	3	26	3	0	53
3回目	0	1	1	1	4	0	3	1	1	6	2	2	22
4回目以上	8	7	5	20	10	7	10	4	1	36	14	7	129
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
回答数	11	11	9	46	24	10	13	8	6	100	28	14	280
初めて	18.2	9.1	11.1	30.4	29.2	10.0	0.0	25.0	16.7	32.0	32.1	21.4	26.1
2回目	9.1	18.2	22.2	21.7	12.5	20.0	0.0	12.5	50.0	26.0	10.7	0.0	18.9
3回目	0.0	9.1	11.1	2.2	16.7	0.0	23.1	12.5	16.7	6.0	7.1	14.3	7.9
4回目以上	72.7	63.6	55.6	43.5	41.7	70.0	76.9	50.0	16.7	36.0	50.0	50.0	46.1
無回答	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	1.1
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－４－７ 来訪回数別回答者比率の推移（過去５年間）

単位：%					
区 分	平成17年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
初めて	28.0	26.7	27.9	27.1	26.1
2回目	17.0	15.3	17.3	15.8	18.9
3回目	11.3	12.0	10.3	10.3	7.9
4回目以上	42.0	44.7	43.4	46.1	46.1
無回答	1.7	1.3	1.0	0.8	1.1
総 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
初めて リピーター	28.0	26.7	27.9	27.1	26.1
	70.3	72.0	71.0	72.2	72.9

図表Ⅲ－４－８ 来訪回数別回答者比率の推移（過去５年間）



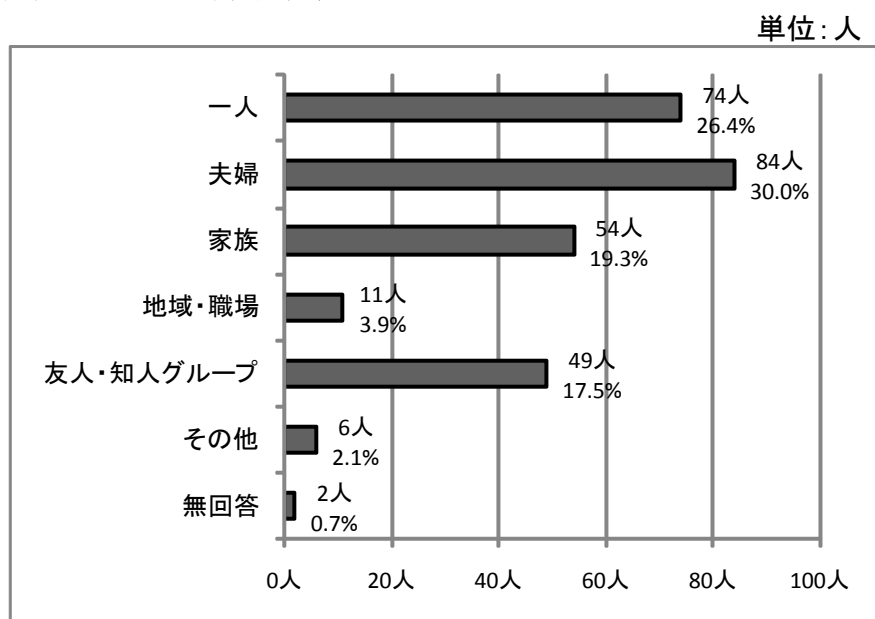
5. 旅行者形態（旅行の同行者）

旅行の同行者形態は、「夫婦」が30.0%と最も多く、次いで「一人」(26.4%)となっており、昨年度2位であった「家族」は3位(19.3%)に後退している。また年代別にみると、「20代」は「友人・知人グループ」で、「30代」は「夫婦」で、「40代」「50代」はともに「一人」で来訪するケースが最も多くなっている。

職業別に同行者の形態をみると、「学生」は「友人・知人グループ」で、「主婦」は「家族」「夫婦」での来訪が多い傾向にある。「無職」は「夫婦」「一人」での来訪が目立つが、これは退職後に生じた時間を活用しているものと思われる。

来訪目的別旅行者形態内訳では、「家族」「夫婦」「友人・知人グループ」を伴う来訪者は「観光」、「マリンレジャー」が主な目的としており、一方、「一人」での来訪者の主な目的としては「観光」に次いで「商用・社用」などが挙げられる。

図表Ⅲ－5－1 旅行同行者



図表Ⅲ－5－2 年代別旅行同行者

単位: 人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
一人	0	3	14	22	23	7	4	0	1	74
夫婦	0	17	16	13	19	14	4	1	0	84
家族	1	5	15	13	12	6	2	0	0	54
地域・職場の団体	1	1	2	2	1	2	2	0	0	11
友人・知人グループ	0	20	5	8	9	6	1	0	0	49
その他	1	1	0	1	2	1	0	0	0	6
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
一人	0.0	6.4	26.9	37.3	34.8	19.4	28.6	0.0	50.0	26.4
夫婦	0.0	36.2	30.8	22.0	28.8	38.9	28.6	100.0	0.0	30.0
家族	33.3	10.6	28.8	22.0	18.2	16.7	14.3	0.0	0.0	19.3
地域・職場の団体	33.3	2.1	3.8	3.4	1.5	5.6	14.3	0.0	0.0	3.9
友人・知人グループ	0.0	42.6	9.6	13.6	13.6	16.7	7.1	0.0	0.0	17.5
その他	33.3	2.1	0.0	1.7	3.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	50.0	0.7
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－５－３ 職業別旅行者形態

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総 計
一人	37	7	5	0	4	2	6	8	5	0	74
夫婦	39	5	7	0	1	0	18	10	2	2	84
家族	19	3	5	0	2	1	14	3	6	1	54
地域・職場の団体	5	2	0	1	0	1	0	1	1	0	11
友人・知人グループ	23	6	2	1	2	4	7	1	2	1	49
その他	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	6
無回答	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
回答数	126	24	20	2	9	9	46	23	17	4	280
一人	29.4	29.2	25.0	0.0	44.4	22.2	13.0	34.8	29.4	0.0	26.4
夫婦	31.0	20.8	35.0	0.0	11.1	0.0	39.1	43.5	11.8	50.0	30.0
家族	15.1	12.5	25.0	0.0	22.2	11.1	30.4	13.0	35.3	25.0	19.3
地域・職場の団体	4.0	8.3	0.0	50.0	0.0	11.1	0.0	4.3	5.9	0.0	3.9
友人・知人グループ	18.3	25.0	10.0	50.0	22.2	44.4	15.2	4.3	11.8	25.0	17.5
その他	2.4	0.0	5.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	5.9	0.0	2.1
無回答	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.7
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－５－４ 来訪目的別旅行者形態（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	観光	戦跡地 参拝	商用・社用	公用	観光兼 用務	マリン レジャー	ゴルフ	祭り・ イベント	新婚旅行	大会研修	その他	無回答	総 計
一人	33	2	12	2	6	5	1	6	0	3	12	0	82
夫婦	50	4	0	0	8	12	1	4	14	0	11	1	105
家族	48	4	0	0	0	8	0	0	1	0	8	0	69
地域・職場の団体	1	1	4	3	2	0	0	1	0	1	0	0	13
友人・知人グループ	34	1	1	1	4	14	0	4	0	1	0	1	61
その他	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
回答数	168	14	20	6	21	39	2	15	15	5	33	3	341
一人	19.6	14.3	60.0	33.3	28.6	12.8	50.0	40.0	0.0	60.0	36.4	0.0	24.0
夫婦	29.8	28.6	0.0	0.0	38.1	30.8	50.0	26.7	93.3	0.0	33.3	33.3	30.8
家族	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	6.7	0.0	24.2	0.0	20.2
地域・職場の団体	0.6	7.1	20.0	50.0	9.5	0.0	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	0.0	3.8
友人・知人グループ	20.2	7.1	5.0	16.7	19.0	35.9	0.0	26.7	0.0	20.0	0.0	33.3	17.9
その他	0.6	14.3	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	2.3
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.9
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

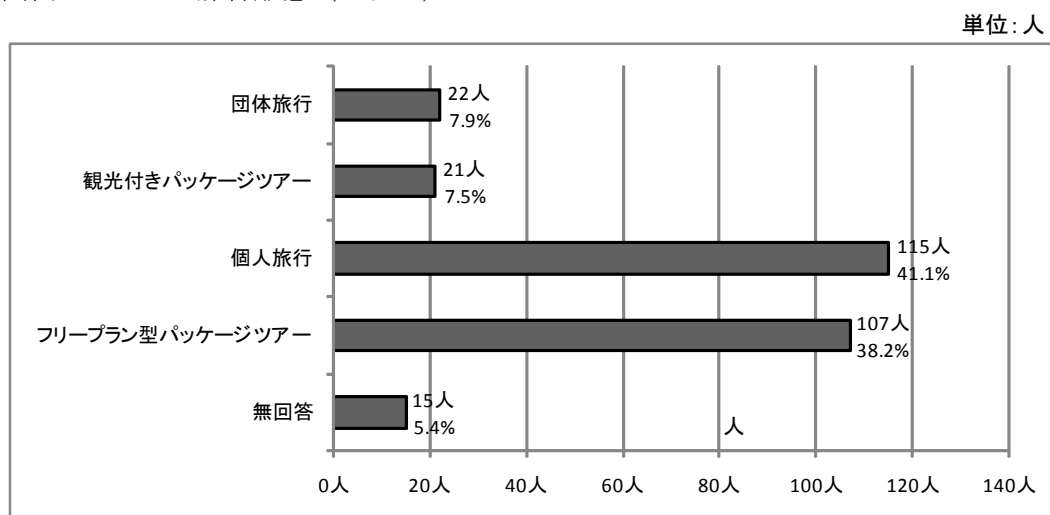
6. 旅行形態（個人旅行・団体旅行・パッケージツアー）

旅行の形態は、本年度は「個人旅行」（41.1%）が、昨年まで首位であった「フリープラン型パッケージツアー」を抜いて最も高い比率となった。この二つを合わせると全体の約8割を占める。

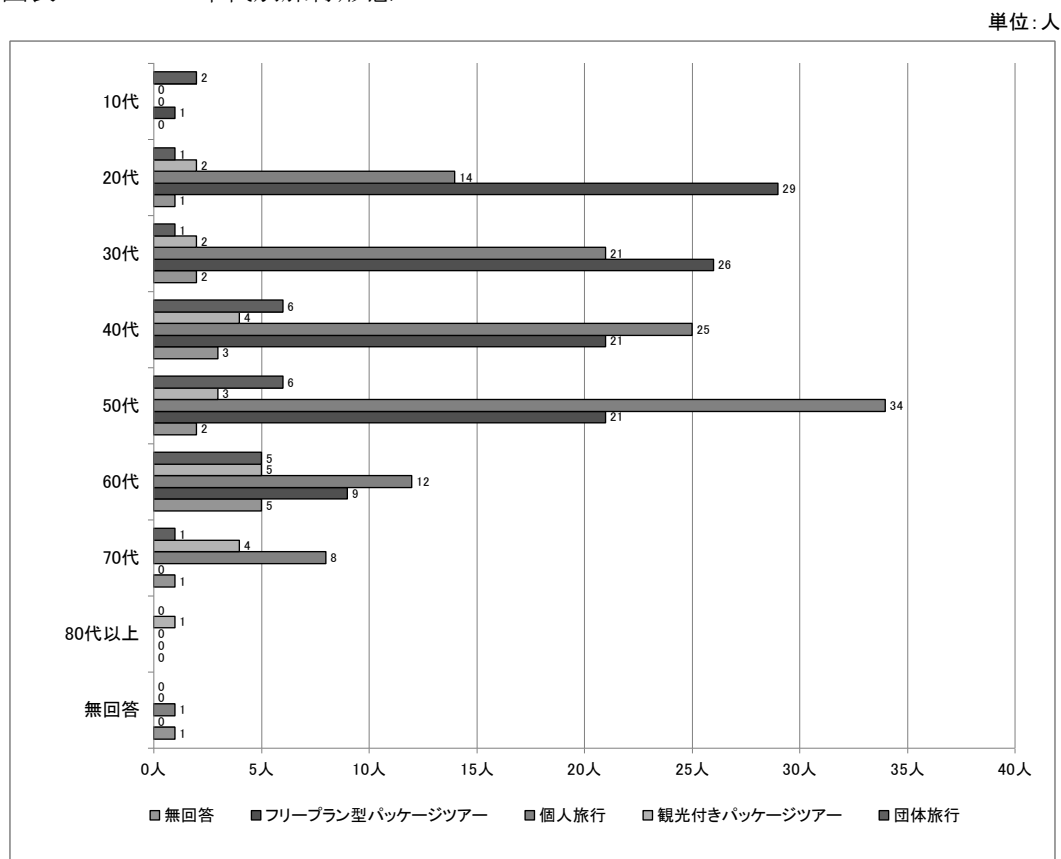
さらに年代別旅行形態では、「20代」と「30代」では「フリープラン型パッケージツアー」が最多で、次いで「個人旅行」となっているが、「40代」以上ではその関係が逆転している。

来訪回数別旅行形態については、「初めて」、「2回目」の回答者では「フリープラン型パッケージツアー」の割合が若干高いのに比べ、「3回目」、「4回目以上」の回答者では「個人旅行」の割合が若干高くなっている。

図表Ⅲ－6－1 旅行形態（グラフ）



図表Ⅲ－6－2 年代別旅行形態

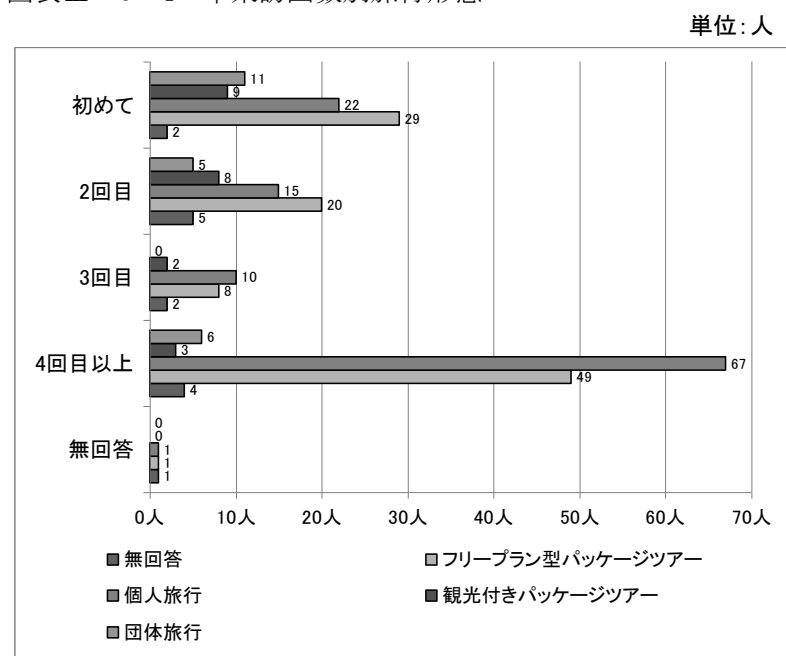


図表Ⅲ－6－3 年代別旅行形態

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総計
団体旅行	2	1	1	6	6	5	1	0	0	22
観光付き パッケージツアー	0	2	2	4	3	5	4	1	0	21
個人旅行	0	14	21	25	34	12	8	0	1	115
フリープラン型 パッケージツアー	1	29	26	21	21	9	0	0	0	107
無回答	0	1	2	3	2	5	1	0	1	15
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
団体旅行	66.7	2.1	1.9	10.2	9.1	13.9	7.1	0.0	0.0	7.9
観光付き パッケージツアー	0.0	4.3	3.8	6.8	4.5	13.9	28.6	100.0	0.0	7.5
個人旅行	0.0	29.8	40.4	42.4	51.5	33.3	57.1	0.0	50.0	41.1
フリープラン型 パッケージツアー	33.3	61.7	50.0	35.6	31.8	25.0	0.0	0.0	0.0	38.2
無回答	0.0	2.1	3.8	5.1	3.0	13.9	7.1	0.0	50.0	5.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－6－4 年来訪回数別旅行形態



図表Ⅲ－6－5 来訪回数別旅行形態

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総計
団体旅行	11	5	0	6	0	22
観光付き パッケージツアー	8	8	2	3	0	21
個人旅行	22	15	10	67	1	115
フリープラン型 パッケージツアー	29	20	8	49	1	107
無回答	3	5	2	4	1	15
回答数	73	53	22	129	3	280
団体旅行	15.1	9.4	0.0	4.7	0.0	7.9
観光付き パッケージツアー	11.0	15.1	9.1	2.3	0.0	7.5
個人旅行	30.1	28.3	45.5	51.9	33.3	41.1
フリープラン型 パッケージツアー	39.7	37.7	36.4	38.0	33.3	38.2
無回答	4.1	9.4	9.1	3.1	33.3	5.4
回答数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

7. 旅行期間

1) 旅行日数

沖縄旅行日数は、「3泊4日」が最も多く 36.8%を占め、次いで「2泊3日」(27.9%)となっており、この2つで全体の約6割強を占めている。

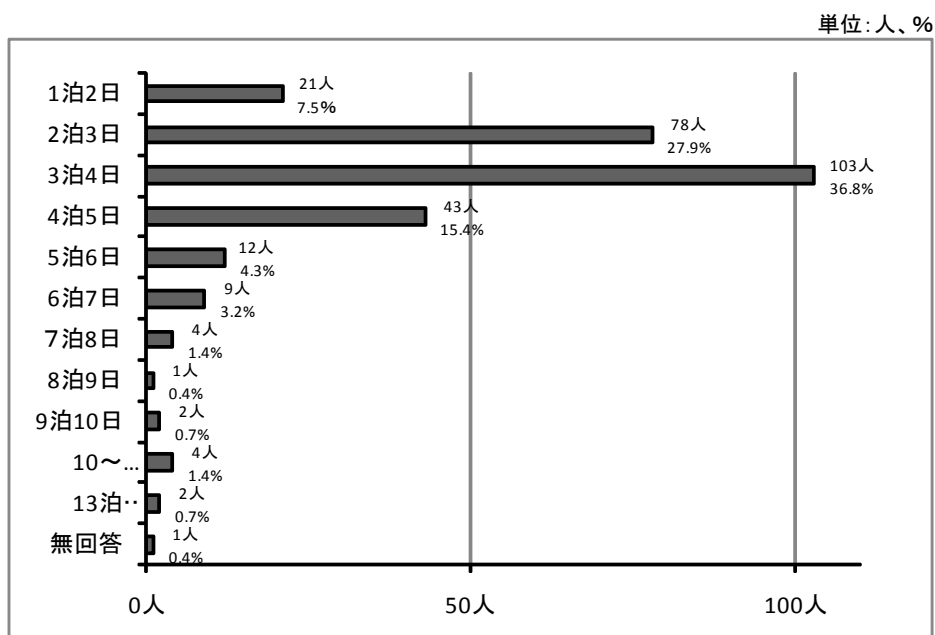
さらに年代別では、「50代」をのぞく全ての年代で「3泊4日」が最も多くなっている。('50代」は「2泊3日」が最多)

職業別では、「会社員」「自営業」「学生」「主婦」ともに「3泊4日」が最も多く、「2泊3日」が次に多い傾向にある。

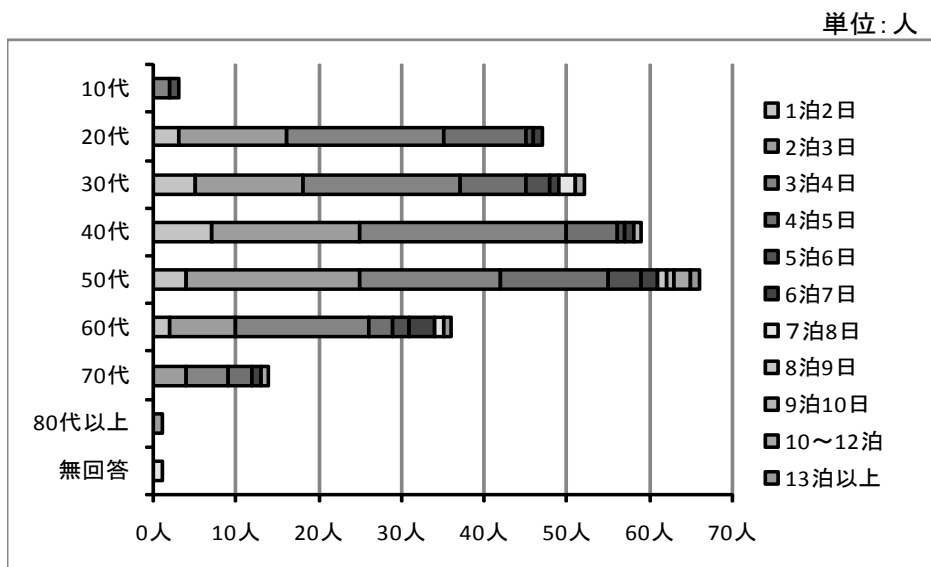
月別にみると、どの月でも「2泊3日」ないしは「3泊4日」が主流となっている。

過去5年間の旅行日数別回答者比率では、「3泊以内」の占める割合が、平成16～19年度の4年間に約41%～45%の水準から、平成20年度は73.7%に急増し、平成21年度もその水準を維持している。

図表Ⅲ－7－1 旅行日数の割合



図表Ⅲ－7－2 年代別旅行日数



図表Ⅲ－7－3 年代別旅行日数

単位：人(上段)、%(下段)										
区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
1泊2日	0	3	5	7	4	2	0	0	0	21
2泊3日	0	13	13	18	21	8	4	1	0	78
3泊4日	2	19	19	25	17	16	5	0	0	103
4泊5日	0	10	8	6	13	3	3	0	0	43
5泊6日	1	1	3	1	4	2	0	0	0	12
6泊7日	0	1	1	1	2	3	1	0	0	9
7泊8日	0	0	2	0	0	1	0	0	1	4
8泊9日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
9泊10日	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
10～12泊	0	0	1	0	2	0	1	0	0	4
13泊以上	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
1泊2日	0.0	6.4	9.6	11.9	6.1	5.6	0.0	0.0	0.0	7.5
2泊3日	0.0	27.7	25.0	30.5	31.8	22.2	28.6	100.0	0.0	27.9
3泊4日	66.7	40.4	36.5	42.4	25.8	44.4	35.7	0.0	0.0	36.8
4泊5日	0.0	21.3	15.4	10.2	19.7	8.3	21.4	0.0	0.0	15.4
5泊6日	33.3	2.1	5.8	1.7	6.1	5.6	0.0	0.0	0.0	4.3
6泊7日	0.0	2.1	1.9	1.7	3.0	8.3	7.1	0.0	0.0	3.2
7泊8日	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	50.0	1.4
8泊9日	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
9泊10日	0.0	0.0	0.0	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
10～12泊	0.0	0.0	1.9	0.0	3.0	0.0	7.1	0.0	0.0	1.4
13泊以上	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.8	0.0	0.0	0.0	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

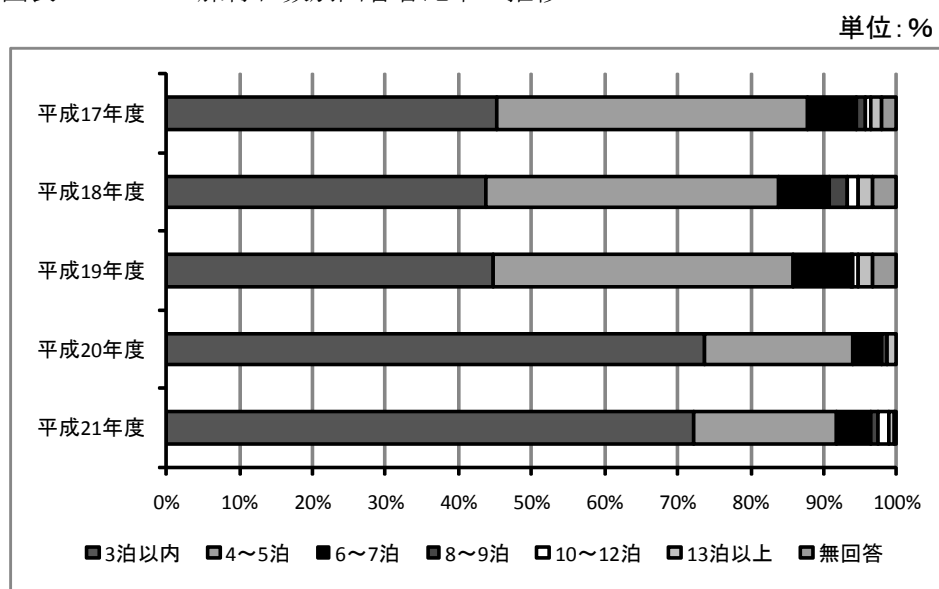
図表Ⅲ－7－4 職業別旅行日数

単位：人(上段)、%(下段)											
区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総 計
1泊2日	16	1	0	1	0	0	2	0	1	0	21
2泊3日	35	8	6	1	3	0	14	3	7	1	78
3泊4日	46	4	10	0	3	6	15	13	6	0	103
4泊5日	14	10	3	0	1	1	8	3	1	2	43
5泊6日	5	1	0	0	0	2	3	1	0	0	12
6泊7日	4	0	0	0	1	0	2	2	0	0	9
7泊8日	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
8泊9日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9泊10日	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
10～12泊	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
13泊以上	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	126	24	20	2	9	9	46	23	17	4	280
1泊2日	12.7	4.2	0.0	50.0	0.0	0.0	4.3	0.0	5.9	0.0	7.5
2泊3日	27.8	33.3	30.0	50.0	33.3	0.0	30.4	13.0	41.2	25.0	27.9
3泊4日	36.5	16.7	50.0	0.0	33.3	66.7	32.6	56.5	35.3	0.0	36.8
4泊5日	11.1	41.7	15.0	0.0	11.1	11.1	17.4	13.0	5.9	50.0	15.4
5泊6日	4.0	4.2	0.0	0.0	0.0	22.2	6.5	4.3	0.0	0.0	4.3
6泊7日	3.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	3.2
7泊8日	1.6	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.4
8泊9日	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
9泊10日	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.7
10～12泊	1.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.4
13泊以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－7－5 月別旅行日数

区 分	単位：人(上段)、%(下段)												無回答	総 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
1泊2日	0	1	1	1	2	1	2	1	1	7	4	0	0	21
2泊3日	6	2	2	15	9	5	2	0	0	21	10	6	0	78
3泊4日	2	3	2	24	8	2	3	4	2	42	8	3	0	103
4泊5日	1	1	0	4	4	1	1	1	2	22	4	2	0	43
5泊6日	1	1	0	0	0	0	3	1	1	4	0	1	0	12
6泊7日	1	2	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	9
7泊8日	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
8泊9日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9泊10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
10～12泊	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4
13泊以上	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	11	11	9	46	24	10	13	8	6	100	28	13	1	280
1泊2日	0.0	9.1	11.1	2.2	8.3	10.0	15.4	12.5	16.7	7.0	14.3	0.0	0.0	7.5
2泊3日	54.5	18.2	22.2	32.6	37.5	50.0	15.4	0.0	0.0	21.0	35.7	46.2	0.0	27.9
3泊4日	18.2	27.3	22.2	52.2	33.3	20.0	23.1	50.0	33.3	42.0	28.6	23.1	0.0	36.8
4泊5日	9.1	9.1	0.0	8.7	16.7	10.0	7.7	12.5	33.3	22.0	14.3	15.4	0.0	15.4
5泊6日	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	12.5	16.7	4.0	0.0	7.7	0.0	4.3
6泊7日	9.1	18.2	11.1	0.0	4.2	10.0	0.0	12.5	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	3.2
7泊8日	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.4
8泊9日	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
9泊10日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.6	0.0	0.0	0.7
10～12泊	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	3.6	7.7	0.0	1.4
13泊以上	0.0	9.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－7－6 旅行日数別回答者比率の推移



図表Ⅲ－7－7 旅行期間回答者比率の推移（過去5年間）

区 分	単位：%				
	平成17年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
3泊以内	45.2	43.9	44.8	73.7	72.1
4～5泊	42.7	40.0	40.8	20.3	19.6
6～7泊	6.7	6.9	8.1	4.0	4.6
8～9泊	1.2	2.4	0.2	0.8	1.1
10～12泊	0.8	1.5	0.7	0.0	1.4
13泊以上	1.4	2.2	2.1	1.3	0.7
無回答	2.1	3.2	3.2	0.0	0.4

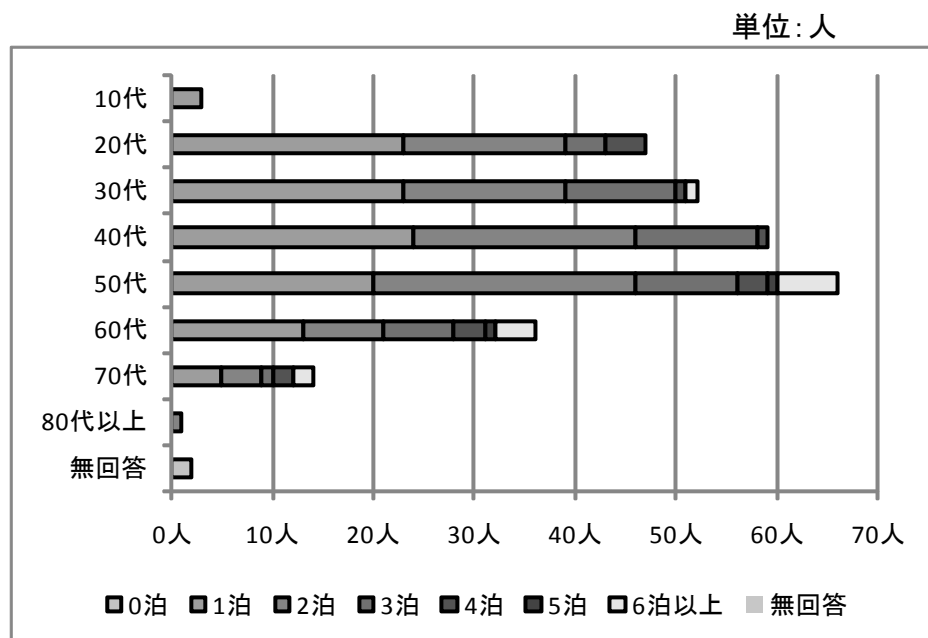
2) 那覇市宿泊日数

旅行期間中の那覇市宿泊日数は、「1泊」111名（39.6%）と最も多く、次いで「2泊」93名（33.2%）となっている。

年代別では、「80代」以外は、「1泊」が最も多い回答数となっている。また、「2泊」は、次いで多い回答数になっている。

職業別の宿泊日数は、「会社員」が「1泊」、「2泊」とともに回答数は最も多く、両日数とも、次いで「主婦」の順となっている。また「公務員」は、「2泊」が最も多い回答数になっている。

図表Ⅲ－7－8 年代別那覇市宿泊日数



図表Ⅲ－7－9 年代別那覇市宿泊日数

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
0泊	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
1泊	3	23	23	24	20	13	5	0	0	111
2泊	0	16	16	22	26	8	4	1	0	93
3泊	0	4	11	12	10	7	1	0	0	45
4泊	0	4	1	1	3	3	2	0	0	14
5泊	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
6泊以上	0	0	1	0	6	4	2	0	0	13
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答数	3	47	52	59	66	36	14	1	2	280
0泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.7
1泊	100.0	48.9	44.2	40.7	30.3	36.1	35.7	0.0	0.0	39.6
2泊	0.0	34.0	30.8	37.3	39.4	22.2	28.6	100.0	0.0	33.2
3泊	0.0	8.5	21.2	20.3	15.2	19.4	7.1	0.0	0.0	16.1
4泊	0.0	8.5	1.9	1.7	4.5	8.3	14.3	0.0	0.0	5.0
5泊	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.8	0.0	0.0	0.0	0.7
6泊以上	0.0	0.0	1.9	0.0	9.1	11.1	14.3	0.0	0.0	4.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－7－10 職業別那覇市宿泊日数

単位：人(上段)、%(下段)

区 分	会社員	公務員	自営業	農林漁業	自由業	学生	主婦	無職	その他	無回答	総 計
0泊	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
1泊	56	11	7	1	3	5	15	7	5	1	111
2泊	42	9	4	1	4	2	19	4	7	1	93
3泊	21	1	6	0	1	0	8	5	3	0	45
4泊	1	3	2	0	0	2	2	3	0	1	14
5泊	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
6泊以上	5	0	0	0	1	0	2	3	2	0	13
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答数	126	24	20	2	9	9	46	23	17	4	280
0泊	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.7
1泊	44.4	45.8	35.0	50.0	33.3	55.6	32.6	30.4	29.4	25.0	39.6
2泊	33.3	37.5	20.0	50.0	44.4	22.2	41.3	17.4	41.2	25.0	33.2
3泊	16.7	4.2	30.0	0.0	11.1	0.0	17.4	21.7	17.6	0.0	16.1
4泊	0.8	12.5	10.0	0.0	0.0	22.2	4.3	13.0	0.0	25.0	5.0
5泊	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.7
6泊以上	4.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	4.3	13.0	11.8	0.0	4.6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

8. 那覇市内における観光消費額

「那覇市内だけで支出した一人あたりの費用（パッケージに含まれる料金を除く）について、支出の費目は以下になっている。（一人あたりの平均消費額は、『図表Ⅱ－8 観光客の一人あたりの消費額内訳』参照）

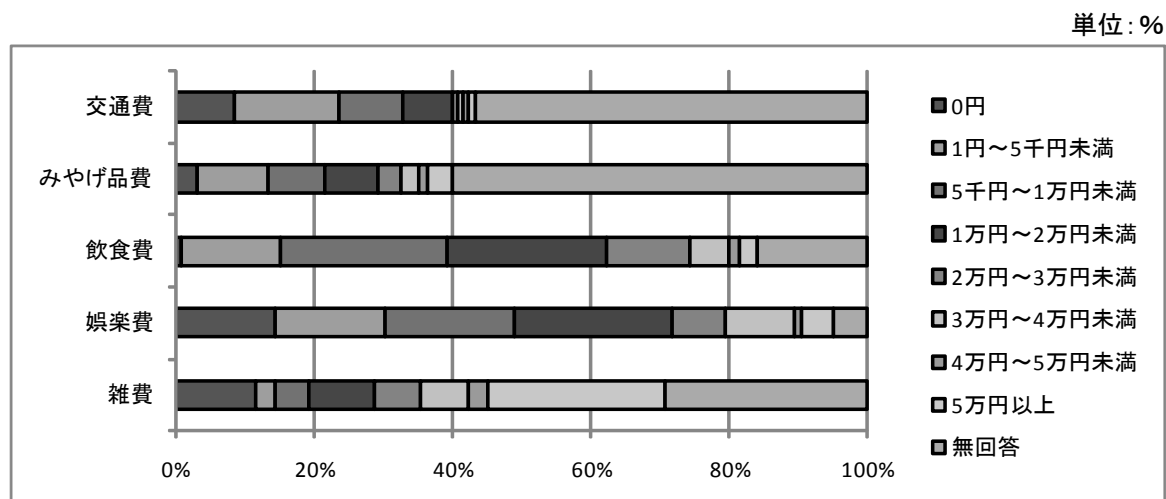
交通費は、「5千円未満」の回答者が15.0%と最も多く、次いで「5千円～1万円未満」9.3%、交通機関を利用しなかった「0円」8.6%となっている。また、「無回答」が多いのも目立つ。これは、県外からの来訪者にとって沖縄の地理は把握しにくく、「那覇市内だけで支出した」交通費を特定するのが困難であることも一因と考えられる。

みやげ品費は、「5千円未満」（10.0%）が最も多く、次いで「1万円～2万円未満」（9.3%）となっている。また、みやげ品を購入しなかった人「0円」もそれに次ぐ8.6%いる。

飲食費は、「5千円～1万円未満」の回答者が24.3%と最も多く、「1万円～2万円未満」（22.9%）がそれに次いでいる。消費項目の中で最も高い金額の回答となっている。外食をしなかった「0円」の回答者は、0.7%のみになっている。

娯楽費は、「1万円～2万円未満」が22.9%と最も多く、次いで「5千円～1万円未満」（18.6%）となっている。娯楽に支出しなかった「0円」の回答者も14.3%と多い。

図表Ⅲ－8－1 那覇市内における使途別観光消費額の構成比



図表Ⅲ－8－2 那覇市内における使途別観光消費額（全旅行期間）

単位：人(上段)単位：％(下段)

区分	0円	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円以上	無回答
交通費	24	42	26	20	2	2	2	3	159
みやげ品費	9	28	23	22	9	7	4	10	168
飲食費	2	40	68	64	34	16	4	7	45
娯楽費	40	45	52	64	21	28	3	13	14
雑費	32	8	14	26	19	19	8	72	82
交通費	8.6%	15.0%	9.3%	7.1%	0.7%	0.7%	0.7%	1.1%	56.8%
みやげ品費	3.2%	10.0%	8.2%	7.9%	3.2%	2.5%	1.4%	3.6%	60.0%
飲食費	0.7%	14.3%	24.3%	22.9%	12.1%	5.7%	1.4%	2.5%	16.1%
娯楽費	14.3%	16.1%	18.6%	22.9%	7.5%	10.0%	1.1%	4.6%	5.0%
雑費	11.4%	2.9%	5.0%	9.3%	6.8%	6.8%	2.9%	25.7%	29.3%

図表Ⅲ－８－３ 訪問回数別観光消費額（回答者数）

単位：人

区分	来県回数	0円	1円～5千 円未満	5千～1万 円未満	1万～2万 円未満	2万～3万 円未満	3万～4万 円未満	4万～5万 円未満	5万円以上	無回答	総計
交通費	初めて	11	23	9	0	2	0	0	0	28	73
	2回目	4	7	4	7	4	2	0	1	24	53
	3回目	1	5	2	3	0	0	0	0	11	22
	4回目	8	59	14	13	5	2	1	1	26	129
	無回答	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
	総計	24	94	29	24	12	4	1	2	90	280
みやげ品費	初めて	4	9	11	13	5	9	2	4	16	73
	2回目	0	5	8	17	4	5	1	2	11	53
	3回目	0	1	3	9	1	2	0	0	6	22
	4回目	5	30	29	25	10	9	0	7	14	129
	無回答	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
	総計	9	45	52	64	21	25	3	13	48	280
飲食費	初めて	2	11	19	12	8	5	1	0	15	73
	2回目	0	6	6	12	11	3	0	2	13	53
	3回目	0	0	8	7	1	0	1	0	5	22
	4回目	0	23	34	33	13	8	2	5	11	129
	無回答	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
	総計	2	40	68	64	34	16	4	7	45	280
娯楽費	初めて	12	8	6	1	1	0	1	0	44	73
	2回目	7	4	4	4	1	2	1	3	27	53
	3回目	3	0	4	1	2	0	0	0	12	22
	4回目	18	16	9	16	4	5	2	7	52	129
	無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
	総計	40	28	23	22	9	7	4	10	137	280

図表Ⅲ－８－４ 訪問回数別観光消費額（回答比率）

単位：％

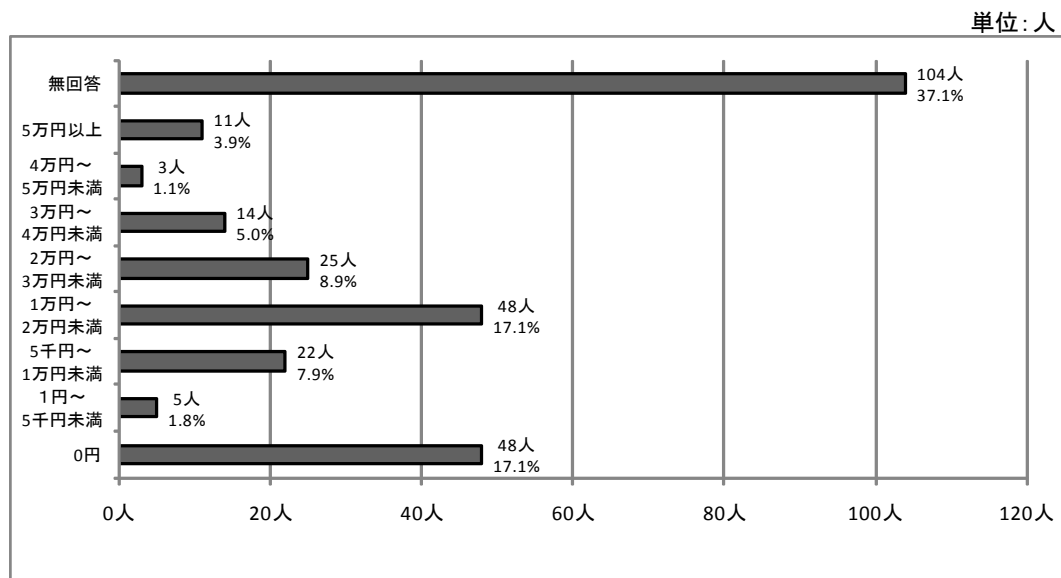
区分	来県回数	0円	1円～5千 円未満	5千～1万 円未満	1万～2万 円未満	2万～3万 円未満	3万～4万 円未満	4万～5万 円未満	5万円以上	無回答	総計
交通費	初めて	15.1	31.5	12.3	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	38.4	100.0
	2回目	7.5	13.2	7.5	13.2	7.5	3.8	0.0	1.9	45.3	100.0
	3回目	4.5	22.7	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
	4回目	6.2	45.7	10.9	10.1	3.9	1.6	0.8	0.8	20.2	100.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	総計	8.6	33.6	10.4	8.6	4.3	1.4	0.4	0.7	32.1	100.0
みやげ品費	初めて	5.5	12.3	15.1	17.8	6.8	12.3	2.7	5.5	21.9	100.0
	2回目	0.0	9.4	15.1	32.1	7.5	9.4	1.9	3.8	20.8	100.0
	3回目	0.0	4.5	13.6	40.9	4.5	9.1	0.0	0.0	27.3	100.0
	4回目	3.9	23.3	22.5	19.4	7.8	7.0	0.0	5.4	10.9	100.0
	無回答	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	総計	3.2	16.1	18.6	22.9	7.5	8.9	1.1	4.6	17.1	100.0
飲食費	初めて	2.7	15.1	26.0	16.4	11.0	6.8	1.4	0.0	20.5	100.0
	2回目	0.0	11.3	11.3	22.6	20.8	5.7	0.0	3.8	24.5	100.0
	3回目	0.0	0.0	36.4	31.8	4.5	0.0	4.5	0.0	22.7	100.0
	4回目	0.0	17.8	26.4	25.6	10.1	6.2	1.6	3.9	8.5	100.0
	無回答	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	総計	0.7	14.3	24.3	22.9	12.1	5.7	1.4	2.5	16.1	100.0
娯楽費	初めて	16.4	11.0	8.2	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	60.3	100.0
	2回目	13.2	7.5	7.5	7.5	1.9	3.8	1.9	5.7	50.9	100.0
	3回目	13.6	0.0	18.2	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	54.5	100.0
	4回目	14.0	12.4	7.0	12.4	3.1	3.9	1.6	5.4	40.3	100.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0
	総計	14.3	10.0	8.2	7.9	3.2	2.5	1.4	3.6	48.9	100.0

図表Ⅲ－８－５ 那覇市における１人当りの合計宿泊費別の人数

単位：人(上段)単位：％(下段)

区分	0円	1円～ 5千円未満	5千円～ 1万円未満	1万円～ 2万円未満	2万円～ 3万円未満	3万円～ 4万円未満	4万円～ 5万円未満	5万円以上	無回答
人数	48	5	22	48	25	14	3	11	104
構成比	17.1	1.8	7.9	17.1	8.9	5.0	1.1	3.9	37.1

図表Ⅲ－８－６ 那覇市における１人当りの合計宿泊費別の人数

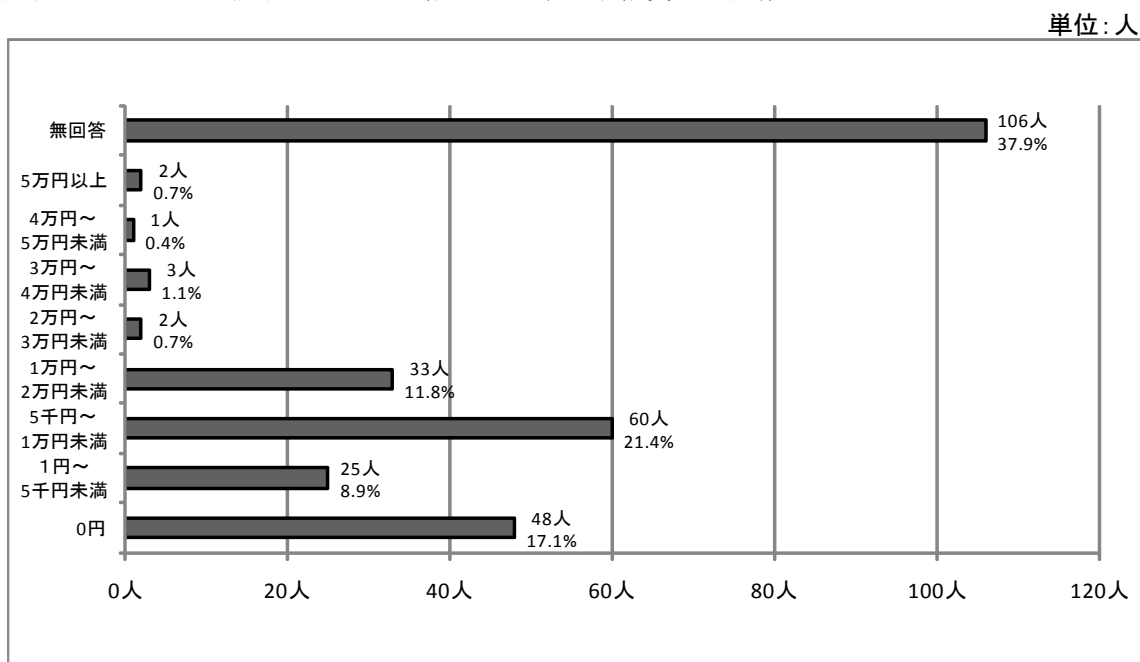


図表Ⅲ－８－７ 那覇市における１泊当りの平均宿泊費別の人数

単位：人(上段)単位：％(下段)

区分	0円	1円～ 5千円未満	5千円～ 1万円未満	1万円～ 2万円未満	2万円～ 3万円未満	3万円～ 4万円未満	4万円～ 5万円未満	5万円以上	無回答
人数	48	25	60	33	2	3	1	2	106
構成比	17.1	8.9	21.4	11.8	0.7	1.1	0.4	0.7	37.9

図表Ⅲ－８－８ 那覇市における１泊当りの平均宿泊費別の人数



9. 那覇市内での交通手段

旅行中の交通手段は、「レンタカー」が最も多く、32.2%となっており、次いで「モノレール」(24.4%)、「タクシー」(17.2%)の順となっている。年代別にみても、ほぼ同様の順位である。

さらに来訪回数別にみると、「4回目以上」の来訪者は「モノレール」や「路線バス」を乗りこなしていることがうかがえる。また、「貸切バス」は、来訪回数が少ない旅行者が利用する傾向にある。

図表Ⅲ－9－1 年代別交通手段（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)										
区 分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	総 計
路線バス	0	8	7	6	6	6	3	0	0	36
貸切バス	3	4	3	2	7	9	4	1	1	34
タクシー	1	8	12	22	21	13	2	0	0	79
レンタカー	0	34	35	27	31	15	6	0	0	148
モノレール	0	13	26	31	25	13	3	0	1	112
友人・知人の車	0	2	4	8	11	4	1	0	0	30
その他	1	0	4	3	5	4	1	0	0	18
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
回答数	5	70	91	99	106	64	20	1	3	459
路線バス	0.0	11.4	7.7	6.1	5.7	9.4	15.0	0.0	0.0	7.8
貸切バス	60.0	5.7	3.3	2.0	6.6	14.1	20.0	100.0	33.3	7.4
タクシー	20.0	11.4	13.2	22.2	19.8	20.3	10.0	0.0	0.0	17.2
レンタカー	0.0	48.6	38.5	27.3	29.2	23.4	30.0	0.0	0.0	32.2
モノレール	0.0	18.6	28.6	31.3	23.6	20.3	15.0	0.0	33.3	24.4
友人・知人の車	0.0	2.9	4.4	8.1	10.4	6.3	5.0	0.0	0.0	6.5
その他	20.0	0.0	4.4	3.0	4.7	6.3	5.0	0.0	0.0	3.9
無回答	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表Ⅲ－9－2 来訪回数別交通手段（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)						
区 分	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総 計
路線バス	5	6	3	22	0	36
貸切バス	16	13	0	5	0	34
タクシー	15	13	4	43	4	79
レンタカー	44	31	14	57	2	148
モノレール	19	17	8	61	7	112
友人・知人の車	2	3	1	24	0	30
その他	3	2	1	12	0	18
無回答	0	1	0	0	1	2
回答数	104	86	31	224	14	459
路線バス	4.8	7.0	9.7	9.8	0.0	7.8
貸切バス	15.4	15.1	0.0	2.2	0.0	7.4
タクシー	14.4	15.1	12.9	19.2	28.6	17.2
レンタカー	42.3	36.0	45.2	25.4	14.3	32.2
モノレール	18.3	19.8	25.8	27.2	50.0	24.4
友人・知人の車	1.9	3.5	3.2	10.7	0.0	6.5
その他	2.9	2.3	3.2	5.4	0.0	3.9
無回答	0.0	1.2	0.0	0.0	7.1	0.4
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

10. 旅行コース

1) 宿泊ルート

回答者の宿泊ルートは、宿泊された地区の設問から集計をしている。また設問の地区は、那覇市内、那覇市以外の沖縄本島、本島周辺離島（慶良間、久米、その他）、離島（宮古、八重山）である。

宿泊ルートの回答数は、「那覇市内のみ宿泊」が52.5%と最も多く、次いで「本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊」（20.7%）、「那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊」（10%）となっている。これは那覇市を沖縄旅行の初日あるいは最終日の宿泊地を選ぶパターンが多いということである。交通拠点である空港と港湾を抱える那覇市ならではの特徴であろう。

旅行期間別の宿泊ルートでみると、「那覇市のみ宿泊」の割合は、「1泊2日」（14.6%）、「2泊3日」（37.5%）、「3泊4日」（30.6%）となっており、「2泊3日」が最も多い。

図表Ⅲ－10－1 宿泊ルート

区 分	単位：人、%	
	回答数	構成比
那覇のみ宿泊	147	52.5
本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	58	20.7
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊	28	10.0
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	11	3.9
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	5	1.8
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	5	1.8
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	6	2.1
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	2	0.7
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	6	2.1
その他	8	2.9
無回答	4	1.4
総 計	280	100.0

図表Ⅲ－10－2 旅行期間別宿泊ルート

区 分	単位：人（上段）、%（下段）									
	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4～5泊	6～7泊	8～9泊	10～12泊	13泊以上	無回答	総 計
那覇のみ宿泊	21	54	44	17	0	2	4	2	0	144
本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	0	11	30	16	2	0	0	0	0	59
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊	0	11	8	3	0	0	0	0	0	22
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	0	0	6	5	1	0	0	0	0	12
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	0	0	1	4	0	0	0	0	0	5
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	0	0	5	0	1	0	0	0	0	6
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	0	0	1	3	1	1	0	0	0	6
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0	0	2	3	0	0	0	0	0	5
その他	0	0	1	5	2	0	0	0	0	8
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11
回答数	21	76	100	56	7	3	4	2	11	280
那覇のみ宿泊	14.6	37.5	30.6	11.8	0.0	1.4	2.8	1.4	0.0	100.0
本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	0.0	18.6	50.8	27.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊	0.0	50.0	36.4	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
那覇宿泊→本島内（那覇以外）宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
宮古・八重山宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
那覇宿泊→宮古・八重山宿泊	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
那覇宿泊→本島周辺離島宿泊→那覇宿泊	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	0.0	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
回答割合	7.5	27.1	35.7	20.0	2.5	1.1	1.4	0.7	3.9	100.0

※回答割合=回答数／総計（280）

2) 観光ルート

滞在中に訪れた観光地は、那覇市内では「国際通り周辺」が 29.3%と最も多く、次いで「首里城」(17.9%)となっている。また地区別については、「北部観光」が 31.6%、「中部観光」が 30.1%、「南部観光」も 26.7%と、那覇市を中心にほぼまんべんなく観光している実態がうかがえる。

男女別、年代別にみても、那覇市内の観光地、地区別ともほぼ同様の傾向が見られる。

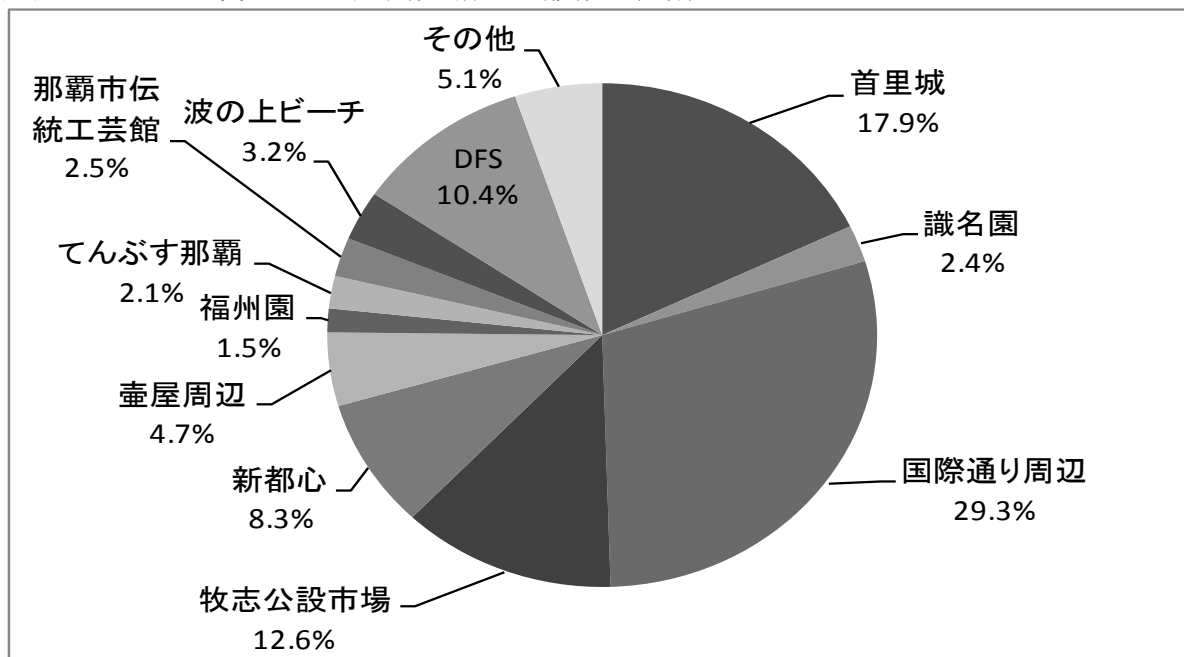
来訪回数別にみると、「初めて」の来訪者は、「国際通り周辺」、「首里城」といった所謂「入門コース」を訪れているようだが、「4 回目以上」になると、「国際通り周辺」のほかに「牧志公設市場」、「壺屋周辺」、「新都心」など、大通りから一步踏み込んだスポットを楽しみつつ、行動範囲を広げているのがうかがえる。

時間帯別では、「国際通り周辺」は「夕方以降」が最も多く、「首里城」は「午前」が最も多くなっている。午前中に「国際通り」に人が集まらないのは、商店の開店時間が本土に比べて遅めなのも一因と考えられる。

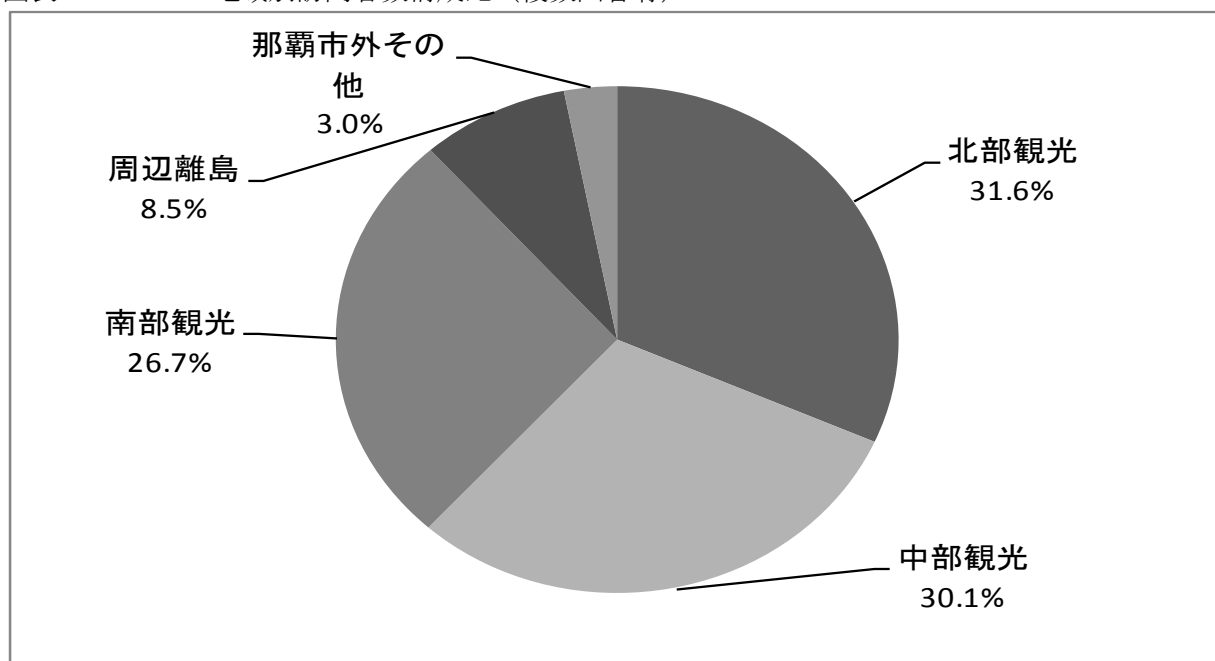
図表Ⅲ－10－3 観光コース回答者数（複数回答有）

那 覇 市 内													単位：人
観光地	首里城	識名園	国際通り 周辺	牧志公設 市場	新都心	壺屋 周辺	福州園	てんぶす 那覇	那覇市 伝統 工芸館	波の上 ビーチ	DFS	その他	総 計
回答数	129	17	211	91	60	34	11	15	18	23	75	37	721
那 覇 市 外													単位：人
地域	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	那覇市外	総 計							
回答数	104	99	88	28	10	329							

図表Ⅲ－10－4 観光地別訪問者数構成比（複数回答有）



図表Ⅲ－10－5 地域別訪問者数構成比（複数回答有）



図表Ⅲ－10－6 男女別観光地訪問者数（複数回答有）

単位：人

観光地	首里城	識名園	国際通り 周辺	牧志公設 市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす 那覇	那覇市 伝統 工芸館	波の上 ビーチ	DFS	その他	計
男	63	9	108	47	38	22	8	10	12	13	38	23	391
女	66	8	103	44	22	12	3	5	6	10	37	14	330
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答数	129	17	211	91	60	34	11	15	18	23	75	37	721
男	16.1	2.3	27.6	12.0	9.7	5.6	2.0	2.6	3.1	3.3	9.7	5.9	100.0
女	20.0	2.4	31.2	13.3	6.7	3.6	0.9	1.5	1.8	3.0	11.2	4.2	100.0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
回答比率	17.9	2.4	29.3	12.6	8.3	4.7	1.5	2.1	2.5	3.2	10.4	5.1	100.0

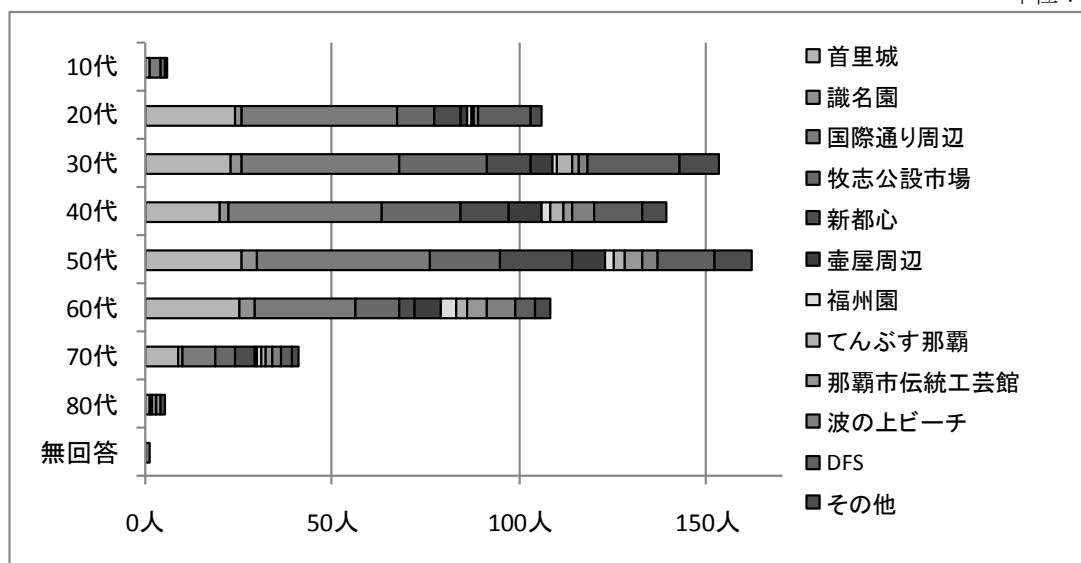
図表Ⅲ－10－7 男女別地域訪問者数（複数回答有）

単位：人

地域	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	那覇市外 その他	総 計
男	48	47	39	13	6	153
女	56	52	49	15	4	176
無回答	0	0	0	0	0	0
回答数	104	99	88	28	10	329

図表Ⅲ－10－8 年代別観光地訪問者数構成比（複数回答有）

単位：人



図表Ⅲ－10－9 年代別観光地訪問者数（複数回答有）

単位：人

観光地	首里城	識名園	国際通り 周辺	牧志公設 市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす 那覇	那覇市 伝統 工芸館	波の上 ビーチ	DFS	その他	総 計
10代	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6
20代	24	2	41	10	7	2	1	0	1	1	14	3	106
30代	23	3	42	23	12	6	1	4	2	2	25	10	153
40代	20	2	41	21	13	9	2	4	2	6	13	6	139
50代	26	4	46	19	19	9	2	3	5	4	15	10	162
60代	25	4	27	12	4	7	4	3	5	8	5	4	108
70代	9	1	9	5	5	1	1	1	2	2	3	2	41
80代	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
回答数	129	17	211	91	60	34	11	15	18	23	75	37	721
10代	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	100.0
20代	22.6	1.9	38.7	9.4	6.6	1.9	0.9	0.0	0.9	0.9	13.2	2.8	100.0
30代	15.0	2.0	27.5	15.0	7.8	3.9	0.7	2.6	1.3	1.3	16.3	6.5	100.0
40代	14.4	1.4	29.5	15.1	9.4	6.5	1.4	2.9	1.4	4.3	9.4	4.3	100.0
50代	16.0	2.5	28.4	11.7	11.7	5.6	1.2	1.9	3.1	2.5	9.3	6.2	100.0
60代	23.1	3.7	25.0	11.1	3.7	6.5	3.7	2.8	4.6	7.4	4.6	3.7	100.0
70代	22.0	2.4	22.0	12.2	12.2	2.4	2.4	2.4	4.9	4.9	7.3	4.9	100.0
80代	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	100.0
無回答	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
回答比率	17.9	2.4	29.3	12.6	8.3	4.7	1.5	2.1	2.5	3.2	10.4	5.1	100.0

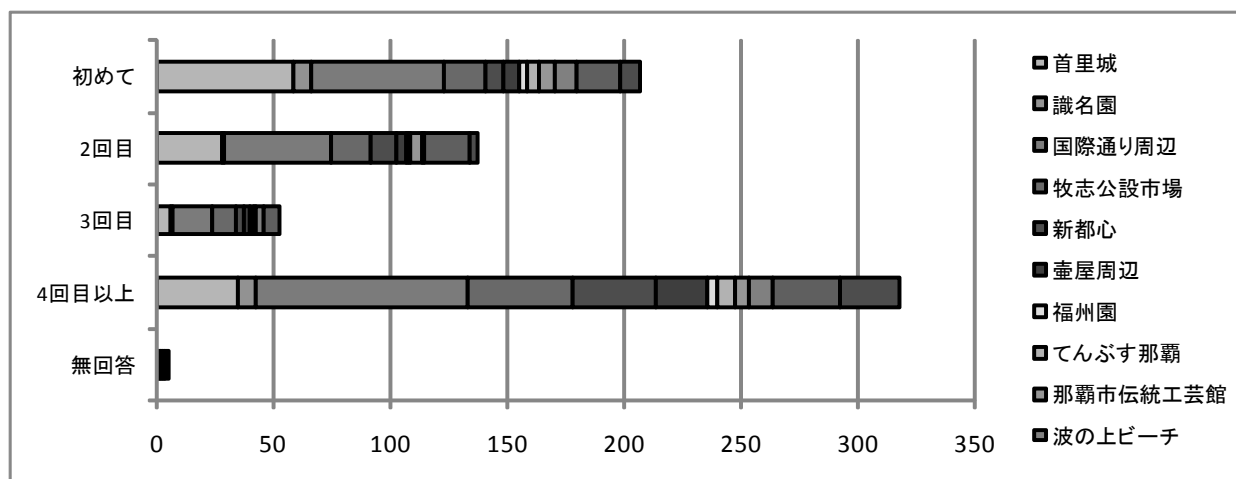
図表Ⅲ－10－10 年代別地域訪問者数（複数回答有）

単位：人

地域	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	那覇市外 その他	総 計
10代	0	0	0	0	0	0
20代	24	21	18	2	2	67
30代	25	25	19	8	1	78
40代	17	16	13	3	3	52
50代	18	22	18	11	3	72
60代	12	12	14	3	1	42
70代	7	3	5	1	0	16
80代	1	0	1	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0
総 計	104	99	88	28	10	329

図表Ⅲ－10－11 来訪回数別観光地訪問者数構成比（複数回答有）

単位：人



図表Ⅲ－10－12 来訪回数別観光地訪問者数（複数回答有）

単位：人

観光地	首里城	識名園	国際通り 周辺	牧志公設 市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす 那覇	那覇市 伝統 工芸館	波の上 ビーチ	DFS	その他	総 計
初めて	59	7	57	18	8	6	4	5	7	9	19	8	207
2回目	28	1	46	17	11	4	1	1	5	1	19	4	138
3回目	6	1	17	10	4	2	2	1	0	3	7	0	53
4回目以上	35	8	90	45	36	22	4	8	6	10	29	25	318
無回答	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	5
回答数	129	17	211	91	60	34	11	15	18	23	75	37	721
初めて	28.5	3.4	27.5	8.7	3.9	2.9	1.9	2.4	3.4	4.3	9.2	3.9	100.0
2回目	20.3	0.7	33.3	12.3	8.0	2.9	0.7	0.7	3.6	0.7	13.8	2.9	100.0
3回目	11.3	1.9	32.1	18.9	7.5	3.8	3.8	1.9	0.0	5.7	13.2	0.0	100.0
4回目以上	11.0	2.5	28.3	14.2	11.3	6.9	1.3	2.5	1.9	3.1	9.1	7.9	100.0
無回答	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
回答比率	17.9	2.4	29.3	12.6	8.3	4.7	1.5	2.1	2.5	3.2	10.4	5.1	100.0

図表Ⅲ－10－13 来訪回数別地域訪問者数（複数回答有）

単位：人

地域	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	那覇市外 その他	総 計
初めて	27	26	26	2	0	81
2回目	33	26	27	6	2	94
3回目	7	5	5	1	2	20
4回目以上	36	41	29	19	6	131
無回答	1	1	1	0	0	3
総 計	104	99	88	28	10	329

図表Ⅲ-10-14 月別観光地訪問者数（複数回答有）

単位：人

観光地	首里城	識名園	国際通り 周辺	牧志公設 市場	新都心	壺屋周辺	福州園	てんぶす 那覇	那覇市 伝統 工芸館	波の上 ビーチ	DFS	その他	計
1月	5	0	10	4	2	1	0	0	0	1	2	0	25
2月	3	1	8	3	3	2	2	1	2	2	2	2	31
3月	6	3	6	3	5	2	1	2	1	1	5	2	37
4月	29	1	34	17	13	3	3	3	4	4	12	6	129
5月	12	4	19	8	5	4	2	1	2	3	5	4	69
6月	5	1	6	2	4	3	0	1	0	1	2	2	27
7月	2	0	9	3	2	2	1	1	0	1	3	1	25
8月	4	2	8	7	1	2	2	2	2	3	3	1	37
9月	2	0	5	3	0	1	0	0	0	0	4	1	16
10月	45	5	77	25	14	10	0	2	4	5	28	12	227
11月	12	0	21	9	7	2	0	0	2	1	5	5	64
12月	4	0	8	7	4	2	0	2	1	1	4	1	34
回答数	129	17	211	91	60	34	11	15	18	23	75	37	721
1月	20.0	0.0	40.0	16.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	0.0	100.0
2月	9.7	3.2	25.8	9.7	9.7	6.5	6.5	3.2	6.5	6.5	6.5	6.5	100.0
3月	16.2	8.1	16.2	8.1	13.5	5.4	2.7	5.4	2.7	2.7	13.5	5.4	100.0
4月	22.5	0.8	26.4	13.2	10.1	2.3	2.3	2.3	3.1	3.1	9.3	4.7	100.0
5月	17.4	5.8	27.5	11.6	7.2	5.8	2.9	1.4	2.9	4.3	7.2	5.8	100.0
6月	18.5	3.7	22.2	7.4	14.8	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7	7.4	7.4	100.0
7月	8.0	0.0	36.0	12.0	8.0	8.0	4.0	4.0	0.0	4.0	12.0	4.0	100.0
8月	10.8	5.4	21.6	18.9	2.7	5.4	5.4	5.4	5.4	8.1	8.1	2.7	100.0
9月	12.5	0.0	31.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	6.3	100.0
10月	19.8	2.2	33.9	11.0	6.2	4.4	0.0	0.9	1.8	2.2	12.3	5.3	100.0
11月	18.8	0.0	32.8	14.1	10.9	3.1	0.0	0.0	3.1	1.6	7.8	7.8	100.0
12月	11.8	0.0	23.5	20.6	11.8	5.9	0.0	5.9	2.9	2.9	11.8	2.9	100.0
回答比率	17.9	2.4	29.3	12.6	8.3	4.7	1.5	2.1	2.5	3.2	10.4	5.1	100.0

図表Ⅲ-10-15 月別地域訪問者数（複数回答有）

単位：人

地域	北部観光	中部観光	南部観光	周辺離島	那覇市外 その他	総 計
1月	4	7	4	0	1	16
2月	3	2	3	0	0	8
3月	4	3	2	1	1	11
4月	24	21	21	5	2	73
5月	10	8	8	2	2	30
6月	4	2	4	1	2	13
7月	1	4	2	3	0	10
8月	3	2	2	3	0	10
9月	2	2	2	1	0	7
10月	40	37	31	8	1	117
11月	7	6	7	2	1	23
12月	2	5	2	2	0	11
総 計	104	99	88	28	10	329

図表Ⅲ-10-16 時間帯別観光地訪問者数（複数回答有）

単位：人

観光地	午前	午後	夕方以降	終日	午前・午後	午前・夕方以降	午後・夕方以降	無回答	総計
首里城	54	45	14	0	5	0	0	11	129
識名園	7	7	0	0	0	0	0	3	17
国際通り周辺	16	44	83	19	2	5	14	28	211
牧志公設市場	7	28	24	4	5	1	5	17	91
新都心	8	23	12	6	1	0	0	10	60
壺屋周辺	7	17	1	0	1	0	1	7	34
福州園	3	3	0	0	0	0	0	5	11
てんぶす那覇	2	3	3	2	0	0	0	5	15
那覇市伝統工芸館	4	6	0	2	0	0	0	6	18
波の上ビーチ	9	5	0	0	1	0	0	8	23
DFS	15	29	18	1	2	0	1	9	75
その他	6	13	4	2	5	0	1	6	37
回答数	138	223	159	36	22	6	22	115	721
首里城	39.1	20.2	8.8	0.0	22.7	0.0	0.0	9.6	17.9
識名園	5.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.4
国際通り周辺	11.6	19.7	52.2	52.8	9.1	83.3	63.6	24.3	29.3
牧志公設市場	5.1	12.6	15.1	11.1	22.7	16.7	22.7	14.8	12.6
新都心	5.8	10.3	7.5	16.7	4.5	0.0	0.0	8.7	8.3
壺屋周辺	5.1	7.6	0.6	0.0	4.5	0.0	4.5	6.1	4.7
福州園	2.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	1.5
てんぶす那覇	1.4	1.3	1.9	5.6	0.0	0.0	0.0	4.3	2.1
那覇市伝統工芸館	2.9	2.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.2	2.5
波の上ビーチ	6.5	2.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	7.0	3.2
DFS	10.9	13.0	11.3	2.8	9.1	0.0	4.5	7.8	10.4
その他	4.3	5.8	2.5	5.6	22.7	0.0	4.5	5.2	5.1
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

11. みやげ品購入状況

那覇市内で購入したみやげ品は、「お菓子類」が26.4%と最も多くなっており、「食品」(19.2%)がそれに次いでいる。本年度は、昨年度第5位の「かりゆしウエア・Tシャツ」と昨年度第4位の「琉球ガラス製品」の順位が逆転した。

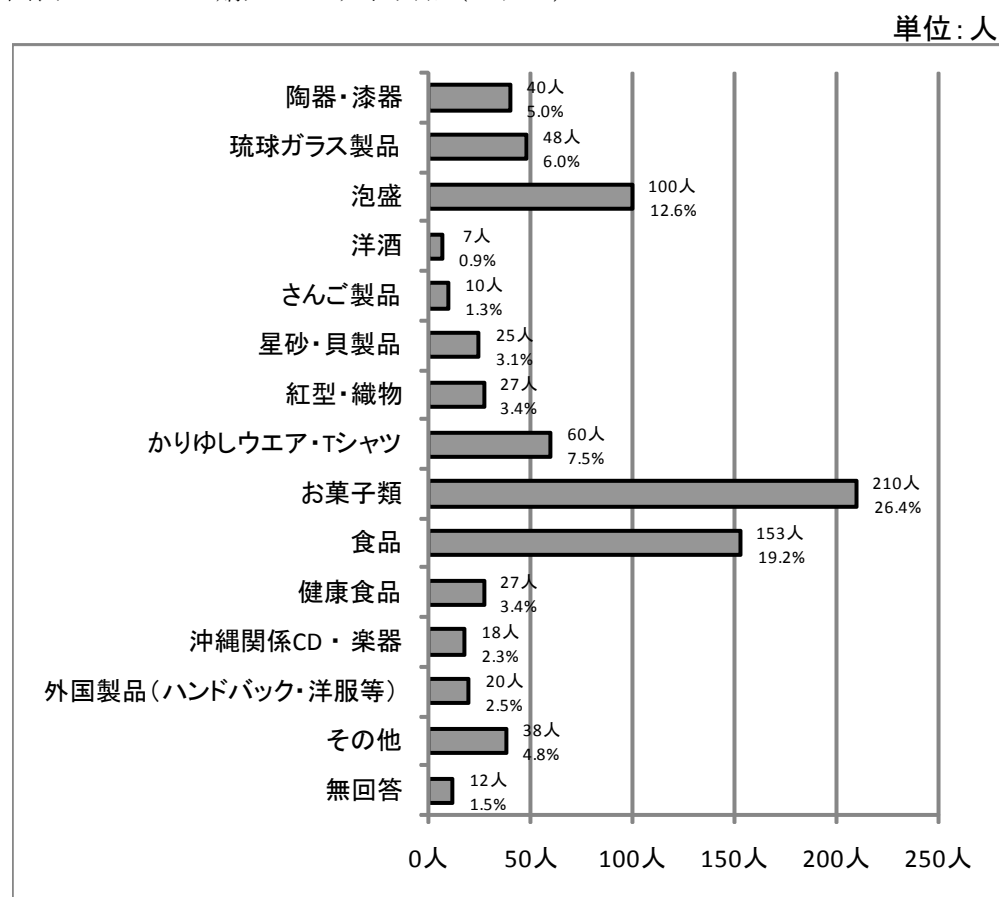
各年代別、男女別、来訪回数別にみても、この傾向はほとんど変わらない。

購入場所は、「国際通り周辺」が39.3%と最も多く、次いで「空港」(27.8%)となっている。

図表Ⅲ－11－1 購入したみやげ品上位5位

区 分	みやげ品	人 数
第1位	お菓子類	210
第2位	食品	153
第3位	泡盛	100
第4位	かりゆしウエア・Tシャツ	60
第5位	琉球ガラス製品	48

図表Ⅲ－11－2 購入したみやげ品（グラフ）



図表Ⅲ－11－3 年代別みやげ品購入状況（複数回答有）

区 分	単位：人（上段）、％（下段）															
	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	さんご製品	星砂・貝製品	紅型・織物	かりゆしウェア・Ｔシャツ	お菓子類	食品	健康食品	沖縄関係ＣＤ・楽器	（外国製品 ハンドバック・洋服等）	その他	無回答	総計
10代	0	1	1	1	0	1	1	1	2	1	0	0	0	1	0	10
20代	4	11	22	2	1	4	1	12	39	25	3	0	2	2	2	130
30代	7	7	16	2	3	7	5	10	45	31	3	4	4	6	1	151
40代	9	12	16	1	3	6	7	3	40	29	8	5	5	12	2	158
50代	13	9	24	1	1	4	6	19	46	40	3	5	7	8	4	190
60代	3	3	14	0	1	0	5	10	29	18	7	4	2	7	2	105
70代	4	4	7	0	0	3	2	5	8	8	2	0	0	2	0	45
80代以上	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
回答数	40	48	100	7	10	25	27	60	210	153	27	18	20	38	12	795
10代	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	100.0
20代	3.1	8.5	16.9	1.5	0.8	3.1	0.8	9.2	30.0	19.2	2.3	0.0	1.5	1.5	1.5	100.0
30代	4.6	4.6	10.6	1.3	2.0	4.6	3.3	6.6	29.8	20.5	2.0	2.6	2.6	4.0	0.7	100.0
40代	5.7	7.6	10.1	0.6	1.9	3.8	4.4	1.9	25.3	18.4	5.1	3.2	3.2	7.6	1.3	100.0
50代	6.8	4.7	12.6	0.5	0.5	2.1	3.2	10.0	24.2	21.1	1.6	2.6	3.7	4.2	2.1	100.0
60代	2.9	2.9	13.3	0.0	1.0	0.0	4.8	9.5	27.6	17.1	6.7	3.8	1.9	6.7	1.9	100.0
70代	8.9	8.9	15.6	0.0	0.0	6.7	4.4	11.1	17.8	17.8	4.4	0.0	0.0	4.4	0.0	100.0
80代以上	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
回答比率	5.0	6.0	12.6	0.9	1.3	3.1	3.4	7.5	26.4	19.2	3.4	2.3	2.5	4.8	1.5	100.0

図表Ⅲ－11－4 男女別みやげ品購入状況（複数回答有）

区分	単位：人（上段）、％（下段）															
	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	さんご製品	星砂・貝製品	紅型・織物	かりゆしウェア・Ｔシャツ	お菓子類	食品	健康食品	沖縄関係ＣＤ・楽器	（外国製品 ハンドバック・洋服等）	その他	無回答	総計
男	18	17	52	3	1	4	9	24	102	71	12	10	9	22	9	363
女	22	31	48	4	9	21	18	36	108	82	15	8	11	16	2	431
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	40	48	100	7	10	25	27	60	210	153	27	18	20	38	12	795
男	5.0	4.7	14.3	0.8	0.3	1.1	2.5	6.6	28.1	19.6	3.3	2.8	2.5	6.1	2.5	100.0
女	5.1	7.2	11.1	0.9	2.1	4.9	4.2	8.4	25.1	19.0	3.5	1.9	2.6	3.7	0.5	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
回答比率	5.0	6.0	12.6	0.9	1.3	3.1	3.4	7.5	26.4	19.2	3.4	2.3	2.5	4.8	1.5	100.0

図表Ⅲ－11－5 来訪回数別みやげ品購入状況（複数回答有）

単位：人(上段)、%(下段)																
区 分	陶器・漆器	琉球ガラス製品	泡盛	洋酒	さんご製品	星砂・貝製品	紅型・織物	かりゆしウエア・Ｔシャツ	お菓子類	食品	健康食品	沖縄関係ＣＤ・楽器	（外国製品 ハンドバック・洋服等）	その他	無回答	総計
初めて	13	18	30	2	4	8	5	15	56	41	7	1	3	5	3	211
2回目	7	12	18	1	2	5	6	11	47	29	2	4	7	6	0	157
3回目	3	5	9	1	1	1	2	9	13	15	3	4	1	3	1	71
4回目以上	17	13	42	3	3	10	14	24	92	67	15	9	9	24	7	349
無回答	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	1	7
回答数	40	48	100	7	10	25	27	60	210	153	27	18	20	38	12	795
初めて	6.2	8.5	14.2	0.9	1.9	3.8	2.4	7.1	26.5	19.4	3.3	0.5	1.4	2.4	1.4	100.0
2回目	4.5	7.6	11.5	0.6	1.3	3.2	3.8	7.0	29.9	18.5	1.3	2.5	4.5	3.8	0.0	100.0
3回目	4.2	7.0	12.7	1.4	1.4	1.4	2.8	12.7	18.3	21.1	4.2	5.6	1.4	4.2	1.4	100.0
4回目以上	4.9	3.7	12.0	0.9	0.9	2.9	4.0	6.9	26.4	19.2	4.3	2.6	2.6	6.9	2.0	100.0
無回答	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	100.0
回答比率	5.0	6.0	12.6	0.9	1.3	3.1	3.4	7.5	26.4	19.2	3.4	2.3	2.5	4.8	1.5	100.0

図表Ⅲ－11－6 みやげ品購入場所（複数回答有）

区 分	回答数	構成比
市内ホテル	37	7.9
国際通り周辺	184	39.3
新都心	33	7.1
空港	130	27.8
その他	70	15.0
無回答	14	3.0
総 計	468	100.0

図表Ⅲ－11－7 来訪回数別みやげ品購入場所（複数回答有）

区 分	単位：人(上段)、%(下段)					
	初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答	総 計
市内ホテル	16	7	4	10	0	37
国際通り周辺	50	36	14	83	1	184
新都心	7	5	1	20	0	33
空港	28	31	13	57	1	130
その他	14	13	5	36	2	70
無回答	3	0	1	9	1	14
回答数	118	92	38	215	5	468
市内ホテル	13.6	7.6	10.5	4.7	0.0	7.9
国際通り周辺	42.4	39.1	36.8	38.6	20.0	39.3
新都心	5.9	5.4	2.6	9.3	0.0	7.1
空港	23.7	33.7	34.2	26.5	20.0	27.8
その他	11.9	14.1	13.2	16.7	40.0	15.0
無回答	2.5	0.0	2.6	4.2	20.0	3.0
回答比率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

12. 那覇市内に欲しい施設

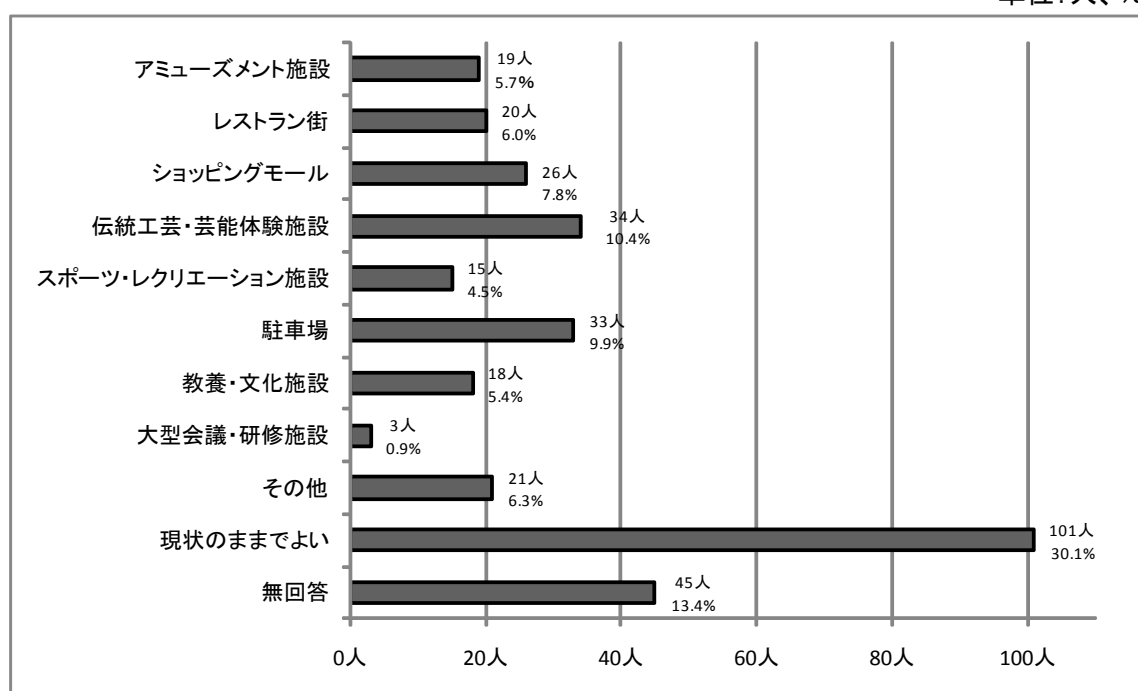
那覇市内に欲しい施設の設問では、「現状のままでよい」が30.1%と最も多い回答数になっている。次いで「伝統工芸・芸能体験施設」(10.1%)、「駐車場」(9.9%)となっており、前回の調査と同様の順位となっている。

年代別にみると、「20代」以上の年代では「現状のままでよい」が最も多くなっている一方、若年層は「アミューズメント施設」や「ショッピングモール」などの都市型エンタテインメント施設を欲しているようだ。また、高年齢層を中心に「伝統工芸・伝統芸能」をしないで気軽に楽しみたいという欲求がうかがえる。

男女別にみると、男性、女性ともに「現状のままでよい」が最も多いが、それ以外の項目では、男性は「駐車場」、女性は「伝統工芸・芸能体験施設」、「ショッピングモール」の順となっている。

図表Ⅲ－12－1 那覇市内に欲しい施設（グラフ）

単位：人、%



図表Ⅲ－12－2 年代別那覇市内に欲しい施設（複数回答有）

区 分	単位：人（上段）、％（下段）											
	アミューズメント施設	レストラン街	ショッピングモール	伝統工芸・芸能体験施設	スポーツ・レクリエーション施設	駐車場	教養・文化施設	大型会議・研修施設	その他	現状のままでよい	無回答	総計
10代	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	6
20代	7	3	8	6	2	8	1	0	2	16	7	60
30代	5	4	6	7	2	8	4	0	3	24	3	66
40代	2	2	5	5	3	5	6	1	7	27	4	67
50代	4	7	5	9	6	9	4	2	6	20	14	86
60代	0	2	1	5	0	2	3	0	2	9	10	34
70代	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4	6	14
80代以上	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	19	20	26	34	15	33	18	3	21	101	45	335
10代	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	100.0
20代	11.7	5.0	13.3	10.0	3.3	13.3	1.7	0.0	3.3	26.7	11.7	100.0
30代	7.6	6.1	9.1	10.6	3.0	12.1	6.1	0.0	4.5	36.4	4.5	100.0
40代	3.0	3.0	7.5	7.5	4.5	7.5	9.0	1.5	10.4	40.3	6.0	100.0
50代	4.7	8.1	5.8	10.5	7.0	10.5	4.7	2.3	7.0	23.3	16.3	100.0
60代	0.0	5.9	2.9	14.7	0.0	5.9	8.8	0.0	5.9	26.5	29.4	100.0
70代	0.0	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9	100.0
80代以上	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
回答比率	5.7	6.0	7.8	10.1	4.5	9.9	5.4	0.9	6.3	30.1	13.4	100.0

図表Ⅲ－12－3 男女別那覇市内に欲しい施設（複数回答有）

区 分	単位：人（上段）、％（下段）											
	アミューズメント施設	レストラン街	ショッピングモール	伝統工芸・芸能体験施設	スポーツ・レクリエーション施設	駐車場	教養・文化施設	大型会議・研修施設	その他	現状のままでよい	無回答	総数
男	8	11	6	13	10	21	11	2	13	59	20	174
女	11	9	20	21	5	12	7	1	8	42	24	160
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
回答数	19	20	26	34	15	33	18	3	21	101	45	335
男	4.6	6.3	3.4	7.5	5.7	12.1	6.3	1.1	7.5	33.9	11.5	100.0
女	6.9	5.6	12.5	13.1	3.1	7.5	4.4	0.6	5.0	26.3	15.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
回答比率	5.7	6.0	7.8	10.1	4.5	9.9	5.4	0.9	6.3	30.1	13.4	100.0

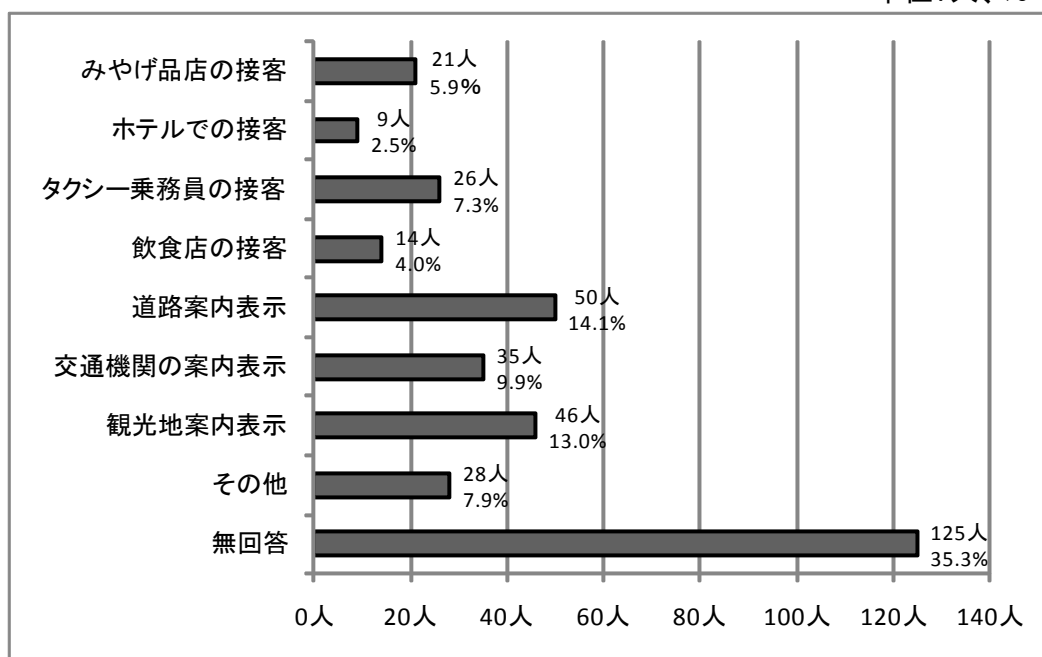
13. サービス面における問題点や改善して欲しい点

全体的な集計結果では、「道路案内表示」(14.1%)が最も多く、次いで「観光地案内表示」(13.0%)、「交通機関の案内表示」(9.9%)の順となっている。「無回答」が全体の4割弱を占めているが、この設問には「特になし」という選択肢がないため、問題点や改善点は特にないと考えている回答者の多くはここに含まれていると考えられる。

来訪回数別にみても、どのグループでも「道路案内表示」の改善を指摘する声が多く、次いで「観光地案内表示」への不満も多く寄せられている。その他の項目で、「初めて」の来訪者と複数回来訪者との間に微妙な差が見られ、来訪を重ねるにつれて、来訪者の行動形態や着目点に変化が生まれることをうかがわせる。「4回目以上」の来訪者が、いまだに「タクシー乗務員の接客」や「みやげ品店の接客」に不満を感じている点には注目すべきである。

図表Ⅲ－13－1 サービス面における問題点/改善点を指摘した回答者数（複数回答有）

単位：人、%



図表Ⅲ－13－2 サービス面における問題点/改善点を指摘した回答者数（複数回答有）

単位：人、%

区 分	回答者数	構成比
みやげ品店の接客	21	5.9
ホテルでの接客	9	2.5
タクシー乗務員の接客	26	7.3
飲食店の接客	14	4.0
道路案内表示	50	14.1
交通機関の案内表示	35	9.9
観光地案内表示	46	13.0
その他	28	7.9
無回答	125	35.3
総 計	354	100.0

図表Ⅲ－13－3 来訪回数別サービス面における問題点/改善点を指摘した回答者数（複数回答有）

区 分	単位：人（上段）、％（下段）									
	みやげ品店の接客	ホテルでの接客	タクシー乗務員の接客	飲食店の接客	道路案内表示	交通機関の案内表示	観光地案内表示	その他	無回答	総計
初めて	1	1	5	5	11	3	11	8	39	84
2回目	6	1	2	3	11	7	10	6	22	68
3回目	0	2	0	1	6	5	3	1	11	29
4回目以上	14	5	19	5	21	20	21	13	52	170
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
回答数	21	9	26	14	50	35	46	28	125	354
初めて	1.2	1.2	6.0	6.0	13.1	3.6	13.1	9.5	46.4	100.0
2回目	8.8	1.5	2.9	4.4	16.2	10.3	14.7	8.8	32.4	100.0
3回目	0.0	6.9	0.0	3.4	20.7	17.2	10.3	3.4	37.9	100.0
4回目以上	8.2	2.9	11.2	2.9	12.4	11.8	12.4	7.6	30.6	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
回答比率	5.9	2.5	7.3	4.0	14.1	9.9	13.0	7.9	35.3	100.0

IV. 観光客の声

IV. 観光客の声

1. 飲食・買物について

(40 代、女性、神奈川)

夕食に頼んだゴーヤチャンプルーは作り置きをレンジでチンしたようなもので腐敗臭がしていました。(作ったチャンプルーがビニールの中に入っていました) 本土からの客で別にいいと思ったのかもしれませんが、沖縄での最後の日でしたのがっかりしました。こんなひどい店がメインストリート近くにあるなんてびっくりしました。市役所の皆様も飲みに行かれる時はお気をつけあそばせ!!

(60 代、男性、無職、大阪)

35 年前より食事がとても美味しかった。豚料理も口に合いました。

(30 代、男性、会社員、東京)

入った飲食店の店員が親切でよかったが、気軽に食べられる沖縄料理の店が欲しい(国際通り)。特に子連れ(1 歳児)だったが、入りにくい店が多かった。もっと沖縄の文化を感じられる雰囲気が欲しい(他の地域の方が沖縄を感じられた)。

(50 代、男性、会社員、大阪)

何度か沖縄に来ていますが、飲食店は 10 軒に 8 軒はハズレです。たまに良い店がありますが、値段と内容がちぐはぐな店が多過ぎます。もし同じ店を大阪で出店していたらほとんどの店は 1 カ月もたない。3 年前に来た時にいい店を見つけて毎晩行っていたが、今回つぶれて別の店になっていました。良い店を探すのは本当に難しい。特に公設市場の 2 階の店は中国人のよびこみがうるさく飲食する気になれないです。

(40 代、女性、主婦、大阪)

飲食店の接客を改善した方がよい。 <同様のコメントが他に 3 件>

(30 代、男性、会社員)

飲食店の店員が、夕方店に入る一番客をいやがる。

(40 代、男性、会社員、長野)

タバコを吸う人が多い。禁煙ではない食堂が多くて困る。

(40 代、男性、会社員、長野)

昔ながらの商店街の食堂(おそば屋さん)は、『おいしくて安い』。

(20 代、女性、会社員、神奈川)

国際通りのみやげ物屋、飲食店の勧誘が多く、少し歩きにくさを感じた。大音量で音楽を流している店も多くゆっくり買い物できず残念。

(60 代、男性、自由業、愛知)

海ぶどうの値段が道中 10 カ所全部違う。

(30 代、女性、主婦、長野)

みやげ品店の接客を改善してほしい。 <同様のコメントが他に 9 件>

(30 代、女性、会社員、神奈川)

お土産を買いに国際通りへ行きましたが、同じようなお店がいくつもあり、同じような土産物ばかりだったので、時間が限られたなか大変だった。国際通りのマップは持っていたが、どの店にどのような土産物があるのか、種類別の冊子(写真付き)などがホテルなどで無料でもらえると時間がない人でもスケジュールが立てやすく、自分の買いたい土産物が買えると思いました。

(20 代、男性、自営業、熊本)

観光地での土産品の価格の違いが多すぎる。

(40 代、男性、会社員、神奈川)

国際通りの土産屋はどこも「送料無料」となっているが、実際は手数料をかなり取られる。これは止めた方がよい。こんな事は東京ではないです。

(50 代、女性、主婦、兵庫)

国際通りでの客引きがしつこい。不愉快。

(40 代、男性、会社員、長野)

電子マネーが使えるお店が多い。

(20 代、女性、自由業、山梨)

クーポンが多くて良い。使えるお店の入口にクーポンがあるのはとても良かった。

2. 観光施設について

(50 代、男性、自営業、東京)

りっかりっか湯の様な銭湯的な施設ではなく北谷にあるちゅら一ゆの様な施設が有ったらいいなと思います。

(70 代、男性、無職、兵庫)

モノレール首里駅から首里城への順路についてもう少し工夫が必要。世界遺産にしては道路歩道は狭く悪い。路面表示、一目で分かりやすい統一した看板が欲しい。

(50 代、女性、埼玉)

これ以上なにもいらない。

(50 代、女性、主婦、岡山)

70 代の母との車いすでの旅行でしたので、1 日だけの滞在なので首里城のみの観光になりましたが、大変よく車いすに対して接していただき、ありがとうございました。車いすでも不自由なく観光できました。

(20 代、女性、会社員、千葉)

歌や踊りをメインに楽しむ場所がもっと欲しい。

(40 代、男性、自営業、静岡)

(もし市から県に伝えてもらうことができるならですが) 県立博物館について、徒歩では公園側の出入り口がないので台風の中、びしょ濡れになりながら建物を回らなければならなかった(入口がわかりにくい)。できれば公園側にも入り口を作ってほしい。閉館時間をもっと遅くしてほしい。

(30 代、女性、会社員、福岡)

名護パイナップルパークの営業戦略はすごい。350 円の入場料だがカートに乗り、写真撮影 2 か所(有料だが記念に買ってしまった)、それから貝殻の展示品があり販売も行っている。パイナップルのワインからジュース、食べ放題もありすごい。なんでも試食+試飲できる。あれにはやられた。パイナップルのローションや石鹸まで女心をくすぐる商品がたくさんあった。美ら海水族館は広々としていて見応えがあつていいのだが、イルカショーの内容を頑張ってほしい。那覇は駅近にいろんな施設があるといい。

(40 代、男性、会社員、東京)

海に見える屋外温水プールなら安全&海に入っている気になれる。冬でも OK。海も汚れず小人も安心(温水プール)。

(40 代、女性、公務員、北海道)

今は子供連れの旅行なので、子供と楽しめる(ただのどこにでもあるような施設ではなく)沖縄らしさを感じられる施設があるとうれしいです。小さくてもよいので、水族館が那覇にもあるといいですね。

(60 代、男性、無職、埼玉)

観光地案内表示を改善した方がよい。 <同様のコメントが他に 6 件>

(50 代、女性、主婦、兵庫)

首里城の久慶門、古いまま残されていてとても良かったです。全部を綺麗に新しい色に塗り直さず、この門は、古いまま残してほしいです。ライトアップの時に行きました。満月に近い日で、それはそれは良かったです。1 日目は泊まるだけかなと思いましたが、夕方着で沖縄入りした私達は、得した感じになりました。

3. 宿泊施設について

(30 代、男性、会社員、栃木)

市内のホテルがここ数年で急激に増加してきたので、宿泊に困る事がなくなってきたことは大変ありがたく思います。県内の他地域（離島、本島の他地域）へのベースとしても、非常に利便性が良くなったと思います。ただ、沖縄らしさが薄れているとの感もありますが、那覇は、沖縄の中心として利便性や店舗の充実が良いのではないかと思います。

(20 代、女性、会社員、愛知)

女性の従業員がガムを噛みながら朝食の準備をしていました。少しどうかと思いますが…。

(60 代、女性、会社員、静岡)

ホテルのサービスがよく楽しい旅ができました。

(60 代、男性、無職、北海道)

ホテルもよく対応してくれました。感謝しています。

(40 代、女性、主婦、京都)

宿泊した施設は融通がきかなくてもう二度と泊らない！去年はリゾートホテルに泊まったけどもよかった。離島の方が良かった今年の旅行です。パッケージより割増料金まで支払ったのに後悔だけが残る感じです。旅行最終日に不愉快な思いをして、今夏の旅行全体が台無し気分です。来年も沖縄に来る予定ですが、又、離島メインになりそうです。去年の沖縄はよかったのに…!!

(20 代、女性、主婦、福島)

小さい子供がいるとホテルの駐車場のなるべく近くに車を置きたいが、あまりスペースがないうえ、遠いところへ置くしかないのは面倒なもの。道路も白線が見ずらく運転しづらかった。

(30 代、男性、会社員、東京)

宿泊した施設に対して望むこと。1. 施設が古い(壁紙がもろい、水周りが気持ち悪い、TV が古く、TV が小さくて見にくい、ベッドのばねが古い、冷蔵庫がない、ドライヤーがない、アメニティがない、カビ臭い)2. 若い女性は泊らないと思う 3. 浴衣が臭い 4. エレベーターがない(荷物を持っていくのはとても大変)。

(80 代、男性、無職、大阪)

那覇のホテルにはがっかりしました。お風呂が一番好きなのにお部屋にしかなくて残念です。これからもっと詳しく調べて行こうかと思っています。ありがとうございました。

(50 代、男性、会社員、福岡)

ホテルの駐車場が高く、値段もバラバラ(500 円もあれば 1000 円もある)。

(60 代、女性、会社員、埼玉)

ホテルの職員の方達は皆さん丁寧で良かったです。

(30 代、女性、会社員、神奈川)

宿泊したホテルはとても良かった。接客してくれたホテルマンの対応も良く、朝食のバイキングも種類がたくさんあり、子供もお腹いっぱい食べられました。

(50 代、女性、主婦、大阪)

今回はコンフォートホテルにお世話になりました。とても設備が良く宿泊客が満足いけるようにしてくださっています。これからもこのホテルを指定したいと思います。朝食も十分満足しましたし、備品にも心配りがあります。ホテルには大変満足しました。また来年も来ます。ありがとうございます。

(50 代、男性、会社員、滋賀)

最近、沖縄にはまっています。沖縄最高。2 年連続で来ています。リゾート地も那覇も今のままでいいと思います。ただリゾートホテルから那覇市内のホテルに入ったときに、なんだか愛想が悪いように思うのは私だけでしょうか。

(50 代、男性、無職、滋賀)

民宿でもホテルでも暖房設備をつけてほしい。海水から来る地風は年々冷たくなっており(全国的)、寒く感じる。海水温(19 度)でも冬は湿度が 70%もあるため冷たく感じ、ひどくかぜをひいてしまった。暖房もなかったので早く帰ってしまった。

(60 代、女性、主婦、茨城)

宿のエアコン調節は良好だった。

(60 代、男性、無職、兵庫)

インターネットで安いホテルを見つけました。ホテルは値段に比べて内容は満足です。国際通り徒歩 1 分に 6 泊しましたが、快適で近くには安くておいしいレストランがたくさんありました。

(10 代、女性、学生、神奈川)

広くてとても良いホテルでした。

(30 代、女性、主婦)

ホテルでの接客が良い。

(20 代、男性、無職、長野)

ホテルでの接客を改善した方がよい。 <同様のコメントが他に 4 件>

(20 代、女性、会社員、山口)

‘沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ’ですが、‘とまりん’になっていて迷って分からなかった。

(30 代、女性、自営業、鳥取)

いつも思うのですが、宿泊先の入口が暗いので探すのに苦労します。今回のホテルは、大きく上に看板がありましたが、運転していると、なかなか目が届きません。

(20 代、女性、会社員、宮城)

ホテルの空調が悪い、ほこりっぽい。

(40 代、女性、和歌山)

ホテル周辺が一晩中やかましく寝苦しかった。

(40 代、男性、会社員、東京)

最悪でした。ホテルに泊まったのですが、従業員が車の No (立体駐車場) を忘れ、車が出てこない。約 50 分待たされたあげく、従業員は謝らない。人を変え、どんどん逃げていく非常に沖縄らしいふてぶてしい態度だ。3 K (観光、基地、建設) の観光もこの状態では伸びないと思う。沖縄本島には 2 度と来たくないです。

(20 代、女性、兵庫)

ホテルのトイレの上とトイレの壁と浴槽の中、計 3 カ所に髪の毛が最初からあって気持ち悪かった。

(60 代、女性、主婦、愛知県)

ホテルのバイキングに地元の野菜、果物をもっと取り入れて欲しい。

4. 景観・自然・海洋レジャーについて

(50 代、女性、公務員、京都)

はじめて沖縄に行ったのは、大学生の時。今から 30 年近く前のことです。大きな宿泊高級ホテルもなく、全くの自然体だったと思います。(西表をテント持参で歩いていました。)今は、かりゆしリゾート、全日空ホテルを利用して、家族旅行を楽しんでいます。沖縄の海、サンゴなどのことを、ふと心配します。自然を大切にしたいという沖縄のメッセージをもっと啓発してほしい。サンゴを植える運動もあるようですが、合成洗剤を使わず、石鹸を使うホテルや民宿、一般家庭を増やすなど、もっと、長期にわたって、たくさんの観光客を受け入れることの危機感を、沖縄自身が感じて、自然をいたわる啓発メッセージを発信してほしいと思います。この美しい沖縄を大切にしてください。何度も遊びに行きたいから。

(50 代、男性、会社員、愛知)

川が汚い。

(50 代、男性、自営業、東京)

緑が丘公園付近の工事予定地で、(他にも何カ所か見かけましたが)中国みたいに土を緑色のペンキでペイントしてあるのはなんだかとても不快感を覚えます。土はそのままの方が自然で良いと思いますが。

(60 代、女性、会社員、静岡)

以前に比べて都会になってしまっていて記憶に残っていたものはなくなっていた。自然が少なくなってさみしい。

(60 代、女性、福岡)

自然のままを守ってほしいです。那覇～南部で昔の姿が消えていたのは残念でした。建物・畑など、海がレジャー化している。

(50 代、女性、埼玉)

30 年前に訪れたときとあまりにもちがいがすぎて驚きました。レンタカーで那覇市内を走りましたが、沖縄らしさが消えていて…どこに来ているのか…特色がなくなっていてとても残念でした。これ以上開発はしないでください。お願いします。海はきれいでしたが、間違いなく以前とはちがいますよね。住んでいる方たちが一番ご存じだと思います。ホテルも豪華すぎます。沖縄を訪れる人たちはきれいな海を求めているんです。便利になることは必要ありません!!ペットボトルが波にたどり着く所、何度もみかけました。きれいな海を守るために必要なことは観光客にも当然してもらわなくてははいけません。たとえば、空港や港やホテル(宿泊先)などに明記して、入浴する人たちに理解を求めることなど、するべきだと思います。このままだと、次回行く頃はどうなってしまうのでしょうか?日本の宝はみんなで守っていきましょう。率先するのは住んでいる方々、そして、協力できる(しなくてはならない)のは観光客だと思います。観光客が、沖縄来たけどこんなんでいいんだ、と思ってしまったら、どんどん悪いほうにすすんでいってしまうでしょう。

(60 代、男性、自営業、大阪)

沖縄と離島は、海と食物、伝統文化、伝統工芸品、歴史ある建造物などで観光が支えられている。特に自然と海、海岸線は、開発で破壊されないようにしてほしい。長期的に見て、それが沖縄の財産であり、それらを保存することが沖縄の生きる途につながります。自然と海が汚染されたら沖縄に来る意味はなくなります。

(40 代、女性、神奈川)

沖縄の良いところは空が広いところだと思います。東京を目指すのではなく沖縄らしい青い広い空のままです。

(40 代、男性、会社員、神奈川)

20 年前に比べると東京化されており、沖縄独自の建物・文化が減ってきているように感じる。独自性を守ってほしい。

(30 代、男性、公務員、北海道)

ダイバーとして沖縄の海は最高です。こちら側のモラルとマナーの問題があると思いますが、ダイビングスポット近辺の環境保護を気にかけていただければ嬉しいです。上記に限らずですが素敵な沖縄であってほしいです。

(30 代、女性、主婦、北海道)

雑草が生い茂っていて見栄えが悪い。

(40 代、男性、会社員、福岡)

自然に調和した街づくりを今後も期待します。

(50 代、女性、東京)

再開発をして特徴の乏しい町にしないでください。2007 年 2 月来、沖縄に魅せられて訪沖 5 回目です。多忙な暮らしの中、2 泊 3 日休みがとれれば那覇に飛んできます。沖縄南部、中部、北部、いずれもまちを歩いているだけでたのしい。どうか再開発・まちづくりと称して、いずこも同じ特徴のないつまらない風景にしないでください。類まれな美しい自然を保護してください。

(60 代、女性、主婦、茨城)

海の色が素晴らしかった。また、いつか訪れた時もきれいな美しい海を残していただきたいと思います。

(60 代、女性、主婦、福岡)

離島(黒島他)へ行く船から見た海は生まれて初めて見た美しさでした。この海の色を壊してはいけないと思いました。この海を見せたい友人と再び来沖したいと思いました。

(20 代、女性、東京)

昔からの風景はなるべく失わずに。でも基地は失くしてほしいです。

5. 交通手段について

(20 代、女性、学生、東京)

旭町駅のタクシーの客引きなんとかしてほしい。初日無理やり新原ビーチに連れて行かれガラスボートに乗せられた。前にも乗ったのでいらないと断ったら、早く言えと怒鳴られた。ホテルが駅の近くで、バスターミナルへ行くのに 4 日間、毎日顔合わせるのが嫌だった。

(50 代、男性、自営業、埼玉)

タクシー乗務員の接客を改善した方が良い。 <同様のコメントが他に 5 件>

(30 代、女性、主婦、長野)

最近では毎年、沖縄に遊びに行っている者ですが、いつも思う事があります。タクシーの乗務員の方の無愛想、サービス等、去年は最悪でした。キャリアバッグや荷物が沢山あったのに、自分でトランクに入れろと言われ、空港に着いたらまた自分で荷物を下せと。こんなタクシーは沖縄だけです。でもまた遊びには行きます。

(50 代、男性、自営業、大阪)

タクシーの運転手さんが一般的に無口？(人にもよるのですが)もう少し乗客に話しかけてもいいのでは…。

(60 代、男性、無職、大阪)

タクシーの運転手さんもみなさん楽しくのんびり話してくださり、方言も心地よいものでした。

(60 代、女性、会社員、埼玉)

タクシーが多いのに驚きました。またどこにでもとまるのにはビックリします。よく事故が起きないもの

だと思いました。

(20 代、男性、会社員、千葉)

首里駅の前のタクシーの客引きもひどい。

(40 代、男性、会社員、群馬)

余暇、遊び、仕事等で月に 2～3 回那覇(沖縄)を訪れていますが、来るごとに思うのが、タクシーのマナーの悪さ、警察の怠慢です。例えば、パレットくもじ前の県庁北口のバス停前にいつもタクシーが客待ちをしています。バス停より 10M 離れていないので確実に道路交通法違反です。最近は御成橋通りにも客待ちのタクシーが並んでいます。県庁前交番に立っていた警官に「あれは道交法違反ではないか」といったところ「ああそうですね。注意します」との返事。交番の前に立っていれば当然気づいて然りなのに、気付かない、気付いていても何ら行動を起こそうとしない警察。違法タクシーは運転手個人ではなく会社そのものが罰則を受けるようにしてほしい。また警察ももっともっと厳しく取り締まってほしい。観光客が気持ちよく訪問できる那覇であってほしい。ぜひ市の対策を望みます。

(20 代、女性、主婦、大分)

タクシーの運転マナーがすごく悪いと思った。接客は良かったので残念。

(30 代、男性、千葉)

タクシーのしつこい勧誘には参った。

(30 代、男性、会社員、長野)

路線バスは市内外をくまなく運航しており大変便利なのですが、路線案内がほとんどなく、わかりにくいと思います。つついりレンタカーを使ってしまうのですが、主要な場所はほぼバスで行けるようなので、県外者にわかりやすくなっているとよいと思いました。(特に運行系統と料金) バス会社が複数なので難しいかもしれませんが、フリーパス等あると使いやすいと思います。普段の那覇市の姿にふれられる路線バスを観光に活用されてはいかがでしょうか。

(30 代、女性、主婦、埼玉)

同じバス停名で場所が数 100 メートル離れていたり、沖縄独特の読み方があったりするので、利用前に下調べの時間を要する。観光地 WEB サイトに最寄りのバス停表記がないことも多く、観光客はレンタカーか観光バスで来るものという思い込みがあるのだろうか。便利だが、エスカレーターやエレベーターの案内が少なく「泣く泣く重いカートを持って階段を利用したらあっちにあった」という年配者をよく見かけた。

(40 代、男性、会社員、神奈川)

バスターミナルの案内を改善した方が良い。

(20 代、女性、東京)

バスの本数が少ない。

(30 代、女性、主婦、)

バスの正しい情報がほしい。

(30 代、男性、無職、山口)

バスが止まらず通りすぎる時がある。

(40 代、男性、会社員、長野)

路線バスの運行情報が少なく利用が難しい。定刻よりも早く出発するのにはビックリ。

(50 代、女性、主婦、埼玉)

特にバスがわかりづらいです。(交通機関の案内表示)

(50 代、男性、自由業、東京)

バスが分かりにくい。個人旅行向けのサポートとしてもっとバスを使いやすくしてほしい。例えばインターネットで時刻表を充実させるとか、小さなバス停まで表示させるとか。また泊高橋というバス停は 3 か所

もあり混乱した。名前を変えるかABCを付けるなどしてほしい。美ら海水族館へ行くのも公共バスでは不便。個人旅行を軽視すると本土資本に負けてしまいますよ。バスの大きさも路線バスは半分で十分みたい。効率よく小型バスを導入してはどうか。

(30代、男性、会社員、神奈川)

空港のシャトルバスのバス停がとてもわかりづらくDFS、あしびな一等の表示をしてほしいです。

(70代、女性、主婦、広島)

いろいろ行きたいところ見たいところがありましても、レンタカーに乗らない私は行くには余りにも不便に思います。周遊バスのようなのを走らせて頂くと有難いです。バスが複雑すぎて訳がわかりません。人に尋ねてもわからないとのこと。タクシーは経費がかかるので乗りたくありません。ご検討をお願いします。私は沖縄と云う地が好きでよく来ます。乗りかえなしで行けるよう考えてください。

(60代、男性、自営業、大阪)

北部（万座毛、海洋博公園、蝶々園他）への交通機関が少ないので、リムジンバスが便利。しかし、大型バスに1～2人しか乗っていない時があるので、客数によっては大型ではなく小型バスにした方が良い（環境対策上からも）。

(30代、男性、会社員、栃木)

1) 市内、市外への交通手段として、バスの整理、充実があるとうれしいです。特に市内は。もちろん、レンタカー、タクシーの利用もよくしますが、コストの面（もちろん東京と比べ安いですが）やレンタカーでは安全性や飲酒後の問題があると思います。ゆいレールもありますが、バスほど充実性がないと思います。2) レンタカーについて、本島全体で観光する上で最も有効な手段だと思っています。レンタカー会社も多くなり、ホテル同様、困る事は少なくなってきたと思います。また、料金に他県と比較し、割安なところも多く、利用を助けているかと感じます。しかし、最近ちょっと頭をかしげることが多くあります。その一つとして、サービス/対応です。別に高級ホテルのような対応を求めることはありませんが、利用者の増加やコスト削減のせいなのかもしれません、非常に雑な感じが否めません。レンタカーを借りるのは一時の話であって、旅行全体から見ればごくわずかなものだとは思いますが、旅行においては、空港を出て一番最初にある沖縄での接点かと思っています。ここで嫌な気分をもつと、その旅行自体が悪い思い出になることも多々あると思います。3) 2) のレンタカーに通じるのですが、他県との違いで違和感を覚えるのが、「免責補償サービス」への加入です。万が一の事故への対策としては有用なものだと思います。しかし、これは利用者の任意加入なものだったと認識しています。もしくは、沖縄だと割引料金の条件で加入を義務付けているものもあるのは知っています。しかし、私が感じる違和感は、任意であるはずの場合においても加入の任意性を説明せずに契約させる店もあるということです。今回もOTSレンタカーにて申し込みの際、当然のように加入とされていました。この点で対応において疑問を感じました。今までも、何度かOTSレンタカーを利用してきましたが、担当者や機会によって、

確認する場合とそうでない場合があります。後者の方が多いと感じていますが、自己防衛としては必要を感じますが、任意性を無視した対応にはちょっと疑問を感じています。

(50代、男性、会社員、大阪)

モノレール、路面電車等の対応が望まれる。

(30代、男性、会社員、兵庫)

公共交通機関のみを使って観光する者にとって、非常にバス路線の案内が乏しい。レンタカーで観光する人には地図だけあればよいかもしれないが、モノレール、バスで観光するには路線図等がほしい。（観光地間の移動をどうすればよいのか分からない）たとえば、首里城・識名園をめぐる時、それぞれの行き方はガイドブックなどにも情報があるが、それらの間の移動はどうすればよいのか、情報がない。タクシーに乗ればよいかもしれないが、高くつきそうな気がして敬遠してしまう。ツアーやレンタカーでの観光を推奨してるんですかね、沖縄は…。

(20代、男性、学生、千葉)

交通の研究をしています。沖縄はレンタカーやツアー旅行での移動を前提にしているので、公共交通を利用した観光・移動が非常に困難。モノレールはいいとして、路線バスは一般の土地勘のない観光客には系統が多すぎて理解不能だと思います。京都のように「○→▽への乗り継ぎ一覧」のような案内を裏面に載せた

市内線・市内を通過する市外線の路線図を配布してはどうか？モノレール沿線にあるモノレール一日券で優待される施設は、大半が駅からバスに乗る必要があります。だったらゆいレール一日券所持者は、市内線1回乗車100円にするとか、ゆいレール+市内通過バス特定区間内乗り放題の一日券をつくってみてはどうか？バス事業者4社は嫌がるでしょうが、欠損分を市が負担するなどしてそのような制度を構築しないと観光客はますますバスを敬遠すると思います。

(40代、男性、東京)

新都心の発展は素晴らしい。拠点や観光スポットは分散しているのでモノレールだけだと不便で時間もかかるので、循環型のコミュニティバスを100円で使えるよう整備してほしい。

(30代、男性、千葉)

公共交通機関の誘導を。オムニバスタウン指定に取り組んだらどうか。

(40代、男性、会社員、東京)

市内、首里、あるいは南部観光時に、レンタカーを借りずに回れるよう、バス、モノレール共通の割安なフリーきっぷなどがあれば便利と思う。

(40代、男性、会社員、東京)

モノレール以外の公共交通機関がもう少し便利ならよいのですが。

(30代、女性、自営業、鳥取)

レンタカーにはナビは付いていますが、沖縄の地名は独特なので、初めての方は、苦労されると思います。

(40代、男性、会社員、広島)

カーナビの使い方がわからないところもあると思いますが、58号線を走りたくても高速に案内されたり、遠回りさせられるのが不満でした。

(50代、女性、主婦、兵庫)

レンタカーの接客は不愉快でした。

(40代、男性、公務員、北海道)

ゆいレールに乗りたかったが、日程上全日レンタカーを利用した。利用した施設には駐車場があり、困らなかった。ただナビの地図が古いのか、道なりに走るとナビ上では道路以外となってしまうとまどった。

(20代、女性、会社員、愛知)

レンタカー店の接客を改善した方がよい。

(40代、女性、主婦、岡山)

難を言えば航空券が高価なことです。次回はできるだけ早めの計画を立て、早期割引が受けられるようにしたいと思います。次回の沖縄の旅を楽しみにしています。

(50代、男性、自営業、大阪)

大阪ー那覇の航空便が不便。都心に近くて利便性のよい伊丹ー那覇の便数が少ない。現在、沖縄ー大阪の航空便が、遠くて不便、お金も時間もかかる関西国際空港に移されたため、沖縄への旅行が非常に不便になった。伊丹発着の沖縄便が増えると、大阪から沖縄への旅行ももっと楽になると思う。

(20代、男性、会社員、千葉)

連休に沖縄に行きたいと思っても、飛行機のチケットが取れない&高い。これではなかなか行きにくい。

6. 交通事情について

(50代、男性、自営業、埼玉)

道路案内表示を改善したほうがよい。 <同様のコメントが他に7件>

(70 代、男性、無職、兵庫)

最後に国際通りを南下し県庁広場に出て案内板を見たところ、同封の写真のごとく、モノレール「県庁前駅」が違った名称になっており、駅員にたしかめたところ、開業前の仮称駅名で地元の橋の名とのこと。その後数年経過するも、だれひとりとして（関係者、県職員等は見ることがないにしても、いささか無関心すぎるのでは）気がつかないのか、必要とする来県者はかなりの数見ているはずですが、まさしく不思議です。担当は市なのか県なのか私にはよく分かりませんが、県なら連絡し確認の上、訂正を願いたい。来年1月頃、来県の際現物を確認したいものです。

(30 代、男性、会社員、東京)

市内の信号のタイミングが交通渋滞の原因となっているのでタイミングをうまくして交通の流れをスムーズにするとよい。

(50 代、女性、会社員、徳島)

道路案内はとても必要であり、より分かりやすく表示をしてもらえるといいと思います。

(60 代、女性、会社員、静岡)

車の移動が難しい。

(40 代、女性、公務員、三重)

道路が混雑。

(30 代、女性、会社員、福岡)

子供が小さいので駐車場など、目的地のそばを探しますが、当たり前ですが、駐車場代がやはり高めです。ホテル最寄りの駐車場がそれぞれありますが、場所が分かりにくかった。

(20 代、女性、主婦、大分)

レンタカーを運転していて高速までの案内が少なく迷った。ナビを使っても分かりにくかったのもっと増やしてほしい。路上駐車が多く運転しづらかった。

(60 代、男性、農林漁業、神奈川)

松尾という交差点が二つあるのは大変困る(理解に苦しむ)。

(30 代、女性、主婦、北海道)

道路が狭く道が分かりづらい。

(20 代、女性、会社員、鹿児島)

那覇市内(特に国際通り)の駐車場の表示を分かりやすくしてほしい。そして 200 円/時間は、観光するには高いので、市営みたいな、大きい駐車場を作してほしい。

(20 代、女性、会社員、三重)

交通量が多いためうまく時間が使えない。

(60 代、女性、主婦、宮城)

車で通行してみると道路が分かりにくい感じと、工事中の場所もあり、同じ場所をぐるりと回っている時間が度々あってとまどいました。

(20 代、男性、千葉)

国際通りが慢性的に渋滞している。

(20 代、男性、千葉)

首里城はきれいでよかったが駐車場が少なすぎる。那覇市内中心地の駐車場も確保してほしい。特に土日は県庁、市役所ともに休みなのでこれを活用してほしい。

(30 代、男性、会社員、福岡)

那覇市ではないが、道路標識について、空港南部の 331 号や市内南東部の 507 号は 2 本に分かれ、どちらの道が目的地方向の道なのか、分かりにくく迷った。

(60 代、男性、静岡)

交通機関の案内表示を改善した方がよい。 <同様のコメントが他に 2 件>

(30 代、男性、自営業、北海道)

道路案内表示を改善した方がよい。とても分かりづらい。複雑すぎる。バイク、タクシー、自動車全て運転マナーが悪すぎる。路上駐車は注意すべきでは？

(30 代、女性、会社員、福岡)

交通機関の案内表示を改善した方がよい。バス路線図があるなら欲しい。ホテルのロビー等、一見して判るところにおいてほしい。

(30 代、男性、会社員)

道路案内が解りにくい。高速出口の渋滞。一般道での警察による取り締まり。観光客をつかまえるとは、イメージが悪く、次来なくなる。

(60 代、女性、主婦、福岡)

車からはっきり見えないくらい薄くなっている横断歩道が目立ちます。旅行者は道に慣れていないので特に白くはっきりと目立つようにしてください。事故が起きる前にお願いします。いつもヒヤっとしています。

(50 代、男性、会社員、愛知)

ウィンカー出さずにまがる。こわい。バイクのマナーが悪い。交通機関の案内表示を改善した方がよい。

(40 代、男性、公務員、北海道)

北海道と比べると道路は狭かったがそれはどこでも同じだから気にはならなかったが、スクーターにはかなり怖い思いをさせられた。スクーターに通行区分を知らせる表示等を見かけたが、住んでいる人は気にしていないと感じた。

(40 代、女性、主婦、岡山)

夕方のラッシュ時の原付やオートバイの強引な追い越しに驚いた。左右両側から来るので恐ろしい。マイペースで動けると思い生まれて初めてレンタカーを借りましたが、慣れない土地、知らない場所での運転は、慣れないカーナビと共に怖い思いをしました。

(50 代、男性、会社員、福岡)

自動二輪の運転マナーが悪すぎる。いつ事故が起こってもおかしくない。警察はなぜ取り締まらないかわからない。観光客は不安である。早急に取り締まりをお願いしたい。

(20 代、女性、学生、滋賀)

交通マナーが悪いと強く感じました。原付の二人乗り、指示器を出さない、追い越し等、とても怖かった。

(40 代、男性、会社員、長野)

車が多くて、更に雑な運転が目につく。路上（歩道）駐車が多い。

(20 代、男性、会社員、熊本)

沖縄本島の交通で、二輪車(原付・中型)が、自動車走行中に左側からの追い越しが目立ちます。四輪のみ走行の車線でも普通に二重に路線をふさぎ、二輪に追い越され事故を起こしそうになり、腹立たしい時もありました。観光客の運転に対しての指導より、二輪へ対しての対応をよろしくお願いします。

(30 代、男性、会社員、北海道)

交通マナーが良くない。特に二輪車。

7. 観光情報について

(30 代、男性、自由業、大阪)

なは市内のエリアの特徴がよくわかりませんでした。たとえば、①食事をメインとするレストラン飲食エリア②夜の飲み屋を中心とするスナック・クラブエリア③ファッションを中心とするエリア④若者が集まるエリア等。このようなマップを作成し、各ホテルにおいてほしいです。

(40 代、男性、会社員、奈良)

泉崎橋、旭橋を中心に歩き回った。カンタンな市内地図が手元にあれば良かった。いつも沖縄には満足していますよ。

(50 代、男性、農林漁業、埼玉)

安心して飲食できる店の地図（案内）がほしい。福島県郡山市では作っています。

(50 代、男性、農林漁業、埼玉)

那覇市内の充実した観光ガイドブック（パンフレット）がないのは残念。

(60 代、男性、無職、大阪)

伊計島に行きましたが、島内の表示が少しわかりにくかった。

(40 代、男性、公務員、北海道)

国際通りは楽しく買い物等をしたが、どこまでもアーケードになっていて、どこにいるのかわからなくなりました。せめてどこにいるかが分かる表示がほしかった。

(30 代、女性、主婦)

ネットの情報を正確にして欲しい。色々な事を調べても情報が更新されていなかったり、イベント情報が数年前のものだったりして、とても参考になるレベルではない。様々な人が沖縄に関して情報を発信していますが、みなブログ的なものや、一部のみのことで全体として見ることが出来ません。せめて観光で収入を得ているのですから、役所が作る公式 HP をもっともっと充実させるべき。せめてイベント事だけでも、正確な情報がほしいです。大きいものだけでなく、公設市場やうまんちゅ市場内のことや町単位で開催されるお祭りやイベント情報もほしいです。

(60 代、男性、静岡)

観光相談所がほしい。琉球文化・芸術に興味を持っているが、イベント案内を 2 大新聞に早めに記載してほしい。

(20 代、女性、会社員、愛知)

やちむん通りは駐車場がわかりにくかった。位置も案内が少なくてわかりにくい。首里城祭で踊りが見れて良かった。モバイルをもっと利用した観光案内とかできるとおもしろい。『現在地から目的地まで〇分』周辺スポット etc.。

(40 代、女性、主婦、大阪)

13 年ぶりに来て、国際通りも変わっていたし、ゆいレールも出来ていたし、色々変わってました。もっと気軽にシーサーなど作れる所があったらうれしいです。ゆいレールはどこまでのばせますか？もっと長くしてほしい。あと、車イスの人間がもっと、楽しく観光できるようにしてほしいです。

8. 那覇市の印象・まちの様子について

(70 代、男性、無職、神奈川)

こんなに活気がある街ははじめてだ。よかった。

(30 代、男性、会社員、東京)

街自体がきたらしい。

(50 代、男性、会社員、兵庫)

国際通りが観光客相手のしょうもない店ばかりで面白くない。牧志公設市場が汚すぎる。二階には行きたくない。一階も高すぎる。農連市場の方が好き。博物館も行ったが建物ばかりで中身はもうひとつ。近代化は必要ないが、沖縄らしさを活かした街づくりをお願いしたい。ビルの高さも考えてほしい。

(70 代、男性、無職、埼玉)

第1回目はまだパスポートのいる時で大通りからいきなり左に曲がるのにびっくりした。金網の基地で左ハンドルもあり外国のようだった。今回は道が何本もあり、車の多いのにびっくり。街がきれいになり、施設もりっぱで、もうイメージが変わりました。もっと今度はゆっくり観たいものです。あれこれ言う資格はまだありません。楽しい旅でした。添乗員の説明で昔の沖縄を少し学びました。旅って教育ですね。市の皆様の努力、りっぱです。大変でしょうが、先を見すえて頑張ってください。

(50 代、女性、神奈川)

とても良かった。

(60 代、男性、無職、北海道)

「なはハーリー」最終日、楽しかった。外国人のマナーもよかった。

(60 代、女性、主婦、兵庫)

再び行ってみたいです。

(40 代、女性、神奈川)

いつもどおり楽しかったよ！

(50 代、男性、農林漁業、埼玉)

国際通りの路上禁煙大賛成ですが、喫煙場所を増やすべきです。規制対象外道路で吸い殻の散乱が目立ちます。

(50 代、男性、農林漁業、埼玉)

末吉公園はとても良いところでした。

(50 代、男性、農林漁業、埼玉)

那覇に観光客が来る理由を考えていただきたい。空港が那覇にあるから立ち寄る（ホテルがあるから）のであって、那覇の魅力が観光客を呼んでいるのではないと思います。観光行政の抜本的見直しを求めます。

(50 代、女性、主婦、埼玉)

30年前に訪れたときより当たり前ですが都市になっていました。赤い屋根の家が減り少し悲しかったです。首里城は前がどうなっていたかわからないくらい立派な城になっていました。大きさに驚きです。南部は今日行くので楽しみです。

(40 代、男性、公務員、福岡)

夜8〜9時くらいから大抵和食（沖縄料理もあり）を食べて、その後に桜坂のバーというのが決まりのコースになっています。最近再開発が進みつつあるというテーマを読みましたが、桜坂や栄町などの風情のある所が好きで何度も来る人々も多いと思います。新都心も良いと思いますが、上記のものがなくなるといろいろな魅力が減って、リピーターも減ることが十分に予想されます。良いところを残していくことも観光面で考えると様々な魅力で対応していくことにつながると思います。本日も桜坂に行ってまいります。

(40 代、男性、会社員、東京)

いいところです。また来ます。ありがとう。

(40 代、男性、会社員、東京)

時々あやしげな外国人(米軍人)が国際通りで騒いでいます。あれは禁止されているのでは？

(30 代、女性、公務員、東京)

沖縄に来るようになり 10 年経ちました。年に 4～5 回来るので空港に着くと帰ってきた!!とホッとします。慶良間のほうに行くことが多いので、本当にいるのは短い時間でほとんどないです。何度来ても飽きない街だなあとします。新しいところと懐かしさを感じるところが残っていて好きです。壺屋で焼き物を見て歩くのがとても楽しいし、市場周辺のお店を見るのもとても楽しいです。

(50 代、女性、主婦、埼玉)

交通マナーが悪いと思った。国際通りを歩いていても横断歩道にバイクが何台もいたり、夜のパトカーの音もうるさい。

(60 代、男性、無職、大阪)

大綱引きもたまたま観ることができ、米国人に交じって綱を引き、初めての経験で楽しめた。

(20 代、女性、会社員、鳥取)

賑わっているし、いつ行っても楽しいです。特に国際通りの居酒屋や商店街は美味しいものがたくさんあって好きです。安くておいしくて健康食品がたくさんあるのでこれからも変わらずにいてほしいです。

(50 代、男性、埼玉)

以前に比べて美しくなった感がある。活気もあるが中心部に集中しているようである。若者に清潔感がほしい。

(40 代、女性、会社員、神奈川)

国際通りの再開発が進んでいるようですが、昔から営業しているお店がなくならないようにしてください。(東京と同じようなお店しかなくなったら沖縄の魅力がなくなってしまう)

(30 代、女性、会社員、福岡)

人が親切で活気があるので、那覇にはまた来たいと思っている。

(40 代、女性、会社員、大阪)

夜 7～8 時頃、牧志市場から国際通りをホテルに向かって一人で歩いていると男性につけられていることに気付きました。何とかかわして無事ホテルまで走って行けましたが怖いなとつくづく感じました。観光客を狙ったものと思いますが自分自身も油断していました。夜の一人歩きは危険であると思い知らされました。初めての沖縄でショックを受けましたがいい勉強になりました。

(20 代、女性、主婦、大分)

楽しめる場所も多く、いい旅行ができた。

(30 代、男性、千葉)

振興策がかえって那覇市や沖縄らしさを失っているのではないかな。

(20 代、男性、会社員、北海道)

北海道とは道路事情が違うため本来行くべき道から逸れてしまったりといろいろ大変でしたが、とてもいい思い出を作ることができました。機会があればもう一度訪れたい街です。

(30 代、男性、会社員、東京)

楽しかったです。また数年以内に来ます。

(30 代、女性、主婦、長崎)

街の方も親切で楽しく旅行できました。少し言葉のイントネーションに違いがあり、文化の違いを感じました。機会があったら是非また来たいと思います。

(50 代、女性、主婦、愛知)

いつ来ても良いところだと思います。

(30 代、女性、主婦、北海道)

人々がみな笑顔で優しく、おおらかで素晴らしい。

(20 代、女性、会社員、神奈川)

初めての沖縄で台風に遭い残念でしたが、すごく楽しめました。誕生日旅行の思い出になりました。またぜひ来たいと思います。ありがとうございました。

(50 代、女性、主婦、千葉)

とても良いですが、犬のフンが歩道になれば良かったです。

(20 代、女性、主婦、神奈川)

接客の態度が悪すぎる。国際通りの居酒屋の呼び込みの男性をどうかしてほしい。目障りでゆっくりお土産も買えない。沖縄のイメージがかなり変わった。また沖縄へ行きたいとは今は思えません。

(20 代、男性、会社員、千葉)

国際通りの客引きがひどい。修学旅行の高校生の前に立ちふさがって店内に入れたり、試食を勧められ食べるとアンケートを書かせたり、ヘタな海外よりひどい。客引きのせいでできるだけ国際通りを歩きたくない。

(20 代、男性、会社員、千葉)

旅行会社に勤務しているが、こんなにもひどい観光地はない。このままでは客離れは確実。沖縄県以外の都道府県では警察の取り締まりが厳しく、客引きや路上販売は減少している。少し危機感が足りないのではないか。次回以降は、国際通り周辺では宿泊したくない。改善を望みます。

(60 代、女性、主婦、宮城)

以前の時より街全体が明るい感じを受けた。人々もゆったりしていて楽しい旅行になりました。天気にも恵まれ海と空の色に満足して帰路につきました。

(40 代、男性、会社員、東京)

とても印象の良いコンパクトな町でした。

(50 代、男性、会社員、長崎)

観光は当県の最大の産業なのに、ハッキリ言って世界基準では三流。日本ではまずまずで通用するでしょうが、その理由をあげると、①表大通りはまずまずですが、裏通りは不潔。放置された不燃物、空店舗のケバしい看板、統制のないビル色装。②管理されていない公園。破損した遊具、ごみの散乱。③中華圏と同じケバしい商業看板群。これら①～③は皆さんの協力で比較的簡単に解決できますよ。でも次の項目は世界基準に近づくための最低条件でしょう。a. 国際通りの電柱（狭い歩道をさらに狭くしている。沖縄の協力・努力がほしい） b. 散歩できるぐらいの歩道を設けてほしい（a. と同じですが） → 沖縄はツアー客用の観光地で、飛行機で着いて専用バスで観光地を回ってホテルで過ごすタイプ。 → 長期滞在旅行者には向いていない。 *私の人生で再度来ることはないが、上記の点が改善されればここを訪れる人はさらに増えるでしょう。旅行者の目は最近増々超えています。台湾・香港客とて同じ視点で見えますよ。

(30 代、女性、公務員、滋賀)

沖縄の方のあたたかさにふれて、良い旅行でした。「ゆっくりしていったらいいさーっ」と話しかけていただいた牧市公設市場とその付近の方々には感謝感謝の一言です。

(40 代、女性、公務員、北海道)

那覇市については国際通り以外はあまり行ったことがないので今後もっとあちこち行ってみたいと思います。また来年の1月ごろ行きたいと思っています。沖縄大好きです。

(年代、性別、出身地不明)

道路沿いにごみが多く見られた。あまりにも汚い所が多く見られたので、次回の沖縄本島観光は未定にした。

(50 代、女性、主婦、埼玉)
親切にいただきました。

(50 代、女性、主婦、兵庫)
人々はとても親切で、食事もおいしくとても良い時間を過ごす事が出来ました。

(60 代、男性、無職、埼玉)
道路脇に休憩ベンチを設置してほしい。

(60 代、男性、無職、埼玉)
とても良かった。もう一度ゆっくり歩きたい。古い町並みを。

(60 代、女性、主婦、東京)
市内にコンセプトを持って安全でクリーンな町でいてほしい。

(30 代、男性、自営業、北海道)
他の市に比べ汚いと思う。道路などいろいろ。

(40 代、女性、公務員、兵庫)
とても好印象でした。また来たいです。

(30 代、女性、会社員、東京)
国際通りは朝早い時間でもとてもきれいに清掃されていて気持ちよく歩くことができました。客引きのビラを配っている方たちもしつこくなく好感が持てました。道を聞くと親切に詳しく教えてくれる方が多かったと思います。たくさんの思い出ができました。ありがとうございました。

9. 観光全般の印象・感想

(60 代、男性、無職、愛知)
フリープラン型パッケージツアーで、名古屋から那覇へ3泊4日のレンタカー付きで39,000円であった。正規の航空運賃は片道38,500円（安く買う方法もある）であることから、まさに片道の航空代で3泊4日沖縄本島をレンタカーで気ままに旅行させていただいた。料金から考え、本旅行は文句を言ったらバチが当たる。特に問題はありません。満足でした。逆を考えると、沖縄の人は、そのようなパッケージ旅行がないので、名古屋へ同じ旅行をしたら、数倍の金額になり、申し訳ない思いである。

(30 代、女性、主婦、群馬)
一昨年、沖縄へ来て以来2度目です。沖縄は食べ物がとても美味しく、自然が美しく大好きです。少し残念だったのが那覇市内の交通渋滞です。夕方は特にすごくよりいっそう疲れます。あと、お土産物が市外と比べると高かったなあと。近いうちに、次回は秋頃に来たいと思います。3泊目がロワジールホテルでしたが、高級感たっぷりサービスも良く、セレブ気分を味わさせていただきました。ありがとうございました。

(40 代、女性、主婦、岐阜)
初めての家族旅行で、子供達が沖縄に行き「泳ぎたい」と言って決めましたが、今年はまだ泳げないと……。残念でした。でも5人みんな初めて沖縄に来ましたが、とても良いところで楽しく、人もみんな温かい人ばかりで来て良かったです。また来たいと思いました。ありがとうございました！！

(70 代、男性、無職、兵庫)
沖縄本島は復帰前に初めて来県し、6年前に団体で来県、今回ひとり旅で本島のみ5日間。3日間好天に恵まれ、特に4月12日（日）は辺戸岬から与論島がくっきり望まれ、海の色もすばらしく、特に古宇利島への大橋の両側の海の色は感動ものでした。楽しみの夕焼け日没は期待外れ。来年1、2月ヒカン桜の頃、家族で来県予定。（万座リゾートホテルが外資系の手に渡ったのは時代の流れか（那覇市とは関係ない））過去6－7年の間、全日空マイル等で離島（石垣島中心に宮古、西表島、はてるま島、与那国島等）へ3回来県。

(60 代、女性、自由業、兵庫)

今回天気に恵まれなかったが、美しい海の色を楽しんだ。暑い沖縄ではなかったが、また来たいと思う。

(30代、女性、埼玉)

沖縄の方はとてもゆったりしていて旅に来たという感じになります。しかし、レンタカーや空港など急いでいる場所でものんびりされている方が多いようで、もう少し早めに対応していただければありがたいです。

(60代、男性、無職、北海道)

孫（小1）が一人いて、その相手も目的の一つだった。サンエー、なはハーリー、海岸などに行って久しぶりの再会を楽しんだ。困ったのは、昼食・夕食の場所が意外と少ないことです。

(40代、女性、主婦、大阪)

スローなテンポの沖縄、とても気に入っています。私が沖縄に望むのは、豊かな自然と人柄、豊かな食材、平和な町。又、もっとフリーポートにして、香港、パリ、イタリアの様にセール期間を充実させてはどうでしょうか。そうすれば、ウェディングも増加すると思います。

(60代、女性、自営業、北海道)

ひめゆりの塔は観光時間が短くて心残りでした。観光バス会社の企画の中でもっと長く時間を取ってほしい。

(30代、女性、会社員、大阪)

沖縄は何度訪れても飽きないですね。今回もすごく楽しい旅行でした。また必ず来ます!!

(70代、女性、主婦、大阪)

私自身障害者ですが、できれば市場、国際通りに障害者にやさしい町づくりをお願いします。

(60代、女性、無職、福島)

どの地でも大変親切な方々が多くて気持ちよく過ごせました。バスの運転手さんたちがとても明るく心地よい対応が印象的でした。食べ物もおいしくて、又、いつか行きたいと思い楽しい3泊4日を過ごせました。

(50代、女性、主婦、東京)

今回で沖縄は5回目ですが研修という形態だったため観光はほとんど無しで残念でした。前回来たのは7年前でしたが国際通り周辺が結構変わっていて綺麗になりましたね。ゆいレールもできて景観が変わりました。しかし人々のあたたかい人情が変わらず安心しました。いつもあの人情に触れると永住したくなります。強いて言えば、てんぷすや美ら風などの体験施設の開店時間を早くしてほしいです。観光客は限られた時間の中でめいっぱい遊びたいので9時ころからの開店を望みます。今回美ら風でシーサーの絵付け体験などをしましたが、作品は秋の高校の文化祭に出品します。

(20代、男性、会社員、熊本)

石垣・西表島の離島は観光客に対しても交通に対してもゆとりのある対応をしてくださいました。

(20代、女性、主婦、青森)

毎回ホテルなどの接客には頭が下がりますが、観光地での接客態度が気になります。毎日多くの方が訪れていると思いますが、初めての方もいると思います。そこでの一言や笑顔が来てよかったと思えるのだと思います。日本の中でも有名な観光地ですので、頑張ってください。そうすると自然の美しさにも負けない人間性のある観光地が広がっていくと思います。

(50代、女性、主婦、東京)

沖縄ではどの場所でもどの店でも皆温かくもてなしてくださり、常に笑顔で私たちに接してくださった。悲惨な戦争体験、観光の場、内面を備え持つ沖縄…でも一様に多くの地元の人たちが沖縄をととても愛し、誇りを持っているということを実感しました。勉強になりました。深謝します。また沖縄に来たいと思っています。

(40代、女性、会社員、大阪)

沖縄は見所がたくさんあるし、また来たいと思います。空港からの交通もゆいレールのおかげで便利です。

(30 代、女性、会社員、神奈川)

10 年ぶりに沖縄に行きました。天候が良くありませんでしたがとても満喫できました。

(40 代、男性、会社員、広島)

各観光地の店員さんは、全員好感が持てた。社員教育が良く出来ていると思う。料理、金額も満足です。四季折々に来たい。お花見の時期に名護に行ってみたい。沖縄でのイベント情報発信をどんどんやって PR してほしいです。

(40 代、男性、公務員、神奈川)

沿道の皆さんの声援が嬉しかったです。来年も走りに来ます。本当にありがとうございました。

(20 代、女性、自由業、大分)

国際通り以外の市内は分からないまま帰ってしまう。でも沖縄好きなのでまた来ます。

(60 代、女性、主婦、茨城)

日本国内で最も訪れたい場所が素敵だったのでとても満足でした。ツアーコンダクターやガイドさんが素晴らしく、頑張っていたのが良かった。

(60 代、女性、主婦、茨城)

今までは6月から5月に訪れたが、1月は初めてだった。1月は1月なりの良さがあった。代表的には、東南植物園などの緑が際だってきれいだった。思ったより暖かかった。

(40 代、男性、公務員、新潟)

沖縄ブームの今のうちに接客をもう少しなんとかしないとリピーターは増えないと思う。子供の夜間徘徊など教育崩壊が感じられる。大人たちについては、もう見捨てて子供たちの教育に力を入れないと次の時代が危ない。(日本全体にも言えるがより深刻に思える)

(60 代、男性、無職、兵庫)

辺戸岬まで行きました。観光地近くでは前後、対向車ともレンタカーで、観光が沖縄の重要な産業であると改めて感じました。

(20 代、男性、学生、神奈川)

見所がたくさんあってあつという間に時が経ってしまいました。本当に来てよかったです。

(60 代、女性、主婦、福岡)

沖縄県は今のままでいいと思います(サービスなど)。今のままでないと本土と同じ観光地になり魅力がなくなります。ゆったりと時間が流れる沖縄が好きですから。

(30 代、男性、会社員、東京)

すっかり都市化されあまり旅行気分にはならない。いわゆる沖縄を味わうならやはり八重山の方がよいか。とはいえ、今回は本島では目的は水族館と祈念公園だったので両方行けて満足。今は国内よりも韓国や台湾など近場の海外の方が安く行ける時代。サービスや接客面の向上なしには沖縄県の観光の成功はないと思う。今回の旅行でも感じたが、本土に比べてサービスや接客ではやはり一歩劣る感じを受けた。唯一さすがと思ったのは、市内の東横イン。ここは全国展開しているだけあり、社員がよく教育されている。県人特有の大きな人間性もあるのだろうが、個人事業主や中小企業の店にも「サービスとは何か」の基本を自覚してがんばってもらいたい。自然・文化・歴史など素材には魅力あるものが多いので頑張ってほしい。

(50 代、男性、会社員、大分)

サービス面については満点です。タクシー車両、建物等が古いです。すばらしい観光地ですので、物に関しては新しくて、便利なものが良いと思います。

(50 代、男性、自営業、埼玉)

良好。

(60代、女性、主婦、三重)

沖縄旅行初めてでした。3歳半の孫を連れての旅。ホテルのプール、海での泳ぎ最高に満足していました。澄き通る青い海の景色に大感激でした。料理はどうかと思いましたが、美味しかったです。又、来たいなあと思いました。ありがとうございました。

(20代、女性、会社員、東京)

現状のままで良いと思います。今のまま自然を残し、また戦争を語りつづけて行ってほしいです。

(30代、女性、主婦、北海道)

いつもは北谷に泊まります。冬でもプールとかに入ったりして遊びたい。ジャスコとか大型スーパーに行きたいけど、駐車場に入るまでが渋滞すごいです。でも沖縄はあたたかくて大好きです。今回は台風で部屋で過ごす時間が多くて少し残念だった。雨でもなんか楽しめる所があれば最高。年に3回は行ってます。また行きます。

(50代、男性、会社員、東京)

いつも沖縄に来るとゆったりとした気持ちになれ、リフレッシュができる。

(40代、女性、会社員、神奈川)

TAXIで陸軍病院壕を知りました。沖縄の歴史は、日本国民として知っておき、後世に伝える必要がある、大事な事であることを深く感じました。負の歴史の中で沖縄の方々が、強く生きている事を感じ、自分のふがいなさを反省しました。楽しい部分のみを感じるのではなく、その根底にある大事なことを学ぶ機会も必要ではないかと思えます。沖縄に来た方々にそのような機会が沢山あるようにアピールしてもよろしいのではないのでしょうか。

(40代、男性、会社員、埼玉)

思っていたよりも沖縄は素晴らしかった。また来たいと思っています。

10. その他

(60代、男性、自由業、愛知)

戦争の犠牲地として誠に気の毒だと思います。今は、アメリカ軍が常駐しているが、経済的な恩恵は計り知れない。若い優秀な人材が国内の都に出ていったり、夢破れて帰ってくる。沖縄は就職口が少なすぎる。国の予算を使って、公務員を大幅に採用し、赤字は国に面倒みてもらう。アメリカ軍から金をしぼり取る（衣食住より）、沖縄は楽園とならなきゃね。

(70代、男性、無職、兵庫)

沖縄に日本最大のコンビニ「セブンイレブン」が見当たらないのにびっくり。何か理由があるのですか。

約2年かけてJR全線、三セク、有名私鉄業を先月末で完乗しました。今回準鉄道の日本最南端のモノレール（ゆいレール）に乗車するのも目的の一つ。市内めぐりや往復乗車で高架上からの眺めもなかなかのもの、曲線が多いためスピードが遅いのがちょっと不満。神戸のモノレールは無人運転ですが、スピードはぐっと上。

(20代、男性、会社員、大阪)

読売ジャイアンツのキャンプが始まった時の混雑を懸念しています。

(40代、女性、主婦、岡山)

娘の発熱の際、ホテル従業員、クリニックのスタッフの先生、薬局の方、お店の方、みなさん親切に対応くださり、人のあたたかさに触れられてあたたかな気持ちで帰途につけました。

(70代、女性、主婦、東京)

父も戦死しています。以前、沖縄を思うなら一回でも余分に観光に来てもらいたいと言われました。沖縄の皆さんのご苦勞を思い、一回でも多く来させていただきたい。

(50代、男性、自営業、大阪)

那覇市内よりも郊外（嘉手納町、豊見城市、糸満市など）の方が、新鮮な、健康的な沖縄らしい食材があって（地場の食材など）、見ていても楽しいし、安く安心して購入できる。安心して自宅に持って帰れる。（ゴーヤー、ナーベラー、スプイ、シークァーサーなど） ブランド品は大阪でも買えるが、沖縄ならではの新鮮な健康的な食材は、沖縄以外ではあまり手に入らない。安心、新鮮な健康的な食べ物などには、お金を支出することは気にならない。

（70 代、男性、自営業、埼玉）

高齢者のタクシー運転手で耳も遠い。D F S はハワイと売り場面積は同じです。すべてのブランド品を香港よりハワイより安く売価（TAX）すれば、近隣諸国、日本人も訪れるでしょう。若い人たちが好む、沖縄ブランド必要（ユニクロの様に）カジノ構想は無理です。米軍基地の移転が未解決です。産業がないから大変です。建設業主体の県庁しか発展しない小泉改革は困りますね。沖縄って“なーに”を討議して。本土より食が高い。本土ラーメン 390 円。沖縄そば 680 円。安く競争社会に生きる県民ではない（産物が少なく、流通社会となっております）“ナンクルナイサ”は本土では考えられません。石垣空港がやっと着工。何故 3000m の滑走路にできなかったか？

（40 代、女性、主婦、大阪）

非常に突飛な意見ですが、基地は関西空港（赤字）に移して下さい。きっと関西の若い女の子は大喜び。クラブやいろいろなものがコザに負けなくらい発展すると思います。きっと大阪は活気づくでしょう。

（20 代、男性、会社員、千葉）

移住したいと思ったとき、相談できる窓口などありますか？（仕事、住居、風習などなど）

（50 代、男性、自営業、埼玉）

夜の散策をしましたが、街路灯の数が少なく暗かった。

（50 代、男性、公務員、栃木）

本土の人がこっちに住むのをこぼんでいるように思える。

（60 代、男性、会社員、鹿児島）

沖縄はゼイタクに社会資本が投下されている。沖縄振興法のおかげと思う。九州では博多の次にランクされる景気の良さ。資金の使い道がいらず、次々と長橋が造られているのも特徴。これら基地のおかげと感想を持ちます。鹿児島の未開の地の大隅半島へ基地移転して鹿児島の社会資本をゼイタクできる方向性を考えてよさそう。その才が現鹿児島人にはない。明治維新の人材は西南の役で全滅し、残る現在人はザツばかり。

（40 代、男性、会社員、茨城）

おみやげを入れるバッグ（紙袋にチャックのついたもの）を空港内みやげ店で¥640 で買ったが、検査場内の自販機で¥500 で売っててがっかり。宿泊施設のルームキーがカード（磁力）のものは、扉が開かないことが多い。宿泊施設の TV カードが¥1000 もするのに 30 分か 60 分しか視聴できないのは短い。一晩ほしい。那覇市内はもっと街路樹・緑を増やした方がきれい。路上にゴミがなくはないが、青い空と白いビル、日光が強いのか、きれいでゴミが目立たなかった。路上でホームレスが寝ていたのにびっくりした。モノレールで那覇空港に近づくころ、米軍施設の庭に F-14? 戦闘機等が展示していたのにびっくり。武力を前面に出すのはよくないので撤去してもらいたい。政治的なことを言うのではないが、亜熱帯の小島沖縄に巨大な軍事基地や近代的都市・県庁所在地としての施設は天然面で無理。まず水の確保ができない。保水力のある高山もないし、本土でも千葉県や瀬戸内地方でさえ水不足なのだから。海産物も豊かではない気がするが、亜熱帯の小島で地力も少ない。かんがい農法は塩分集積上昇により不可。地力にあった少ない人口で農業を主にしていっていいと思う。あまりビルの多いのは無理。ましてや大消費的基地は不向き。モノレール乗り場やホテルのロビーで割引券や情報誌、地図がたくさんあったが、出発前に検討したかった。本土に資料がたくさんあって、旅行計画の精度を上げたいところだ。旅行会社は、格安パックばかりでなく、施設割引券、情報資料、地図もたくさん並べてもらいたい。国際通り等の米軍払い下げ店の軍服などは、イラクで劣化ウラン弾に放射能汚染されており、買わない方がいいらしい。風俗街も米軍人のエイズが入ってきているので危ないらしい。那覇の一角をちょろっと見ただけだが、基地の街横須賀に似ていると思った。お婆ちゃんが元気だ。貧しくて、観光での落とし金を期待しているのは北海道に似ていると思った。北海道は雪が多いが、海産物、農業用地力、水はたくさんある。1泊2日で観光できる安い観光パックがあるもので、もっとヤマ

トンチュにアピールしてみても？私は1泊2日で短いと思ったが、日帰りサラリーマンがいたり、スチュワードスは1時間でトンボ返りなのでもっとびっくりした。金持ちやヤマトンチュ向けの別荘地帯やリゾートマンションを考えた方が儲かるかもしれない。

(40代、女性、会社員、愛知)

仕事も含めほぼ毎月訪れています。昨年亡くなった主人とともに大好きな土地でいまでは大切な友達もたくさんいて第二の故郷です。まだまだ知らないことがいっぱいあるので行くたびにわくわくしています。これからもよろしく願いいたします。

(40代、男性、東京)

沖縄の音楽文化をさらに発展させるため、沖縄の音楽やインディーズレーベルを簡単に買えるよう空港などにおいてほしい。

(30代、男性、会社員、千葉)

ガソリンスタンドの店員の接客に関して、レンタカーと見るや接客とはいえない態度にがっかり。県内の人が全員そういうわけではないが、最後に与える印象は旅を決めてしまいます。観光を資源とする以上、接客レベルの向上に期待する。

(20代、男性、千葉)

那覇市役所や県庁を土日にも開き、物産展を開いてほしい。たまには千葉にも物産展など開催し沖縄の魅力を伝えてほしい。沖縄県の人働き者だと思った。また機会があれば沖縄に来たいと思います。

(60代、男性、農林漁業、愛知)

戦時中の沖縄における悲惨な出来事が風化されようとしている今の世情が嘆かわしい。小生もマスコミ報道の範囲でしか知らないが、戦争という愚かなことが世界からなくなことを祈っています。米軍基地のみならず自衛隊の基地すらなくなることが真の平和かと思っています。観光パンフレットの中にも戦争の愚かなことを記載されることを勧めたいと思います。

(50代、女性、主婦、山口)

空港で夕日が沈んでいくのを見ることができました。夕日夕日と思っていたのになかなか出会えなくてあきらめていたので夕立のようなすごい雨上がりの後でした。どんよりとした雲の間から青空が見え始め、海と空の間に飛行機が飛び立っていく姿はとても印象的でした。飛行機の窓からもずっと眺めていました。そして最後は本当の夜景を空から見ることでよかったです。次回はもうちょっと素敵なホテルでのんびり過ごし、ホエールウォッチングしたいです。

(30代、女性、公務員、滋賀)

一番ショックだったのは、動物に対する虐待を目にしたことでした。沖縄に来るたびに良く行くお店ではかわいそうという事で何匹か引きとられましたが、そのうちの1匹の子猫が動物虐待により殺されました。観光客に対し心くだいて頂けているのはうれしいですが、もう少し罪のない動物が虐待され、殺されている猫のことも考えていただきたいです。

(60代、男性、無職、兵庫)

万座毛近くのガソリンスタンドで131円/Lで2L給油したが、他の店の実勢価格から比較すると、レンタカーということではばられた気がする。

(30代、女性、主婦、埼玉)

空港は動線に無理が多い。

(40代、男性、会社員、神奈川)

気候もそうですが、人の温かさがすばらしい。リタイヤ後住んでみたい。

(30代、女性、主婦)

将来的に移住を考えていますが、県外者に冷たい面（特に仕事に関しては）がありとまどいます。市で移住者対象のセミナーなど開催されないのでしょうか。

(50 代、女性、主婦、兵庫)

道路も整備されてまるで都会の様です。自然を大切にしたい。泡瀬の干潟は残してほしい。基地があって大変な事もよく理解しています。沖縄には介護や病院の様な施設が出来れば良いと思う。定年退職後の移住をもっと積極的に誘致してほしい。

(40 代、男性、会社員、大阪)

巨人軍のキャンプが 2011 年に来る様ですが、毎年、仕事の関係で各キャンプ地を見てますが、巨人軍のキャンプやホテル、メディア規制は他のチームの比ではないですが対応できるのでしょうか？駐車場も心配です。

(30 代、女性、会社員、東京)

那覇を始め沖縄は、自然環境を守る事、エコを唱えていると思いますか？どのお店、ホテルに入ってもエアコンがよくきいています。確かに暑いので嬉しいのですが、効き過ぎではないでしょうか。気温の差が激しく、体調を崩します。クールビズが主流なので、もう少し考えても何度、沖縄に行っても思います。

(30 代、男性、会社員)

ポストが少ない。

(40 代、男性、会社員、岐阜)

水が不味い。

附表 參考資料

附表 参考資料

附表 1 平成 21 年度 県内の周辺離島からの月別入込み、出域客数

(単位:人、%)

区分	空路		海路		計	
	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数	入域客数	出域客数
1月	85,393	91,316	8,584	8,842	93,977	100,158
2月	89,688	88,689	12,709	12,644	102,397	101,333
3月	103,661	112,758	16,519	16,748	120,180	129,506
4月	93,601	93,925	16,823	16,685	110,424	110,610
5月	86,570	95,261	22,999	22,286	109,569	117,547
6月	88,451	88,240	18,501	18,876	106,952	107,116
7月	113,187	117,273	35,035	35,526	148,222	152,799
8月	116,536	122,928	37,400	37,844	153,936	160,772
9月	106,139	113,879	27,744	30,801	133,883	144,680
10月	93,333	96,934	16,905	17,310	110,238	114,244
11月	91,311	97,196	13,489	13,260	104,800	110,456
12月	85,257	81,148	11,677	12,281	96,934	93,429
計	1,153,127	1,199,547	238,385	243,103	1,391,512	1,442,650

※空路では、入込み那覇着(上り)、出域は那覇発(下り)の客数。

※海路では、入込み那覇着(上陸人員)、出域は那覇発(乗込み人員)の客数。

※統計資料の関係により暦年での集計となっている。

附表 2 平成 21 年度 県内の周辺離島からの航路別入込み客数 (空路)

(単位:人、%)

区分	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	52,149	31,739	7,472	852	452	451	0	486	93,601
5月	43,809	32,669	7,530	1,080	582	463	0	437	86,570
6月	44,319	33,681	8,449	1,071	489	101	0	341	88,451
7月	61,399	39,696	9,875	1,151	428	225	0	413	113,187
8月	63,375	40,357	10,155	1,204	566	262	0	617	116,536
9月	56,354	37,941	9,340	1,191	560	327	0	426	106,139
10月	47,247	35,260	8,610	1,217	465	283	0	251	93,333
11月	45,105	34,441	9,504	1,073	493	365	0	330	91,311
12月	39,130	35,489	8,489	1,055	430	355	0	309	85,257
1月	40,424	33,609	8,790	1,170	678	316	0	406	85,393
2月	45,701	32,611	9,089	1,090	493	326	0	378	89,688
3月	55,153	35,510	10,611	1,215	471	297	0	404	103,661
合計	594,165	423,003	107,914	13,369	6,107	3,771	0	4,798	1,153,127
構成比(%)	51.5	36.7	9.4	1.2	0.5	0.3	0.0	0.4	100.0
平成20年度	744,103	405,029	116,236	13,189	4,753	5,325	0	4,928	1,293,563
前年比(%)	79.8	104.4	92.8	101.4	128.5	70.8	-	97.4	89.1

(資料: 各航空会社)

附表3 平成21年 県内の周辺離島からの航路別入込み客数（海路）

(単位:人、%)

区分	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	0	-	1,361	2,760	2,979	92	877	505	-	10	8,584
2月	0	-	1,983	4,819	3,704	105	1,224	843	-	31	12,709
3月	287	-	2,341	5,959	5,511	310	1,281	799	-	31	16,519
4月	0	-	2,275	7,738	4,189	243	1,293	1,044	-	41	16,823
5月	0	-	2,856	10,534	6,791	123	1,750	900	-	45	22,999
6月	0	-	1,952	6,328	7,666	614	1,110	816	-	15	18,501
7月	0	-	2,799	15,344	14,049	201	1,533	1,082	-	27	35,035
8月	0	-	3,394	16,680	13,852	294	1,858	1,289	-	33	37,400
9月	0	-	3,090	10,285	11,481	109	1,722	1,016	-	41	27,744
10月	0	-	2,054	6,817	6,368	71	831	733	-	31	16,905
11月	172	-	1,705	5,665	4,207	110	969	647	-	14	13,489
12月	0	-	1,922	4,590	3,172	227	1,076	678	-	12	11,677
合計	459	-	27,732	97,519	83,969	2,499	15,524	10,352	-	331	238,385
構成比(%)	0.2	-	11.6	40.9	35.2	1.0	6.5	4.3	-	0.1	100.0
平成20年	1,720	1,226	29,592	103,606	93,307	2,573	15,490	10,375	-	283	258,172
前年比(%)	26.7	-	93.7	94.1	90.0	97.1	100.2	99.8	-	117.0	

(資料: 那覇港管理組合)

※海路については、暦年統計になっているため、表は暦年集計となっている。

附表4 平成21年度 県内の周辺離島への航路別出域客数（空路）

(単位:人、%)

区分	石垣	宮古	久米島	南大東	北大東	粟国	慶良間	与那国	合計
4月	56,027	28,709	7,037	1,035	402	394	0	321	93,925
5月	53,352	31,558	8,024	1,181	308	451	0	387	95,261
6月	46,122	31,974	8,305	1,128	421	0	0	290	88,240
7月	65,934	39,116	10,068	1,354	443	0	0	358	117,273
8月	69,389	39,992	11,414	1,361	320	0	0	452	122,928
9月	63,466	38,431	10,003	1,117	447	0	0	415	113,879
10月	52,101	34,134	8,801	1,336	335	0	0	227	96,934
11月	52,672	32,825	9,813	1,211	383	0	0	292	97,196
12月	40,237	30,131	8,603	1,292	644	0	0	241	81,148
1月	47,451	33,642	8,609	1,052	294	0	0	268	91,316
2月	48,767	29,195	8,885	1,119	415	0	0	308	88,689
3月	62,167	37,108	11,256	1,326	501	0	0	400	112,758
合計	657,685	406,815	110,818	14,512	4,913	845	0	3,959	1,199,547
構成比(%)	54.8	33.9	9.2	1.2	0.4	0.1	0.0	0.3	100.0
平成20年度	683,591	423,596	115,791	12,419	5,567	5,514	0	5,637	1,252,115
前年比(%)	96.2	96.0	95.7	116.9	88.3	15.3	-	70.2	95.8

(資料: 各航空会社)

附表 5 平成 21 年 県内の周辺離島への航路別出域客数（海路）

（単位：人、％）

路線	石垣	宮古	久米島	渡嘉敷	座間味	大東	粟国	渡名喜	伊江	本部地区	合計
1月	0	-	1,461	2,667	2,836	200	1,127	534	-	17	8,842
2月	0	-	1,993	4,846	3,738	99	1,120	822	-	26	12,644
3月	287	-	2,438	6,348	5,384	161	1,320	782	-	28	16,748
4月	0	-	2,154	7,666	4,305	165	1,330	1,035	-	30	16,685
5月	0	-	2,899	9,939	6,661	122	1,715	900	-	50	22,286
6月	0	-	2,198	6,263	8,180	118	1,259	847	-	11	18,876
7月	0	-	2,953	15,857	13,991	144	1,475	1,090	-	16	35,526
8月	0	-	3,670	16,746	13,622	124	2,342	1,314	-	26	37,844
9月	0	-	3,099	13,426	11,387	103	1,689	1,049	-	48	30,801
10月	0	-	2,350	6,840	6,262	112	975	759	-	12	17,310
11月	172	-	2,027	5,229	4,112	132	935	641	-	12	13,260
12月	0	-	2,333	4,901	3,251	99	1,001	676	-	20	12,281
合計	459	-	29,575	100,728	83,729	1,579	16,288	10,449	-	296	243,103
構成比(%)	0.2	-	12.2	41.4	34.4	0.6	6.7	4.3	-	0.1	100.0
平成20年	3,578	2,071	31,211	94,664	92,610	1,673	16,081	10,512	-	317	252,717
前年比(%)	12.8	-	94.8	106.4	90.4	94.4	101.3	99.4	-	93.4	96.2

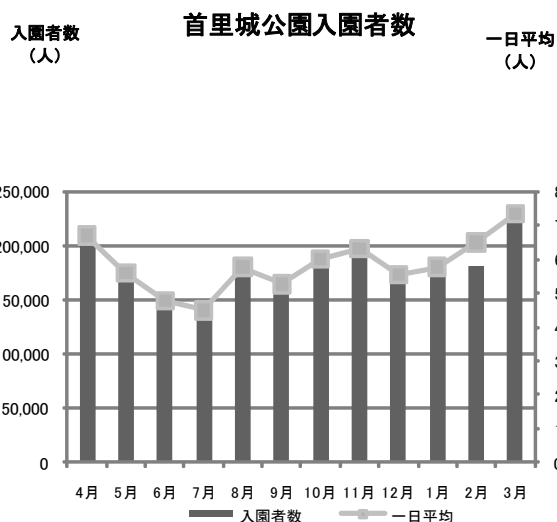
（資料：那覇港管理組合）

※海路については、暦年統計になっているため、表は暦年集計となっている。

主要観光施設の推移

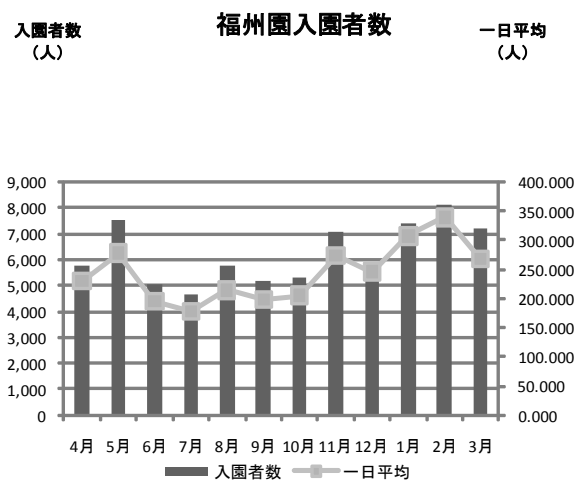
(1) 首里城公園入園数

		開園日数	入園者数	一日平均
平成8年		363	1,783,346	4,913
平成9年		362	1,864,734	5,151
平成10年		362	1,917,487	5,297
平成11年		363	2,092,586	5,765
平成12年		359	2,058,689	5,735
平成13年		361	2,017,556	5,589
平成14年		360	2,330,152	6,473
平成15年		364	2,466,180	6,775
平成16年		364	2,530,642	6,952
平成17年		365	2,474,470	6,779
平成18年度		365	2,658,592	7,284
平成19年度		366	2,629,741	7,185
平成20年度		365	2,470,340	6,768
平成21年度		365	2,130,139	5,836
平成21年	4月	30	200,903	6,697
"	5月	31	173,804	5,607
"	6月	30	142,845	4,762
"	7月	31	139,489	4,500
"	8月	31	178,910	5,771
"	9月	30	157,898	5,263
"	10月	31	186,296	6,010
"	11月	30	189,309	6,310
"	12月	31	171,539	5,534
平成22年	1月	31	178,909	5,771
"	2月	28	182,123	6,504
"	3月	31	228,114	7,359



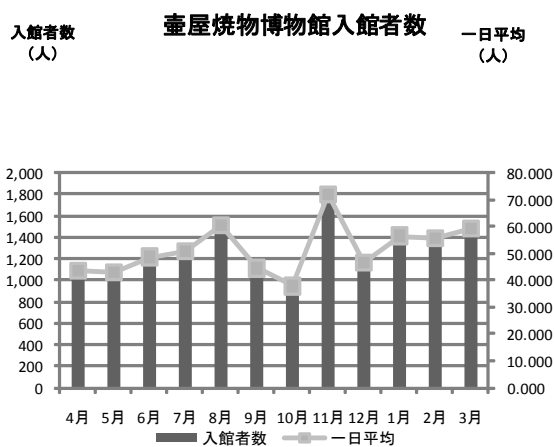
(2) 福州園入園数

		開園日数	入園者数	一日平均
平成8年		313	47,769	153
平成9年		313	38,643	123
平成10年		313	34,856	111
平成11年		313	29,891	95
平成12年		314	27,556	88
平成13年		314	46,580	148
平成14年		314	42,773	136
平成15年		312	47,931	154
平成16年		310	56,467	182
平成17年		309	52,686	171
平成18年度		307	58,227	190
平成19年度		314	73,881	235
平成20年度		306	79,818	261
平成21年度		308	75,019	244
平成21年	4月	25	5,768	231
"	5月	27	7,509	278
"	6月	26	5,074	195
"	7月	26	4,647	179
"	8月	27	5,791	214
"	9月	26	5,158	198
"	10月	26	5,331	205
"	11月	26	7,100	273
"	12月	24	5,903	246
平成22年	1月	24	7,381	308
"	2月	24	8,142	339
"	3月	27	7,215	267



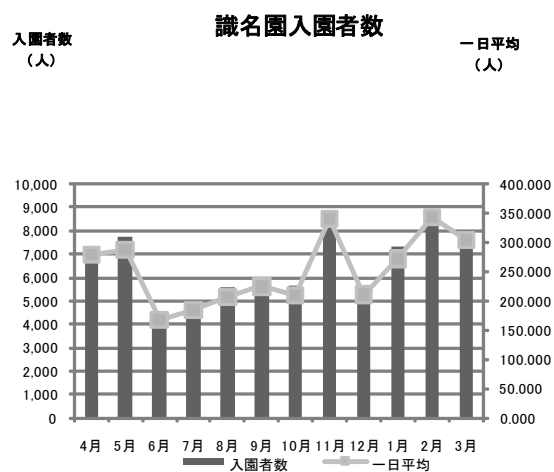
(3) 壺屋焼物博物館入館数

		開館日数	入館者数	一日平均
平成10年		267	27,479	103
平成11年		291	23,011	79
平成12年		293	23,552	80
平成13年		305	21,452	70
平成14年		301	22,552	75
平成15年		301	20,375	68
平成16年		301	20,330	68
平成17年		301	20,469	68
平成18年度		303	21,605	71
平成19年度		302	19,118	63
平成20年度		303	16,094	53
平成21年度		304	15,635	51
平成21年	4月	26	1,135	44
"	5月	27	1,154	43
"	6月	24	1,166	49
"	7月	24	1,215	51
"	8月	26	1,568	60
"	9月	26	1,157	45
"	10月	27	1,022	38
"	11月	26	1,870	72
"	12月	24	1,121	47
平成22年	1月	24	1,354	56
"	2月	24	1,335	56
"	3月	26	1,538	59



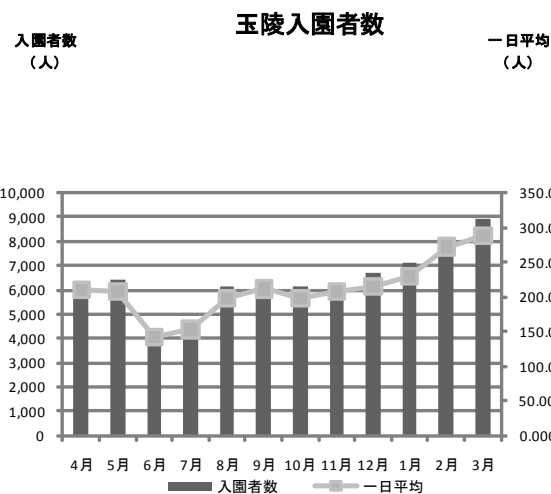
(4) 識名園入園数

		開園日数	入園者数	一日平均
平成8年度		313	65,590	210
平成9年		313	39,452	126
平成10年		313	31,384	100
平成11年		313	43,629	139
平成12年		314	53,461	170
平成13年		313	84,444	270
平成14年		314	85,511	272
平成15年		312	79,068	253
平成16年		313	74,772	239
平成17年		320	77,113	241
平成18年度		312	79,908	256
平成19年度		312	80,792	259
平成20年度		313	75,891	242
平成21年度		312	78,648	252
平成21年	4月	25	6,979	279
"	5月	27	7,743	287
"	6月	26	4,385	169
"	7月	26	4,800	185
"	8月	27	5,565	206
"	9月	25	5,623	225
"	10月	27	5,674	210
"	11月	26	8,876	341
"	12月	26	5,481	211
平成22年	1月	27	7,363	273
"	2月	24	8,238	343
"	3月	26	7,921	305



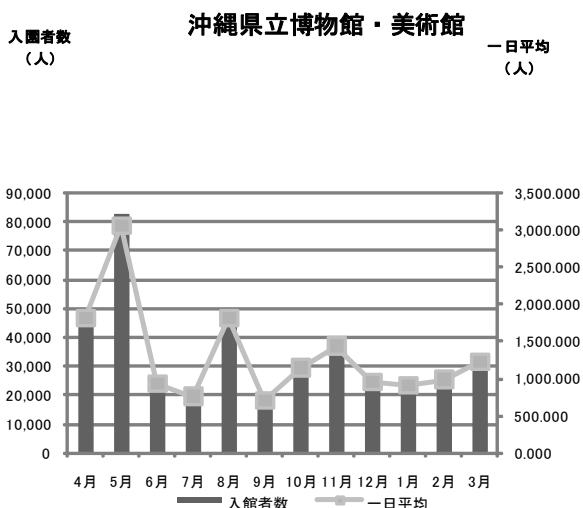
(5) 玉陵入園者数

	開園日数	入園者数	一日平均
平成8年	365	12,176	33
平成9年	365	35,453	97
平成10年	365	33,769	93
平成11年	365	38,592	106
平成12年	365	44,159	121
平成13年	360	86,629	241
平成14年	365	99,025	271
平成15年	365	89,564	245
平成16年	366	99,452	272
平成17年	365	97,683	268
平成18年度	365	86,931	238
平成19年度	364	85,493	235
平成20年度	365	80,926	222
平成21年度	365	76,895	211
平成21年 4月	30	6,296	210
〃 5月	31	6,423	207
〃 6月	30	4,264	142
〃 7月	31	4,745	153
〃 8月	31	6,109	197
〃 9月	30	6,343	211
〃 10月	31	6,141	198
〃 11月	30	6,232	208
〃 12月	31	6,679	215
平成22年 1月	31	7,129	230
〃 2月	28	7,612	272
〃 3月	31	8,922	288



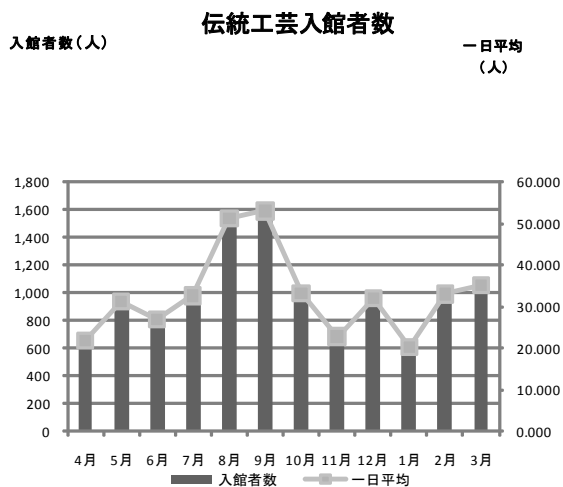
(6) 沖縄県立博物館・美術館入館数

	開館日数	入館者数	一日平均
平成10年	291	73,844	254
平成11年	289	72,288	250
平成12年	264	60,792	230
平成13年	264	54,282	206
平成14年	267	58,090	218
平成15年	289	46,250	160
平成16年	286	44,532	156
平成17年	276	40,614	147
平成18年度	51	16,319	320
平成19年度	126	211,509	1,679
平成20年度	301	198,644	660
平成21年度	309	408,670	1,323
平成21年 4月	26	47,150	1,813
〃 5月	27	82,514	3,056
〃 6月	25	23,374	935
〃 7月	27	20,606	763
〃 8月	26	47,320	1,820
〃 9月	26	18,524	712
〃 10月	27	30,916	1,145
〃 11月	25	36,014	1,441
〃 12月	24	22,963	957
平成22年 1月	26	23,700	912
〃 2月	24	23,753	990
〃 3月	26	31,836	1,224



(7) 伝統工芸館入館数

		開館日数	入館者数	一日平均
平成13年		310	19,759	64
平成14年		312	10,386	33
平成15年		318	16,880	53
平成16年		285	13,593	48
平成17年		363	14,124	39
平成18年度		362	14,373	40
平成19年度		363	12,105	33
平成20年度		362	12,120	33
平成21年度		362	11,909	33
平成21年	4月	30	657	22
"	5月	31	966	31
"	6月	30	809	27
"	7月	31	1,012	33
"	8月	31	1,592	51
"	9月	30	1,590	53
"	10月	31	1,032	33
"	11月	30	684	23
"	12月	30	964	32
平成22年	1月	29	587	20
"	2月	28	926	33
"	3月	31	1,090	35



(8) 波の上ビーチ入場者数

	若狭ビーチ			辻ビーチ			合計
	遊泳日数	入場者数	一日平均	遊泳日数	入場者数	一日平均	
平成14年	196	90,414	461	184	163,056	886	253,470
平成15年	202	122,006	604	194	168,335	868	290,341
平成16年	207	152,221	735				152,221
平成17年	208	155,614	748				155,614
平成18年度	208	111,965	538				111,965
平成19年度	209	108,393	519				108,393
平成20年度	209	106,598	510				111,370
平成21年度	208	102,547	493				102,547
平成21年	4月	26	7,609				7,609
"	5月	31	18,190				18,190
"	6月	30	10,128				10,128
"	7月	31	22,869				22,869
"	8月	31	27,742				27,742
"	9月	30	12,332				12,332
"	10月	29	3,677				3,677
"	11月						
"	12月						
平成22年	1月						
"	2月						
"	3月						

※4月～10月までの営業

※辻側は工事のため遊泳禁止

那覇市観光統計・観光客の声
(平成 21 年度版)

発 行
那覇市 経済観光部観光課

〒900－0004
沖縄県那覇市銘苅 2－3－1
T E L 098－862－3276
F A X 098－862－1580

再生紙を使用しています